

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-9

＜第20週＞A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い／その他最新動向

＜4月＞性感染症・薬剤耐性菌感染症・結核について



注目すべき感染症
P.10-14

＜咽頭結膜熱＞2006年は第3週以降、過去10年間と比較して最も報告の多い状態が続いている

＜腸管出血性大腸菌感染症＞本年第20週までの累積報告数は320例で、今後さらに増加するものと予想される



病原体情報
P.15-18

ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2006年／無菌性髄膜炎患者から検出されているウイルス 2006年／インフルエンザウイルス 2005/06シーズン



速報
P.19-23

A型肝炎－2005年(2006年5月26日時点)



海外感染症情報
P.24-25

インドネシアでの鳥インフルエンザ流行状況／アンゴラでコレラ流行



感染症の話
P.26-29

＜リッサウイルス感染症＞ヒトはほとんどの場合、リッサウイルスに感染したコウモリに咬まれることによって発症する



読者のコーナー
＜今週は該当記事はありません＞



グラフ総覧(20週)
P.30-36



グラフ総覧(4月)
P.37-41



4月のデータ
P.42-45



20週のデータ
P.46-57



発生動向総覧

※2006年4月からの報告システムの変更に伴い、疾病の並び順を一部変更しました。

<第20週コメント> 5月25日集計分

◆全数報告の感染症

注意:これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。宜しく御理解下さい。

※感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 細菌性赤痢 5例(感染地域:国内2例、カンボジア1例、メキシコ1例、インド/バングラデシュ1例)

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 53例(うち有症者31例、HUSなし)

感染地域:すべて国内

国内の多い感染地:東京都(7例)、秋田県(6例*)、岐阜県(5例)、愛知県(5例)*うち4例は動物園に関連した集団発生

年齢群:10歳未満(20例)、10代(6例)、20代(10例)、30代(5例)、40代(2例)、50代(5例)、60代(4例)、70代(1例)

血清型・毒素型:O157 VT1・VT2(17例)、O26 VT1(12例)、O157 VT2(8例)、O157 VT1(6例)、O111 VT1・VT2(3例)、O25 VT1(1例)、O26 VT1・VT2(1例)、O91 VT1(1例)、O121 VT2(1例)、その他/不明(3例)

4類感染症: E型肝炎 1例(感染地域:栃木県. 感染源:豚のモツ)

A型肝炎 5例(感染地域:山形県1例、新潟県1例、富山県1例、静岡県/山梨県1例、福岡県1例)

オウム病 1例(感染源:セキセイインコ)

つつが虫病 9例(感染地域:山形県3例、青森県1例、岩手県1例、宮城県1例、秋田県1例、岐阜県1例、島根県1例)

マラリア 2例(ともに三日熱__感染地域:インド1例、カンボジア1例)

レジオネラ症 6例(すべて肺炎型)

年齢群:50代2例、60代2例、70代1例、80代1例

感染地域:神奈川県1例、新潟県1例、山梨県1例、愛知県1例、島根県1例、香川県1例

5類感染症: アメーバ赤痢 14例(腸管アメーバ症13例、腸管外アメーバ症1例)

感染地域:国内9例、インドネシア2例、シンガポール1例、インド/バングラデシュ1例、東南アジア1例

感染経路:経口5例、性的接触5例(異性間1例、同性間2例、不明2例)、不明4例

ウイルス性肝炎 2例[ともにB型__感染経路:性的接触(異性間)1例、不明1例]

急性脳炎 1例(病原体不明. 50代)

クリプトスポリジウム症 1例(感染地域:国内)

クロイツフェルト・ヤコブ病 5例

[孤発性プリオン病(古典型CJD)4例、感染性プリオン病(医源性CJD)1例]

劇症型溶血性レンサ球菌感染症 2例(70代1例、80代1例. 血清群:A群1例、G群1例)

後天性免疫不全症候群 12例(無症候9例、AIDS 3例)

感染経路:性的接触8例(異性間4例、同性間4例)、注射針共用1例、その他1例、不明2例

感染地域:国内9例、タイ1例、カンボジア1例、コンゴ1例

ジアルジア症 2例(感染地域:国内1例、インド1例)

梅毒 10例(早期顕症I期3例、早期顕症II期4例、晩期顕症1例、無症候2例)

破傷風 1例(60代)

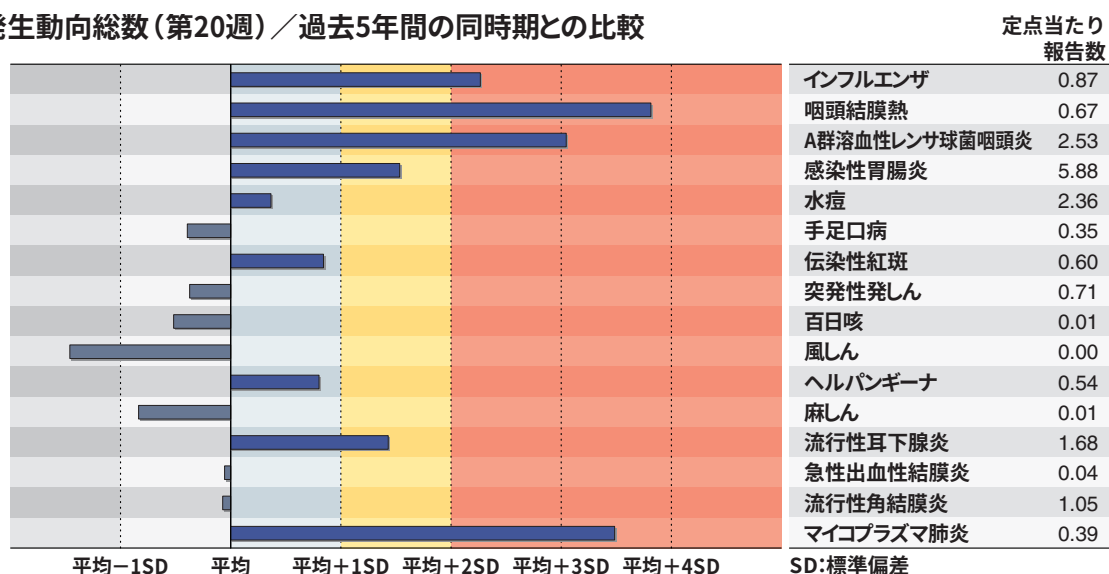
バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1例(遺伝子型:VanC__菌検出検体:胆汁)

(補)他に報告遅れとして、レジオネラ症1例(肺炎型. 60代. 死亡)、急性脳炎5例[A型インフルエンザウイルス1例(0歳)、B型インフルエンザウイルス1例(10代)、単純ヘルペスウイルス1例(50代)、病原体不明2例(2歳、60代)]、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例(遺伝子型:VanC__菌検出検体:血液. 死亡)などの報告があった。

◆定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

発生動向総数(第20週)／過去5年間の同時期との比較



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。

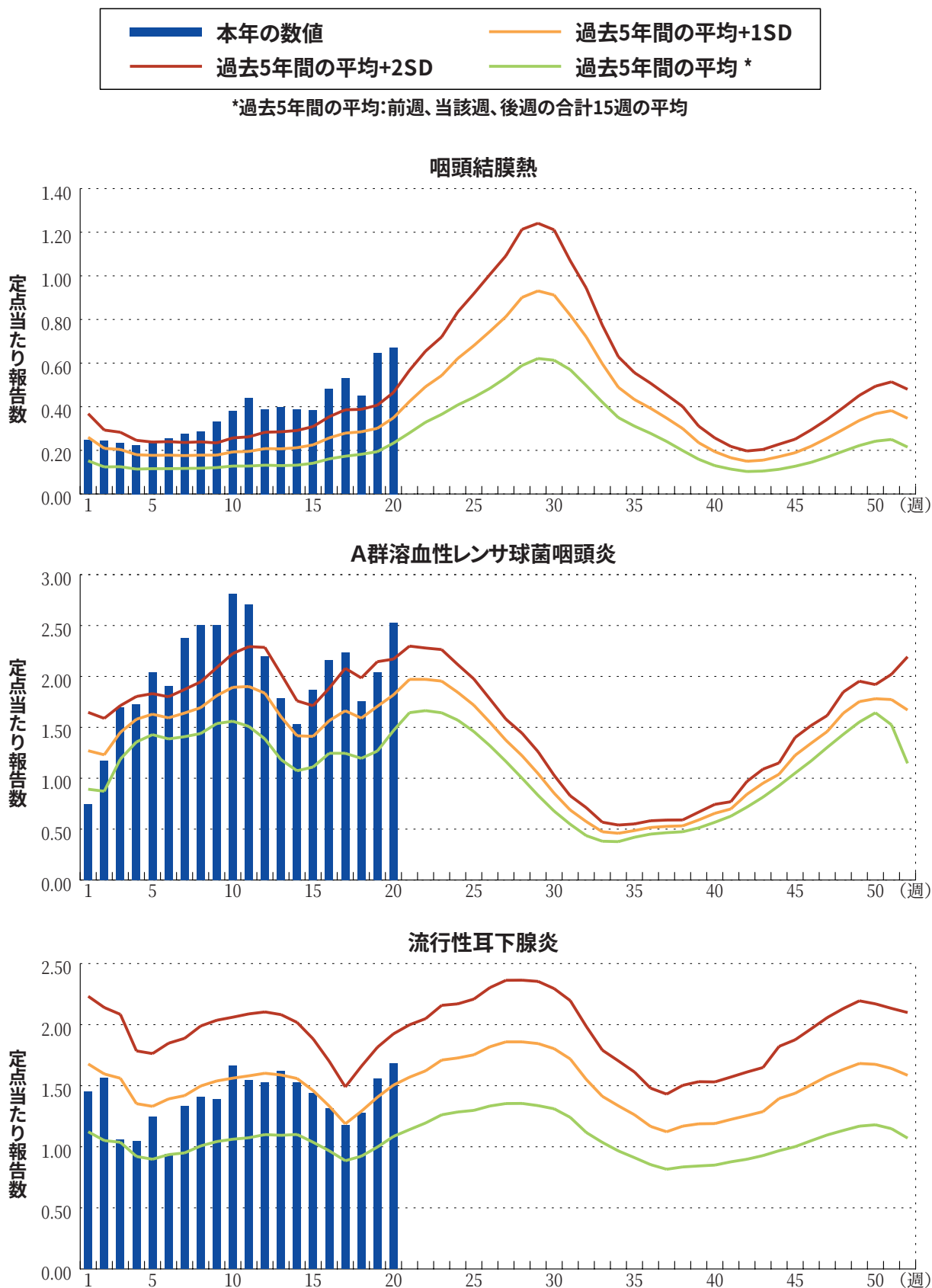
インフルエンザ: 定点当たり報告数は微増し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別では沖縄県(3.7)、北海道(3.5)、愛媛県(2.9)、青森県(2.5)、鳥取県(2.4)が多い。

小児科定点報告疾患: **RSウイルス感染症**は121例の報告があり、報告数は増加した。年齢別では、1歳以下の報告数が全体の74%を占めている。**咽頭結膜熱**の定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では鹿児島県(1.8)、福井県(1.7)、香川県(1.3)、岐阜県(1.3)、福岡県(1.3)が多い。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**の定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では新潟県(5.4)、富山県(4.3)、北海道(4.3)、宮崎県(3.9)が多い。**感染性胃腸炎**の定点当たり報告数は微増したが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では福井県(13.1)、大分県(9.9)、宮崎県(9.4)、三重県(9.4)が多い。**水痘**の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では高知県(3.8)、山形県(3.8)、新潟県(3.8)が多い。**手足口病**の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別では岐阜県(2.0)、香川県(1.5)、三重県(1.4)、愛知県(1.2)が多い。**伝染性紅斑**の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別では鳥取県(1.63)、島根県(1.52)、福島県(1.44)が多い。**百日咳**の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では栃木県(0.11)、高知県(0.10)、徳島県(0.05)が多い。**風しん**の定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では岡山県(0.04)、石川県(0.03)、滋賀県(0.03)が多い。**ヘルパンギーナ**の定点当たり報告数は第10週以降、増加が続いている。都道府県別では鳥取県(2.5)、愛媛県(2.1)、山口県(1.8)、熊本県(1.7)が多い。**麻疹**の定点当たり報告数は微増した。都道府県別では岐阜県(0.06)、徳島県(0.05)、千葉県(0.04)、広島県(0.04)、鹿児島県(0.04)が多い。**流行性耳下腺炎**の定点当たり報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では鹿児島県(5.9)、長野県(4.1)、新潟県(3.7)、鳥取県(3.4)が多い。

基幹定点報告疾患: **マイコプラズマ肺炎**の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では埼玉県(2.4)、石川県(2.2)、大阪府(1.5)、群馬県(1.1)が多い。成人麻疹は千葉県から3例の報告があった。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2006年第1～20週)

青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。



〈4月コメント〉

◆性感染症について(5月17日集計分) 性感染症定点数: 949

2006年4月の月別定点当たり患者報告数は、性器クラミジア感染症が2.74(男1.18、女1.56)、性器ヘルペスウイルス感染症が0.90(男0.38、女0.52)、尖圭コンジローマが0.52(男0.30、女0.23)、淋菌感染症が1.06(男0.89、女0.17)で、4疾患のうち、男女ともに性器クラミジア感染症が多かった(図1)。前月に比べると、全体的に減少している(37～40ページ「グラフ総覧」参照)。男女別に過去5年間の同時期と比較すると、平均+1標準偏差(SD)を超えた疾患は男女ともにみられなかった(図2)。一方、性器クラミジア感染症および淋菌感染症では、男性で平均-2SDを、女性で平均-1SDを下回っていた。

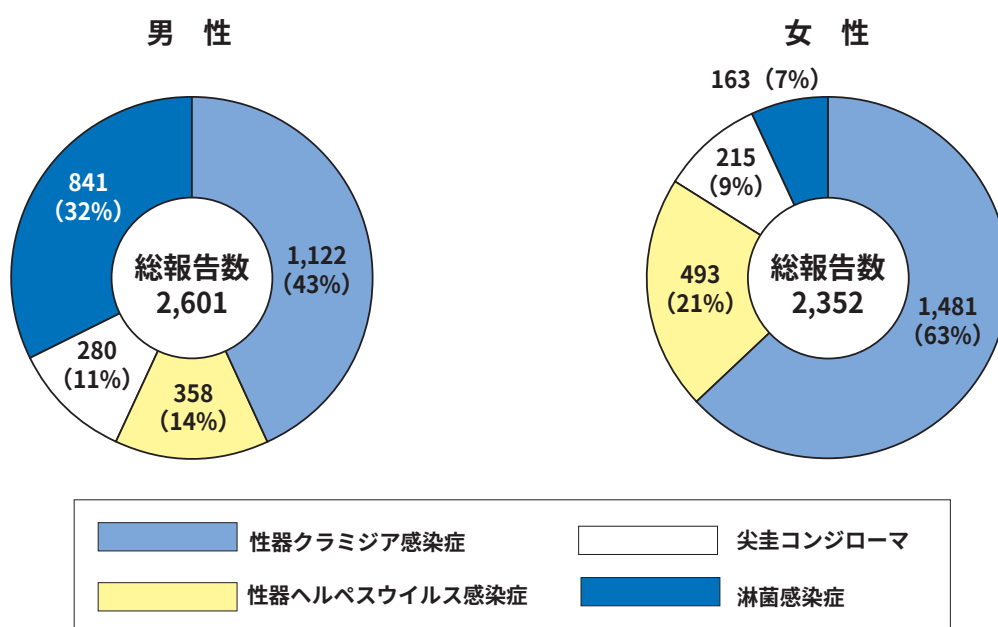
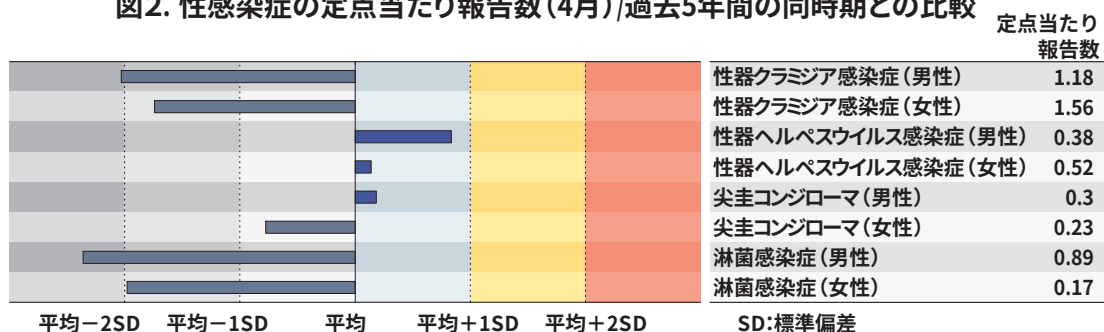


図1. 各性感染症が総報告数に占める割合(4月)

図2. 性感染症の定点当たり報告数(4月)/過去5年間の同時期との比較



当該月と過去5年間の平均(過去5年間の前月、当該月、後月の合計15月の平均)との差をグラフ上に表現した。

定点当たり報告数を年齢階級別・男女別に比較すると、4疾患すべてにおいて男女ともに10代から報告がみられ、そのピークは、性器クラミジア感染症の男女、性器ヘルペスウイルス感染症の女性、尖圭コンジローマの女性、淋菌感染症の男女で20代であり、性器ヘルペスウイルス感染症の男性、尖圭コンジローマの男性で30代であった(図3)。性器クラミジア感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症では男女ともにピーク以降、年齢が高くなるに従って減少傾向が認められ、50代以降の報告は僅かである。しかし性器ヘルペスウイルス感染症では、男女ともに50代以降の年齢群の報告も少なくない。また、淋菌感染症では全ての年齢群において男性の占める割合が高いが、性器クラミジア感染症および性器ヘルペスウイルス感染症の15～34歳、尖圭コンジローマの15～29歳の若い年齢群では、女性の占める割合が高い。

感染症法が施行された1999年4月以降について、若年齢層(15～29歳)での各疾患の定点当たり報告数を月別・男女別に図4に示した。前月との比較では、性器ヘルペスウイルス感染症が男性で増加したが、他3疾患では男女で、性器ヘルペスウイルス感染症は女性で減少した。

注: 本発生動向調査で得られる性感染症患者報告数および解析結果は、現在の定点の構成に基づく制限のもとに解釈される必要がある。詳細は「感染症週報IDWR」2000年第46週号(10月報)4ページの説明を参照されたい。

図3. 性感染症の性別・年齢階級別分布(4月)

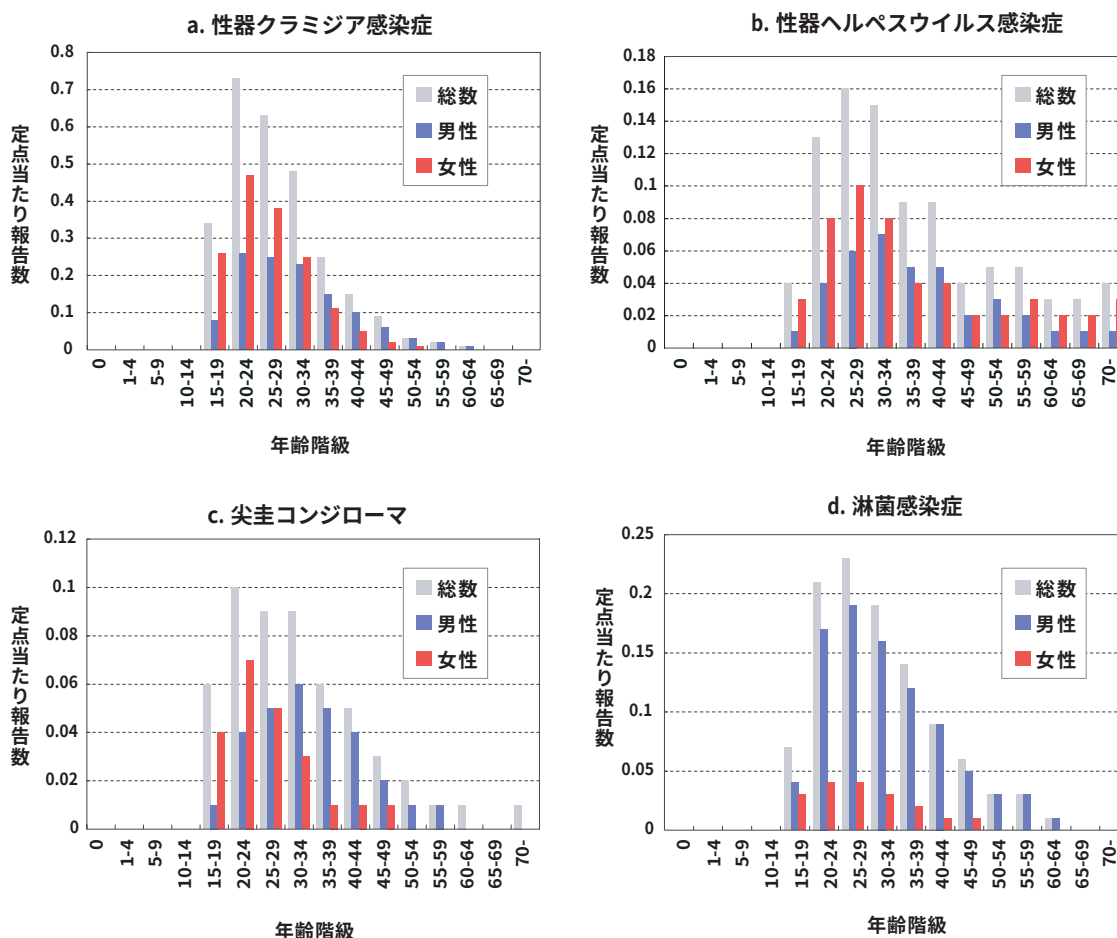
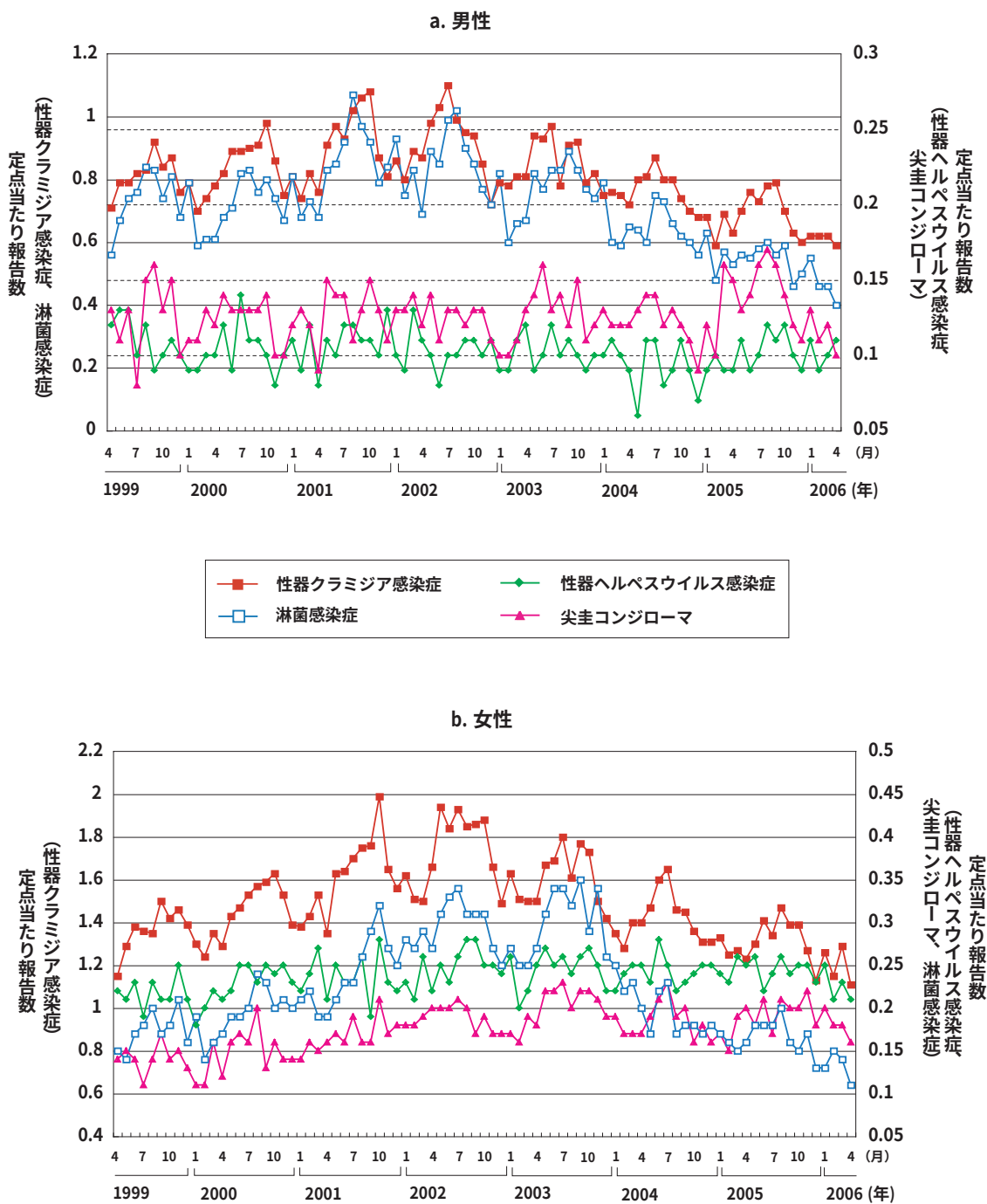


図4. 1999年4月以降の性感染症の月別定点当たり報告数(15~29歳)



◆薬剤耐性菌感染症について(5月17日集計分) 基幹定点数(4月): 449

[定点当たり報告数]

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

4.08(前月: 4.01、前年同月: 3.89)

定点当たり報告数は、例年年間を通じてほぼ一定である。4月は前月より微増し、過去7年間の同月との比較では最も多かった。

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

1.03(前月: 0.97、前年同月: 1.20)

定点当たり報告数は、例年春から初夏にかけて(4～6月)と冬(11、12月)に多く、夏(7～9月)に少なく推移している。4月は前月より微増し、過去7年間の同月との比較では中位に属した。

薬剤耐性緑膿菌感染症

0.09(前月: 0.08、前年同月: 0.09)

定点当たり報告数は、例年後半が前半に比してわずかに多い傾向がある。4月は前月より微増し、過去7年間の同月との比較では中位に属した。

[年齢階級別]

MRSA感染症…高齢者に多く、70歳以上が全体の66%を占めている(図1)。

PRSP感染症…小児と高齢者に多い。5歳未満が全体の60%を占める一方、65歳以上が全体の19%を占めている(図2)。

薬剤耐性緑膿菌感染症…高齢者に多く、70歳以上が全体の50%を占めている(図3)。

[性別](女性を1として算出した男/女比)

MRSA感染症…男: 女=1.7: 1

PRSP感染症…男: 女=1.5: 1

薬剤耐性緑膿菌感染症…男: 女=2.1: 1

[都道府県別]

MRSA感染症…定点当たり報告数は栃木県(8.3)、山口県(8.1)、滋賀県(6.4)が多い。

PRSP感染症…定点当たり報告数は富山県(10.6)、千葉県(7.7)が多く、この2県は前月も上位1、2位であった。

薬剤耐性緑膿菌感染症…報告数が40件にとどまるため、都道府県別定点当たり報告数の評価は困難。

図1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

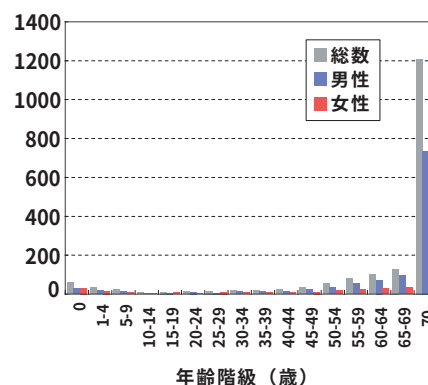


図2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

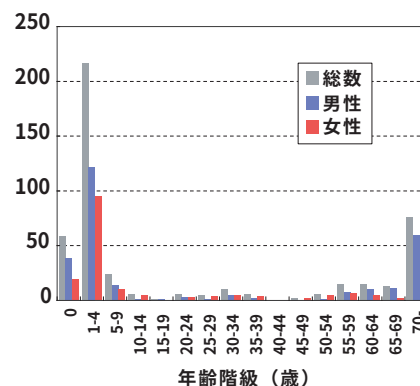
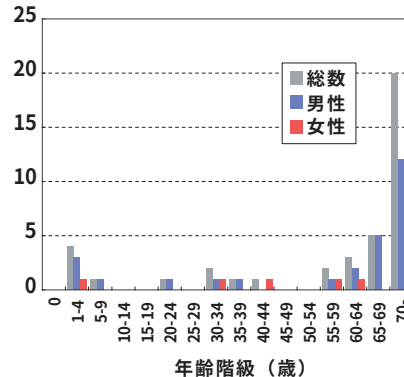


図3. 薬剤耐性緑膿菌感染症



◆結核サーベイランス月報(5月23日集計分)

4月の新登録患者数は1,941人(男性1,255、女性686人)で、このうち活動性肺結核患者は1,498人(うち喀痰塗抹陽性者は759人)であった。都道府県・政令指定都市別の新登録患者数は、東京都(223人)、大阪府(大阪市を除く)(135人)、大阪市(113人)、千葉県(千葉市を除く)(79人)、埼玉県(さいたま市を除く)(73人)が多い。

また、別掲により集計されているマル初者数*は191人であった。

*マル初者…結核の感染が強く疑われるが発病してなく、発病予防のための内服を行っている者。

詳しいコメントは、結核研究所の結核発生動向調査結果報告(<http://www.jata.or.jp/tbmr/tbmr.htm>)をご覧ください。



注目すべき感染症

◆咽頭結膜熱

咽頭結膜熱は主にアデノウイルス3型(他に1、2、5、6型など)による、咽頭炎、結膜炎を主とする急性ウイルス性感染症である。発熱、咽頭炎(咽頭発赤、咽頭痛)、結膜炎(結膜充血、眼痛、流涙、眼脂)が3主症状であり、通常、潜伏期間が5～7日、有症状期間は3～5日と言われている。感染経路は主に飛沫感染、接触感染であるが、その感染力は強力であり、患者が触れたタオル、ドアの把手、エレベーターのボタン、階段の手すりなどを介して感染する場合がある。また、症状消失後も約1カ月間に渡って尿・便中にウイルスが排泄されるとされており、さらに無症状病原体保有者も存在する。そのため、予防対策の効果的な実施が容易でなく、毎年全国的に乳幼児施設や小児施設において集団感染がみられている。

2006年は第3週以降、過去10年間で最も報告の多い状態が続いている(図1)。第20週の定点当たり報告数は0.67(総報告数2,020)であり、都道府県別では鹿児島県(1.8) 福井県(1.7)、香川県(1.3)、岐阜県(1.3)、福岡県(1.3)の順であるが、20週までの定点当たり累積報告数(全国平均4.04)、(累積報告数22,144)では、福井県(16.3)、島根県(13.1)、岐阜県(12.7)、佐賀県(12.3)、鹿児島県(10.2)が多い(図2)。年齢別では5歳以下が全体の70%以上を占めており、7歳までが90%前後を占めているが、これは例年と同様である(図3、図4)。

2006年第1週からの分離ウイルス(総分離報告数46)では、アデノウイルス3型が46%と最多であり、次いで2型32%、1型8%、5型8%、6型4%の順となっている(図5)。今までのところ、例年半数以上を占める3型が50%を下廻っており、2型の割合が例年よりも増加している。

咽頭結膜熱は報告の多い状態が続いているが、今後夏季を迎えてさらに増加すると考えられるため、その発生動向には注意が必要である。

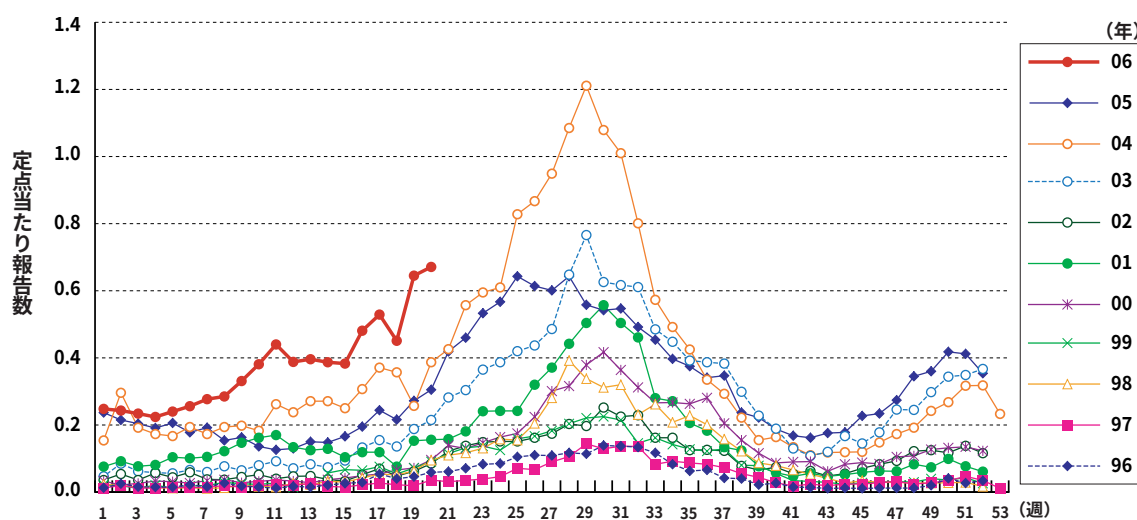


図1. 咽頭結膜熱の年別・週別発生状況(1996～2006年第20週)

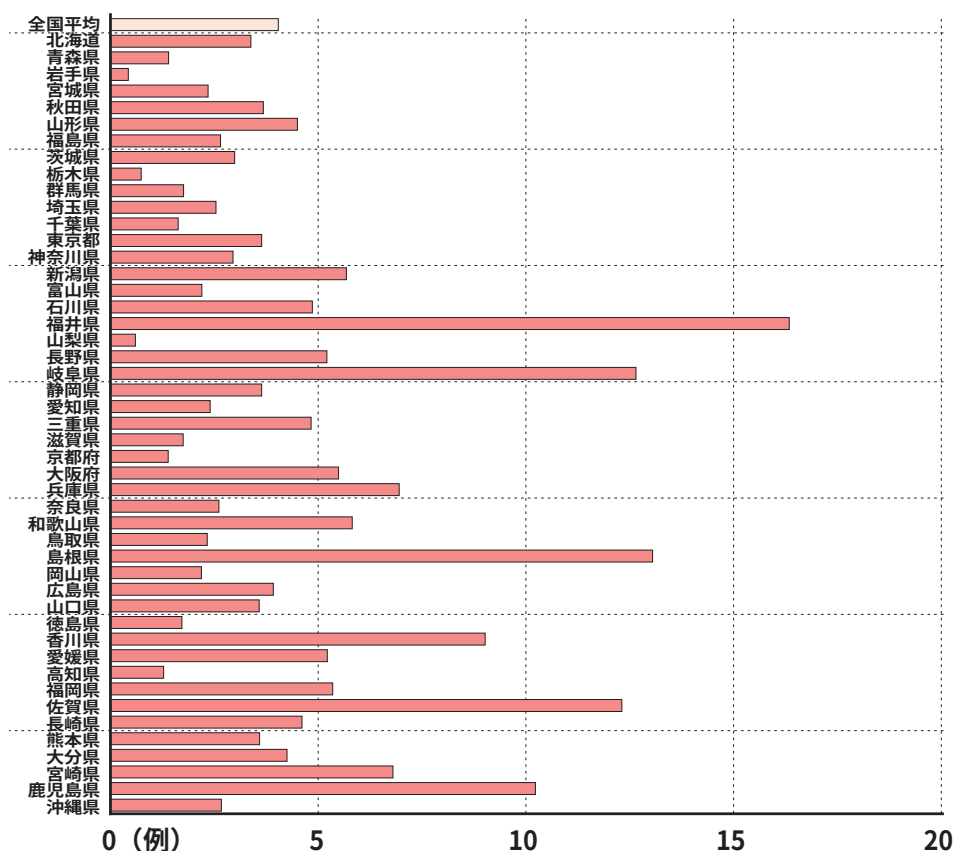


図2. 咽頭結膜熱の都道府県別報告状況(2006年1～20週)

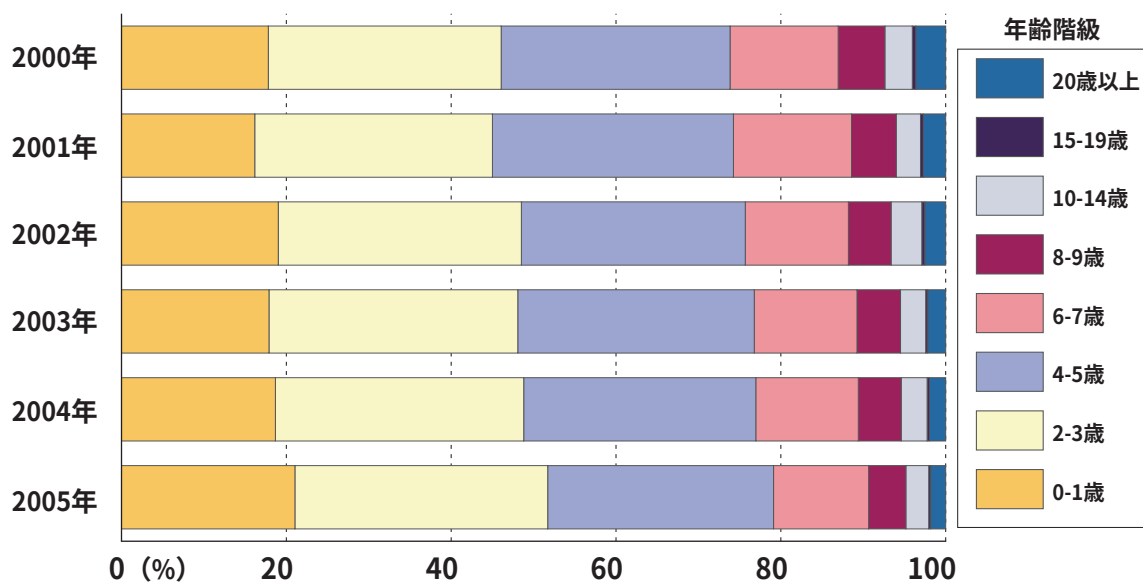


図3. 咽頭結膜熱の報告症例の年別・年齢階級別割合(2000～2005年)

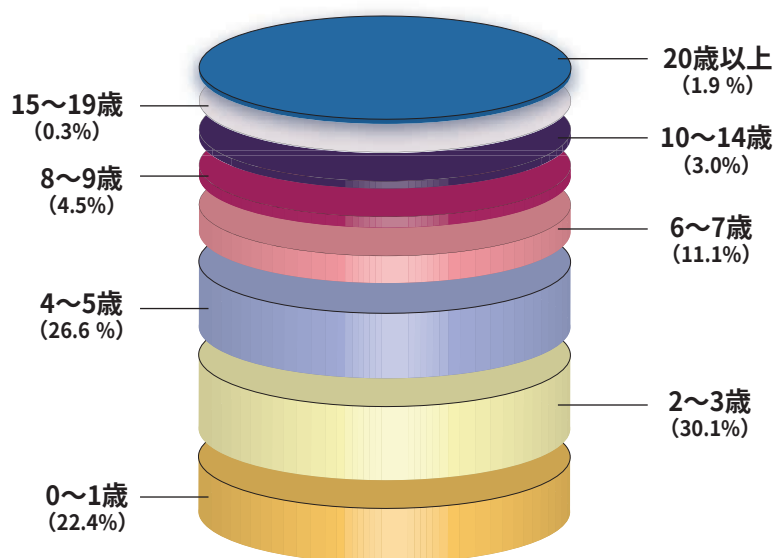


図4. 咽頭結膜熱の報告症例の年齢群別割合(2006年第1～20週)

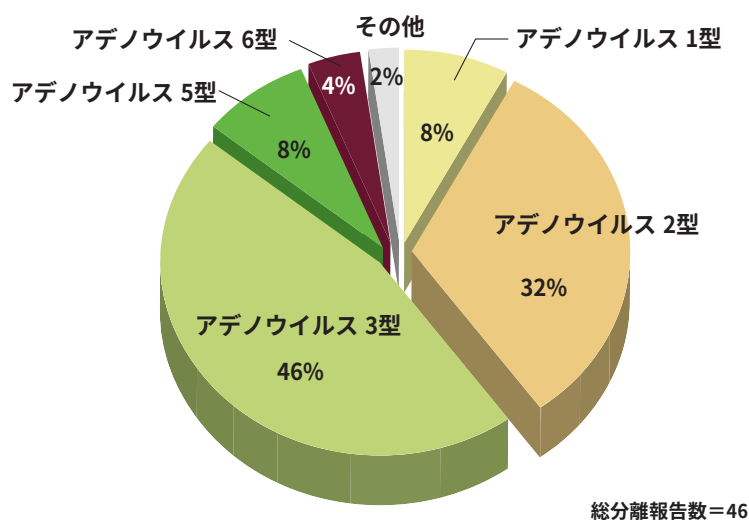


図5. 2006年の咽頭結膜熱における分離ウイルス(2006年5月15日現在)

◆腸管出血性大腸菌感染症

2006年の腸管出血性大腸菌感染症は第15週(27例)から増加が認められ、第20週には53例となった(図1)。第20週に報告の多かった都道府県は東京都(8例)、秋田県(6例)、岐阜県(5例)、愛知県(5例)であった(図2)。また、第1～20週の累積では東京都(31例)、大阪府(25例)、愛知県(24例)、神奈川県(24例)、岡山県(20例)、秋田県(17例)、埼玉県(17例)が多かった。2006年4月から、国内を感染地域とする場合に県名などの詳細情報を届け出るようになったが、第20週の53例の感染地域はほぼ報告した都道府県と一致しており、東京都(7例)、秋田県(6例)、岐阜県(5例)、愛知県(5例)が多かった。

第20週の53例の性別では男性23例、女性30例であり、年齢階級別(10歳毎)では0～9歳(20例)が最も多く、約38%を占めた。また有症状者は31例で、無症状病原体保有者は22例であった。累積報告数320例についてみると、性別では男性164例、女性156例であり、年齢階級別(10歳毎)では0～9歳(117例)が最も多く、37%を占めた。また有症状者は218例(68%)で、無症状病原体保有者が102例であった。無症状病原体保有者は、食品産業従事者の定期検便によって発見される場合もあるが、多くは探知された患者と食事を共にした者や、接触者の調査などによって発見される場合が多い。

溶血性尿毒症症候群(HUS)は、報告遅れ分として第20週に1例報告があり、累積では11例であった。2006年4月からHUS発症例の届出は、病原体の分離ができない症例であっても、便から直接のベロ毒素の検出や、血清抗体の検出によって届出対象となった。11例のうち4例は、血清抗体の検出により届け出られたものである。2006年では第20週までに、死亡例の報告はない。HUSなどの合併症や死亡については、届け出時点以降での発生が十分反映されていない可能性があり、その様な発生があった場合の追加・修正報告をお願いしている。

第20週の53例の血清型・毒素型別は、O157 VT1・VT2(17例)、O26 VT1(12例)、O157 VT2(8例)の順に多かった。また累積報告数では、O157 VT1・VT2(124例)、O157 VT2(59例)、O26 VT1(42例)の順に多かった。

本年第20週までの累積報告数320例は、例年(2000年375例、2001年709例、2002年415例、2003年225例、2004年345例、2005年347例)に比べて特に多いとは言えない。しかし今後、毎年本症が多く発生する夏季を迎えるにあたり、報告数はさらに増加するものと予想され、その発生動向には注意が必要である。

食品の取り扱いには十分注意して食中毒の予防を徹底するとともに、手洗いの励行などにより、ヒトからヒトへの二次感染を予防することが大切である。すでに保育所等や動物園に関連した集団発生もみられている。特に保育所等の施設においては、オムツ交換時の手洗い、園児に対する食前・食後の手洗い指導の徹底、簡易プールなどの衛生管理にも注意を払う必要がある。

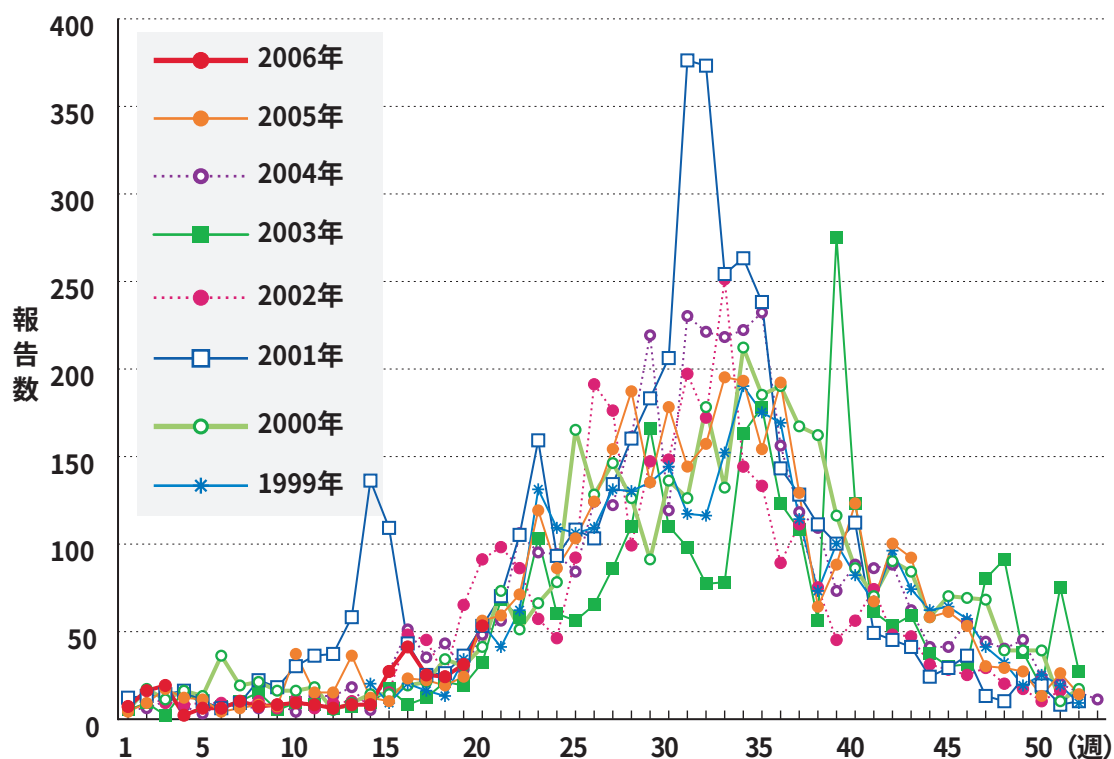
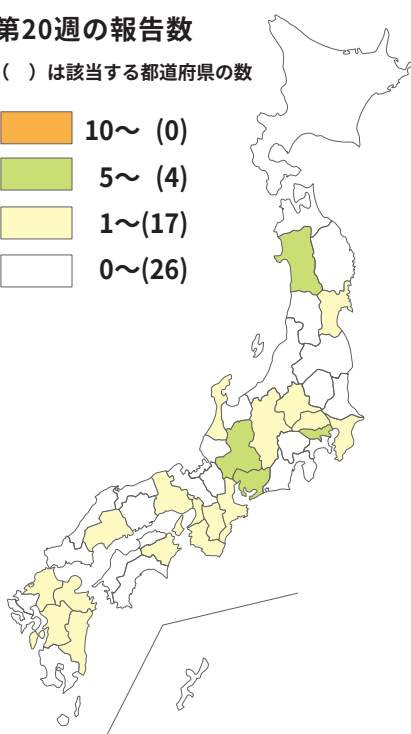
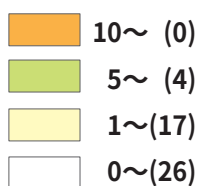


図1. 腸管出血性大腸菌感染症の年別・週別発生状況(2006年第20週現在)

第20週の報告数

() は該当する都道府県の数



2006年の累積報告数(～第20週)

() は該当する都道府県の数

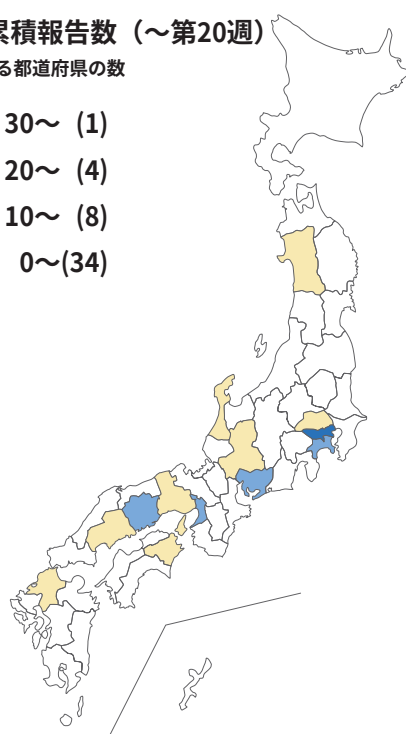
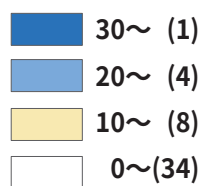


図2. 腸管出血性大腸菌感染症の都道府県別報告状況



病原体情報

*グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

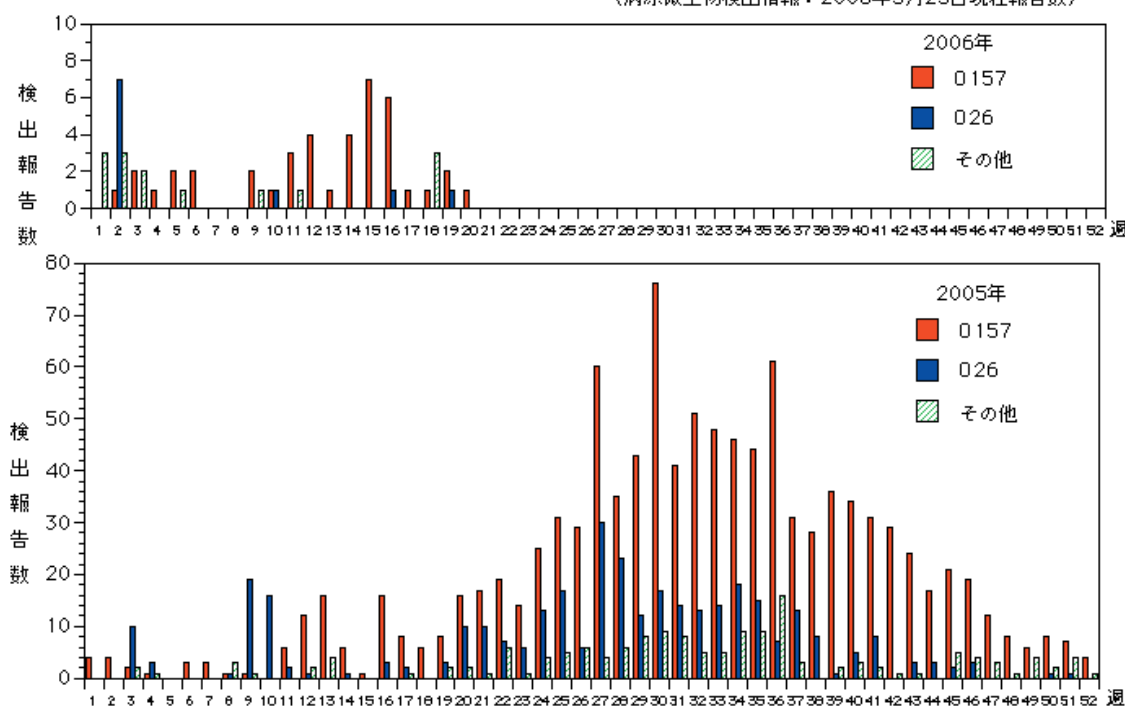
(2006年5月25日現在報告分)

◆ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2006年

2006年の検出総数は65件で、O157が41件、O26が10件、その他の血清型が14件報告されている。第14～15週に徳島県から飲食店でのO157による集団発生事例が報告されている。

週別Vero毒素産生性大腸菌分離報告数、2005年&2006年

(病原微生物検出情報: 2006年5月25日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。

IASR
Infectious Agents Surveillance Report

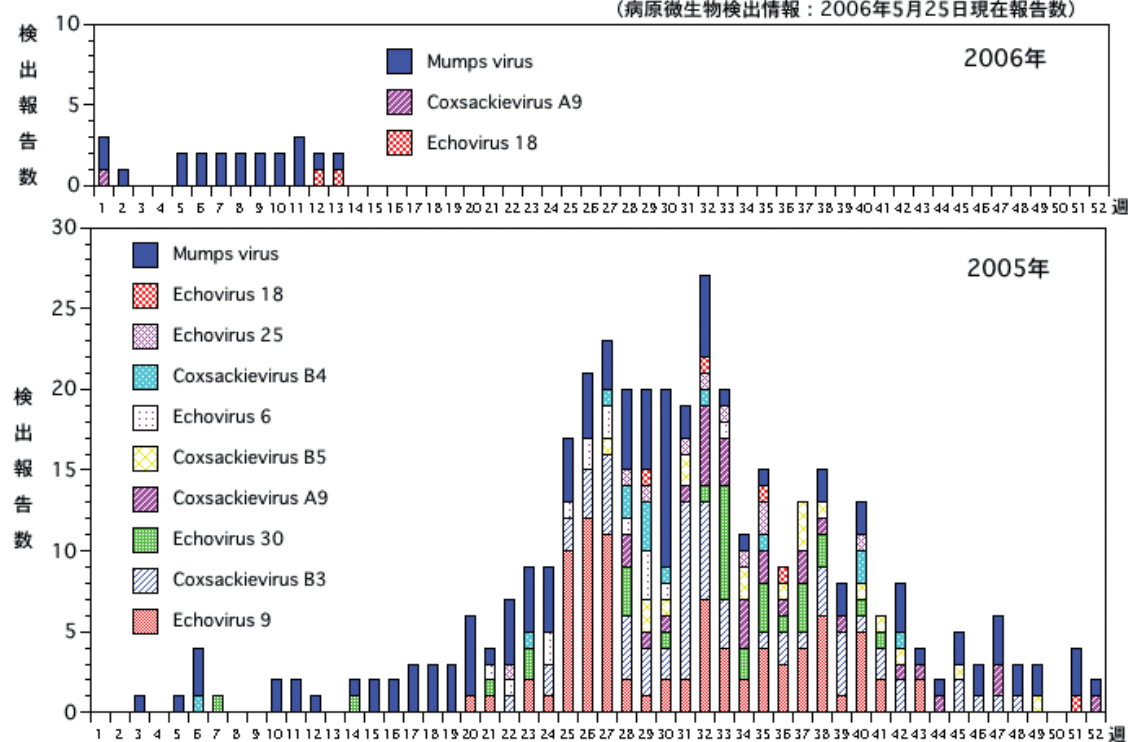
◆無菌性髄膜炎患者から検出されているウイルス 2006年

2006年はムンプスウイルス20件、エコーウイルス(E)18型2件、コクサッキーウイルスA9型(CA9)1件の検出が報告されている。

2005年の報告ではムンプスウイルス、E9、コクサッキーウイルスB3型、E30、CA9などの検出が多かった。

週別無菌性髄膜炎患者からの主なウイルス分離・検出報告数、2005年&2006年

(病原微生物検出情報: 2006年5月25日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した。

IASR

Infectious Agents Surveillance Report

◆インフルエンザウイルス 2005/06シーズン

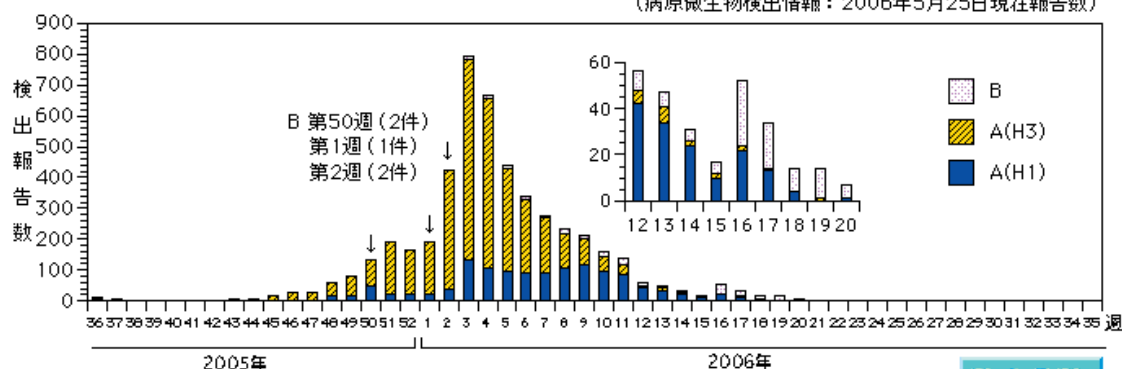
今シーズンはAH3型が主流となったが、第9～15週ではAH1型がAH3型、B型の報告を上回り、第16週以降ではB型が増加してAH1型、AH3型を上回っている。

B型は第16週以降に小中学校での集団発生からも報告されている(前号16～19ページ「速報」参照)。第19週に6道県から13件、第20週に北海道と島根県から6件が報告されている。

AH3型は第19週に神奈川県から1件、AH1型は第20週に北海道から1件報告されている。

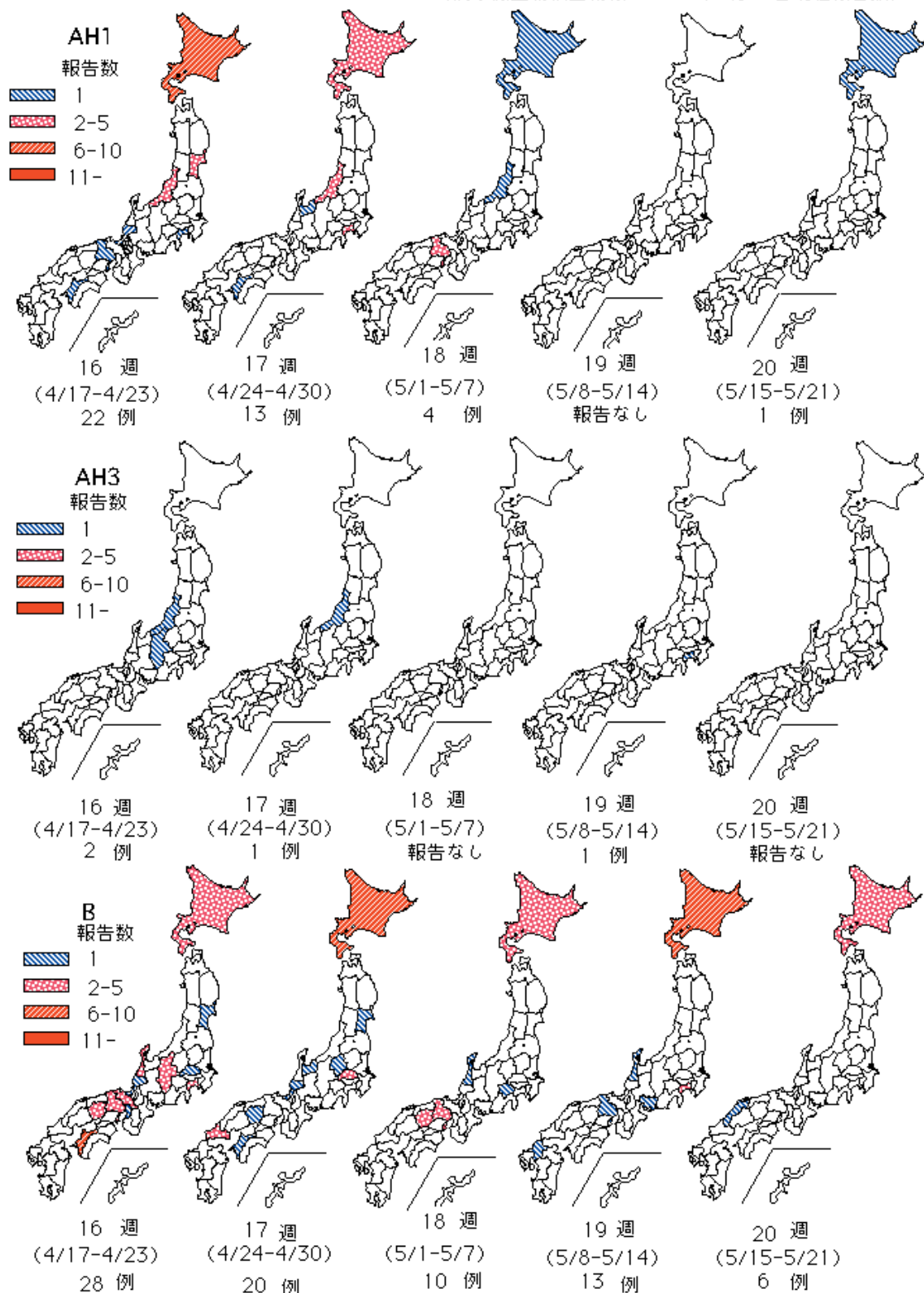
週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数、2005/06シーズン

(病原微生物検出情報: 2006年5月25日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離・検出報告を図に示した。

都道府県別インフルエンザウイルス分離・検出報告状況、2005/06シーズン第16週～第20週
(病原微生物検出情報: 2006年5月25日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した。

IASR

Infectious Agents Surveillance Report

◆A型肝炎－2005年(2006年5月26日時点)

A型肝炎はA型肝炎ウイルス(HAV)の感染により、2～7週間と比較的長い潜伏期間ののち、発熱、全身倦怠感、食思不振、悪心・嘔吐、黄疸などの急性肝炎症状を起こす疾患である。成人では顕性感染が75～90%と多いが、小児では不顕性感染が80～95%と多い。HAVは糞口感染によって伝播するため、その発生状況は衛生環境に左右され、衛生環境の未整備な途上国では10歳までにほぼ100%が感染して、無症状のまま抗体を保有するといわれている。現在の日本においては、50歳以下での抗体陽性者は極めて少なくなっている。

A型肝炎は1987年に感染症サーベイランス事業の対象疾患に加えられ、全国約500カ所の病院定点から月単位の報告により、発生動向調査が開始された。その後1999年4月の感染症法施行より、急性ウイルス性肝炎の一部として全数把握疾患となり、診断した全ての医師に届け出が義務づけられるようになった。さらに2003年11月5日からは感染症法の改正によって、単独疾患として四類感染症に分類され、無症状病原体保有者を含む届け出となった。

感染症法のもとで報告されたA型肝炎の過去の年間報告数は、1999年(4月～)761例、2000年381例、2001年491例、2002年502例、2003年303例であったが、2004年は139例と著減し、2005年は171例であった(図1)。性別では男性108例、女性63例であった。年齢は1～91歳(中央値45歳)で、過去の年齢中央値と比較すると上昇傾向が認められた(図2)。推定感染地域は国内123例、国外36例、不明12例であり、2005年は前年(2004年)に比べ、国内、国外ともにわずかな増加がみられた(図3)。なお、患者の接触者として検査されて判明した無症状病原体保有者の報告が1例あった。死亡例の報告はなかった。

国内感染が推定された123例は、性別では男性78例、女性45例、年齢は1～91歳(中央値:

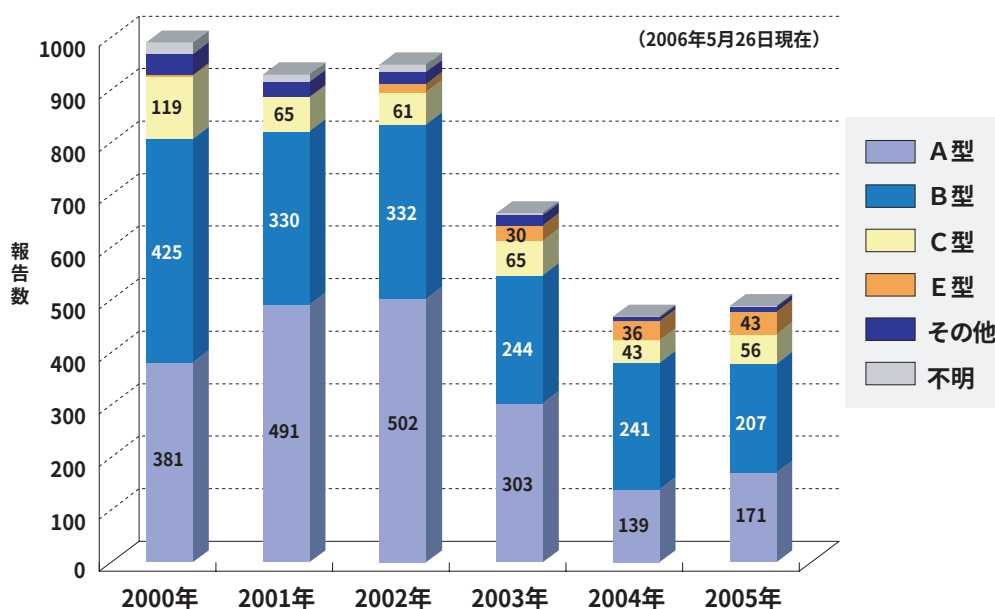


図1. 急性ウイルス性肝炎の発生状況(2000～2005年)

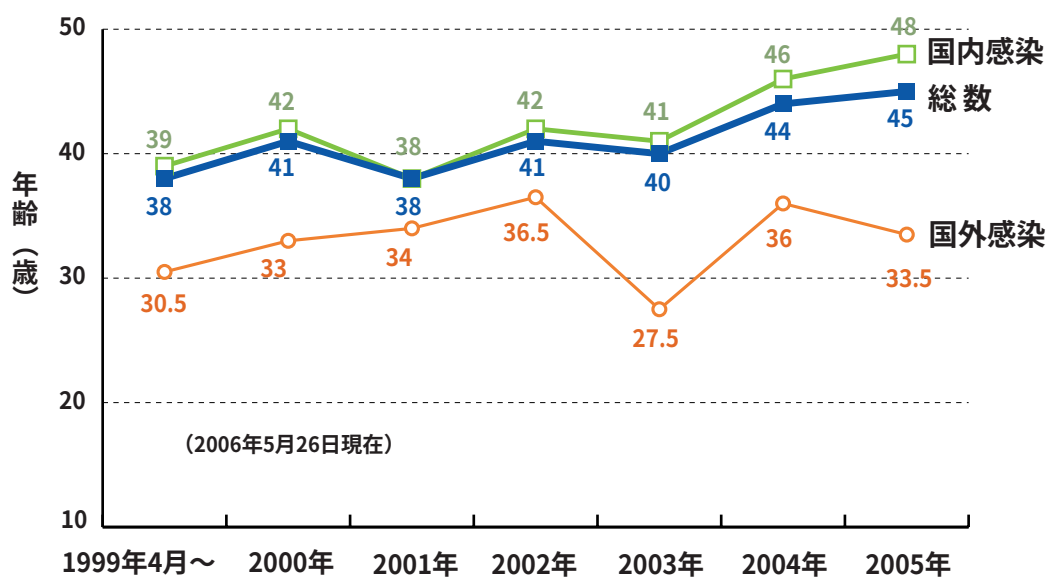


図2. A型肝炎の報告症例の年別年齢中央値の推移

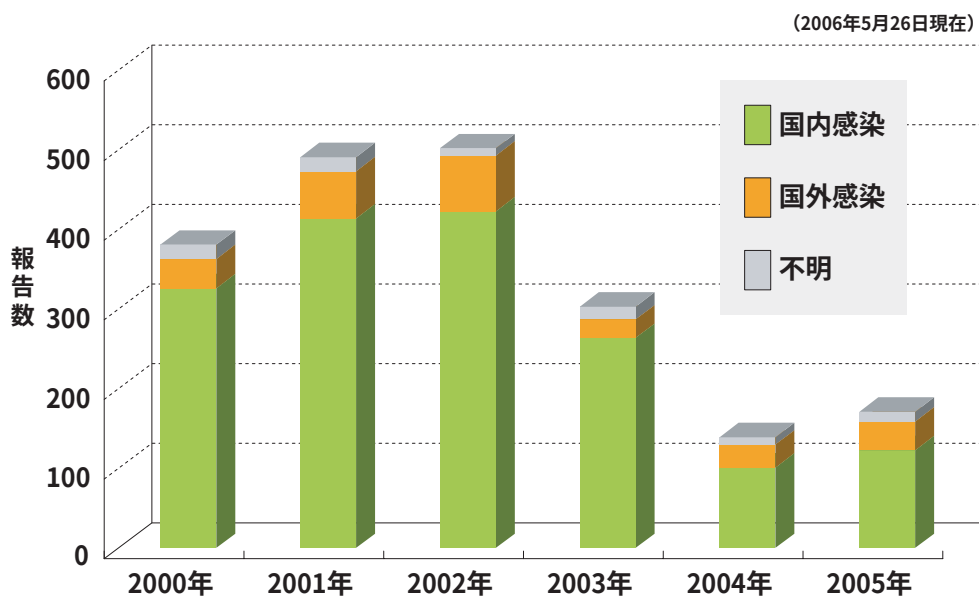


図3. A型肝炎の年別・推定感染地域別報告数

48歳)であり、年齢中央値には上昇傾向が見られた。年齢群別では10歳未満2例、10代5例、20代12例、30代22例、40代24例、50代21例、60代18例、70代12例、80代6例、90代1例で、30～60代に多く、特に30～50代の男性に多かった(図4)。都道府県別では北海道16例、東京都12例、大阪府12例、兵庫県12例、岡山県10例が多く、一方、報告のない県が16県みられた。ただし、これらは届け出を行った自治体であり、感染地を意味するものではない。発症月の記載があった120例について発症月をみると、1月をピークに、5月を除く1～6月に多く、7月以降は少ない傾向が認められた(図5)。これは、2001年を除く2000～04年の傾向とほぼ同様である。推定感染経路は経口感染91例、患者との接触1例、不明が31例であった。経口感染の推定感染源をみると(複数回答あり)、牡蠣が27例、牡蠣以外の海産物が17例、寿司が4例、水が2例であった(図6)。感染経路や感染源の推定は感染拡大防止策、感染予防策に有用な情報であるので、医療機関においては、問診などによりできる限り具体的な情報を収集することが望まれる。

国外感染が推定された36例は、性別では男性26例、女性10例であり、年齢は4～64歳(中央値:33.5歳)であった。年齢群別では、10歳未満1例、10代0例、20代10例、30代12例、40代5例、50代5例、60代3例であった(図4)。発症月は全例で記載されていたが、特別な集積は認められなかった(図5)。推定感染国をみると(複数国名の記載あり)、インド6例、インドネシア4例、カンボジア4例、韓国3例、中国3例、フィリピン3例、タイ3例、ミャンマー3例などであり、アジアが32例と89%を占めた(図7)。推定感染経路は経口が32例、不明が4例で、経口感染の推定感染源では(複数回答あり)牡蠣が3例、牡蠣以外の海産物が8例、水が5例、生野菜が2例、果物が1例であった(図6)。

A型肝炎はワクチンによる予防が可能であり、わが国では16歳以上の者が任意接種として接種可能である。特に流行地への渡航者にはワクチン接種が勧められる。また、調理従事者や保育施設従事者などの感染予防、感染拡大防止にも有用と考えられる。

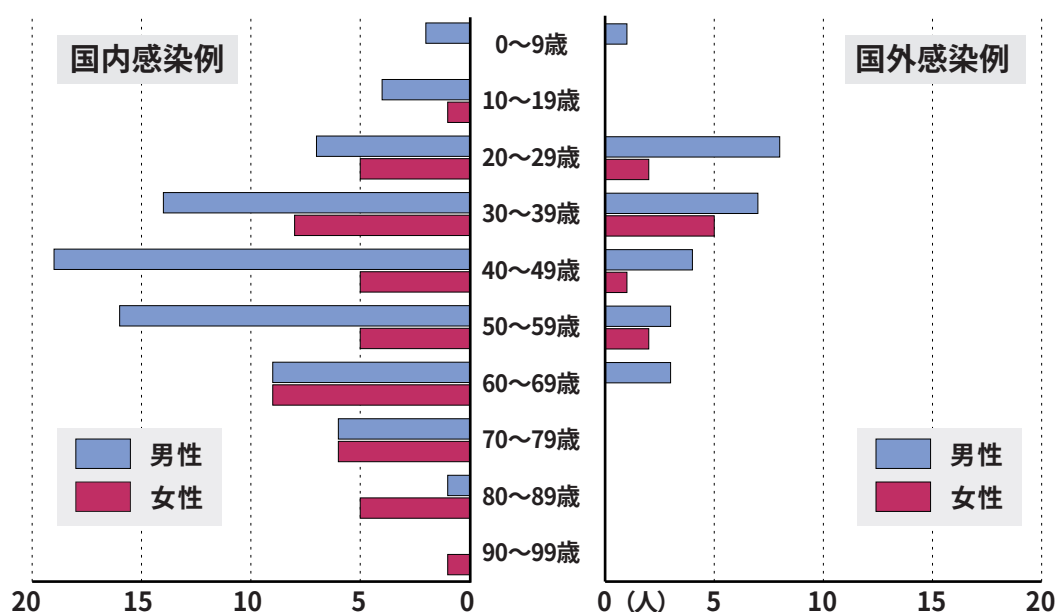


図4. A型肝炎の性別・年齢群別報告数(2005年)

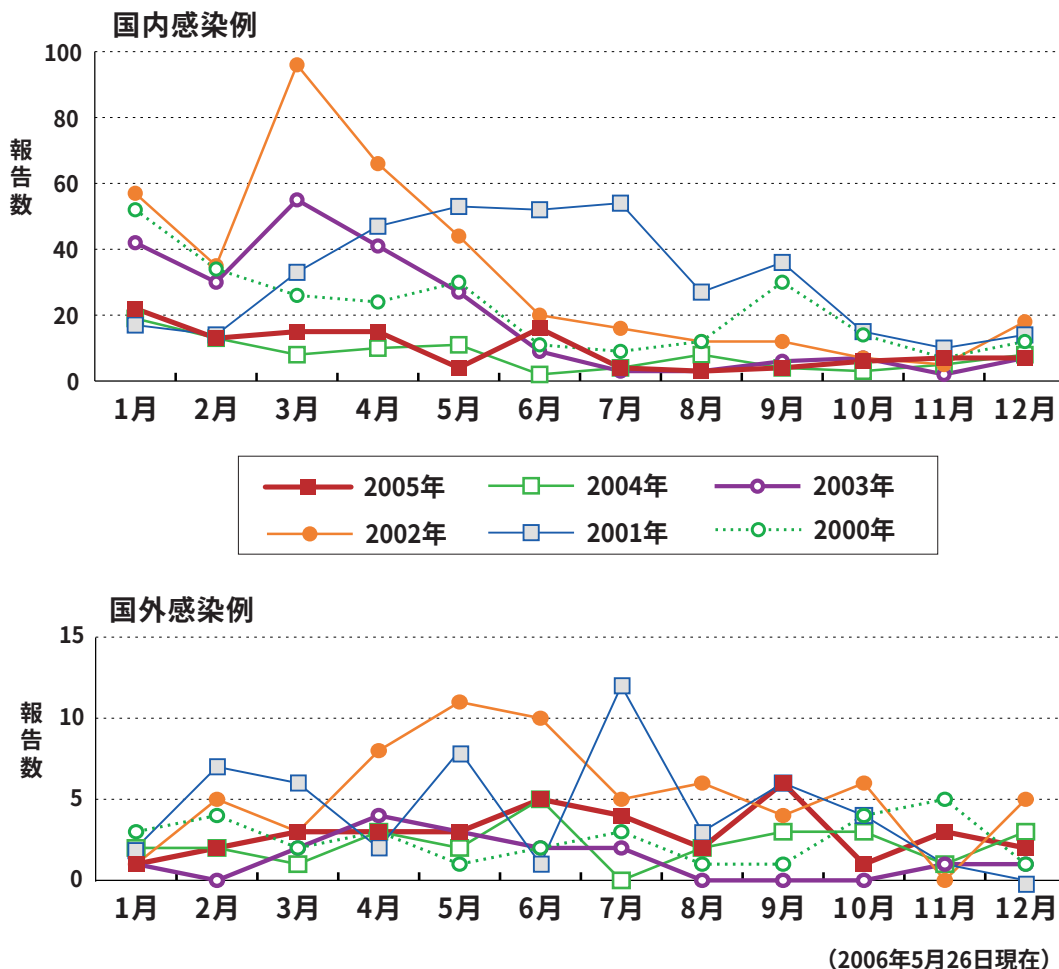


図5. A型肝炎の年別・発症月別報告数

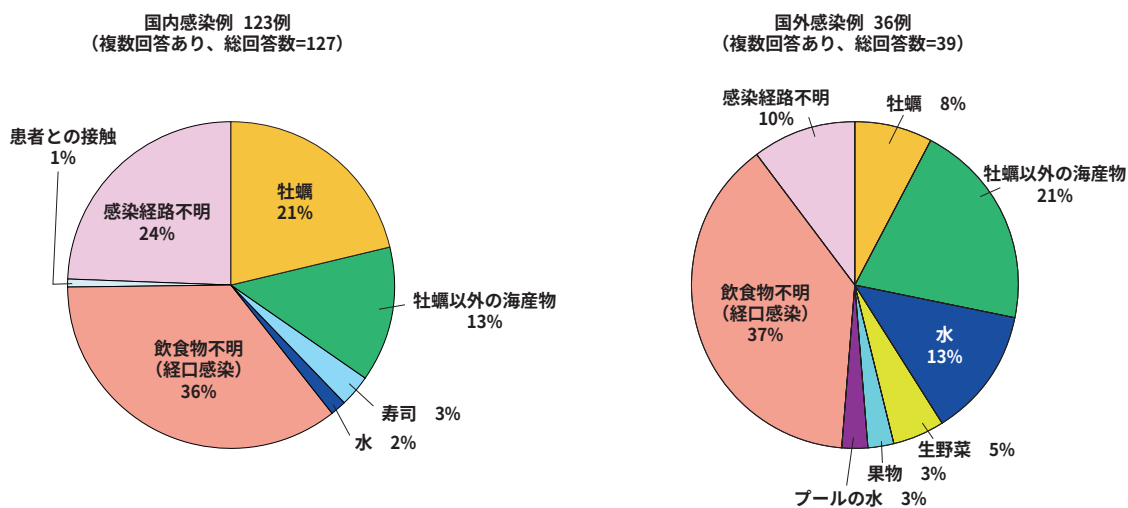


図6. A型肝炎の報告症例の推定感染経路/推定感染源(2005年)

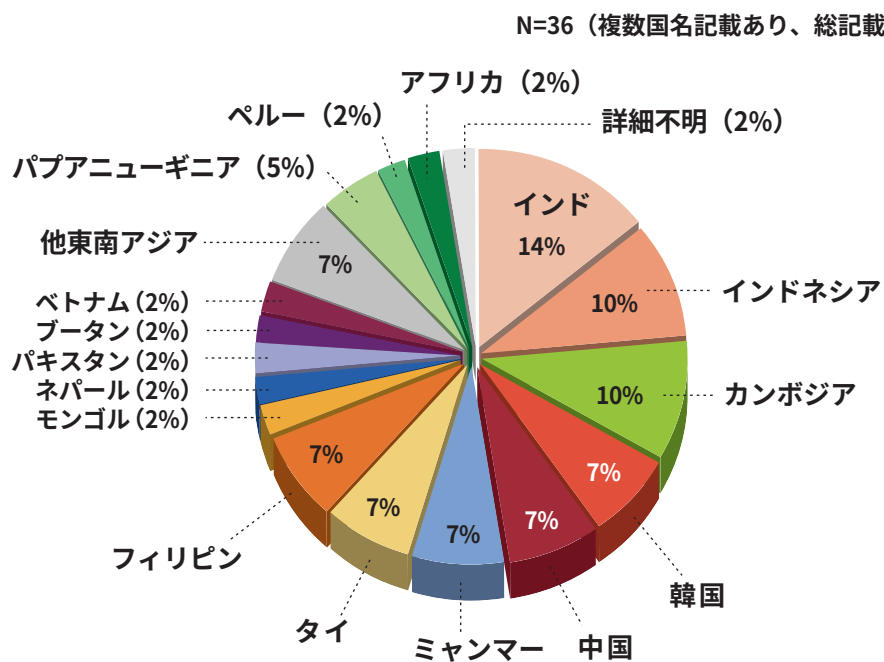


図7. A型肝炎の国外感染例の推定感染国 (2005年)



海外感染症情報

*関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)をご覧ください。

●インドネシアでの鳥インフルエンザ流行状況

WHO/EPR 2006年5月23日—更新14

2006年5月23日に、インドネシア保健省は、新たなH5N1型鳥インフルエンザウイルス感染患者1名を確定した。患者は32歳男性である。2006年5月15日に発症し、5月22日に死亡した。

患者は、North Sumatra州Karo地区Kubu Sembelang村での家族内集団発生事例の一員である。この大家族内での7例目のH5N1型ウイルス感染患者であり、6例目の死亡者である。同家族で最初に発病した別の1人が、5月4日に呼吸障害で死亡している。この死亡した女性患者の埋葬前には検体が採取されなかったため、死因の特定が不可能となっている。しかし、患者の臨床経過がH5N1型ウイルス感染と合致するため、現地入りしている疫学者らは、この女性患者を今回の集団感染事例の初発患者としている。

今回新たに診断が確定した患者は、初発患者の弟である。検体は5月21日に採取され、同日ジャカルタに空輸された。徹夜で行われた診断検査の結果、感染が確認された。この男性の10歳になる息子は、5月13日にH5N1型ウイルス感染で死亡している。父親である男性は息子の介護に深く関与し、この際の接触により感染曝露された可能性が考えられる。調査は継続されているが、これまでの調査結果では、確定患者のうち3名は、初発患者が発症して頻回に咳をしていた2006年4月29日夜に、狭い部屋で初発患者と一緒に過ごしたことが確認されている。その3名とは、死亡した女性患者の息子2名と、25歳の2番目の弟である。この弟は、同家族内のH5N1型ウイルス感染患者のうち、唯一の生存者である。他の感染した家族は、隣接した自宅に居住していた。

この集団感染事例での全確定患者は、症状が重い時期の患者に長時間密に曝露されていた可能性がある。ヒトからヒトへの感染伝播は除外できないが、別の感染源についても調査が継続されている。

保健省とWHO当局はKubu Sembelangでの状況に懸念を抱き、調査と対策を強化している。他の家族構成員、密接な接触者、および地区住民での新たなインフルエンザ様症状を呈する患者の調査が最優先で実施されている。現在のところ、地区住民での感染拡大の証拠も、ヒトからヒトへの効率的な感染伝播が発生しているとの証拠も確認されていない。

ウイルスの解析:

香港と米国にあるWHOのH5型インフルエンザウイルス・リファレンスラボで、今回の集団発生事例での患者から分離されたウイルス株2件の完全な遺伝子核酸配列解析が完了した。遺伝子8分節すべての核酸配列について、ヒトまたはブタインフルエンザウイルスとの遺伝子再集合の証拠も、顕著な変異の証拠も確認されなかった。分離株では、オセルタミビル(タミフル)を含むノイラミニダーゼ阻害薬に対する耐性に関係する変異も確認されなかった。

今回の集団発生で患者から分離されたウイルス株は、それ以前にNorth Sumatra州内で発生した家禽での感染事例から分離されたウイルス株に、遺伝子的に類似していた。

WHO/EPR 2006年5月29日—更新14

2006年5月29日、インドネシア保健省は、新たなH5N1型鳥インフルエンザウイルス感染患者6名を確定した。患者のうち3名が死亡した。新たに診断確定された患者は、North Sumatra州Karoでの家族内集団発生には関係していない。患者は広域に分散して発生している。

新規患者の1人はEast Java州の18歳男性である。5月6日に発症し、5月17日に入院した。現在

回復中である。調査の結果、発病する前の1週間以内に、自宅で死んだニワトリとの接触歴が確認された。患者との濃厚接触者の調査および経過観察中には、他のインフルエンザ様患者は特定されなかった。

別の患者2名は、West Java州Bandung地区の10歳の少女と、18歳になるその兄である。両名は5月16日に発症し、5月22日に入院し、5月23日に死亡した。2人は発症1週間前に、自宅で発病したり瀕死のニワトリとの濃厚な接触があった。発病日が同じであることから、患児間での感染伝播ではなくて、家禽から共通して曝露されたことが強く示唆される。接触者の経過観察では、新たなインフルエンザ様患者は確認されていない。

4例目の患者はWest Jakarta州の39歳男性である。5月9日に発症し、5月16日に入院し、5月19日に死亡した。調査の結果、発症の直前に、自宅のつまった雨樋からハトの糞を除去していたことが判明した。それ以外の感染源は特定されていない。

残りの患者2名は、5月6日に発病したSouth Jakarta州の43歳男性と、5月17日に発症したWest Sumatra州の15歳少女である。43歳男性は回復して、退院した。15歳少女は現在も入院中である。これらの患者2名の感染源は調査中である。

今回の新規患者発生により、インドネシア国内の患者数累計は48名となった。そのうち、36名が死亡している。

●アンゴラでコレラ流行

WHO/EPR 2006年5月25日－更新2

2006年5月23日現在、アンゴラでコレラによる死亡者1,437名、患者38,897名が報告された。直近の24時間以内には、7名の死亡者を含む303名の新たな患者が報告されている。感染は18州のうち12州に広がっている。患者のうち51%がLuanda州、19%がBenguela州で発生した。

Lunda-Norte州からの初めての報告では、2006年の5月始めから死亡者52名、患者159名がみられている。

州ごとに致死率をみると、1%から30%までの範囲である。現在、Luanda州とBenguela州では減少傾向を示しているが、まだ1日におよそ300名の患者が報告されている。

WHOは保健省や他の提携機関とともに、対策の調整、飲料水および衛生設備、強化サーベイランスの支援を行っている。



感染症の話

◆リッサウイルス感染症

リッサウイルス感染症はラブドウイルス科リッサウイルス属(Rhabdoviridae family, Lyssavirus genus)のウイルスにより引き起こされる感染症であるが、ここでは狂犬病ウイルス以外のリッサウイルス(nonrabies lyssaviruses)、いわゆる狂犬病類似ウイルス(rabies-related viruses)をリッサウイルス感染症として述べる。日本ではこれまでにリッサウイルス感染症の発生や、コウモリからリッサウイルスが分離された報告はない。ヒトでは、輸入感染症として患者の海外渡航歴や、流行地域でのコウモリ等との接触が臨床診断の手がかりとなる。

疫学^{1,2)}

狂犬病ウイルスを除くリッサウイルスは、アフリカ(ナイジェリア、南アフリカ、カメルーン、ジンバブエ、中央アフリカ共和国、セネガル、エチオピア)、東西ヨーロッパ(ウクライナ、ロシア、ポーランド、ハンガリー、ドイツ、オランダ、デンマーク、フランス、スイス、英国⁴⁾)、オーストラリア大陸に生息するオオコウモリや小型コウモリなどから分離されている。現在、リッサウイルスには狂犬病ウイルスを含めて7種類の遺伝子型(genotype)が報告されているが、中央アジア(Kyrgyzstan、Tajikistan、Krasnodar region)、シベリア(Irkutsk)のコウモリから近年分離されたリッサウイルスでは新しい遺伝子型が提唱されており、未分類である(表1)^{5,6)}。

ラゴスコウモリウイルス(1956年)、モコラウイルス(1968年)、ドゥベンヘイグウイルス(1970年)はいずれもアフリカ大陸で最初に分離されており、EBLV-1(1968年)およびEBLV-2(1985年)とABLV(1996年)は、それぞれヨーロッパ大陸とオーストラリア大陸で分離されている。ラゴスコウモリウイルスは数種類のアフリカ産オオコウモリから分離され、モコラウイルスはトガリネズミ(*Crocidura shrews*)や他の齧歯類が自然宿主と考えられている。ドゥベンヘイグウイルスは食虫コウモリが自然宿主と考えられている。EBLV-1とEBLV-2は、それぞれコウライクビワコウモリ(*Eptesicus serotinus*)とヌマホオヒゲコウモリ(*Myotis dasycneme*)などから分離されており、ABLVは数種類のオーストラリア産オオコウモリと食虫コウモリから分離されている。東南アジア地域ではリッサウイルスを分離して同定した報告はないが、フィリピンとタイから中和抗体を保有するコウモリの成績が報告されている^{3,7)}。

ヒトはリッサウイルスに感染したコウモリに咬まれることによって発症する(モコラウイルスでは、トガリネズミとの接触が原因と考えられている)が、ヒトのリッサウイルス感染症は稀である。これまでに9例の患者が報告されているが、モコラウイルスに感染した1例を除いて、いずれも狂犬病と同様の症状を示して死亡している(表2)。

病原体¹⁾

リッサウイルスは、ラブドウイルス科リッサウイルス属(Rhabdoviridae family, Lyssavirus genus)に分類されるマイナス鎖の1本鎖RNAをゲノムにもつ、「弾丸」様の形態をとる直径75～80 nm、全長180～200 nmの大きなRNA型ウイルスである。ウイルスの成熟粒子はゲノムRNAと少なくとも5つのウイルス蛋白から構成されており、構造的にヌクレオカプシド(nucleocapsid)とエンベロープ(envelope、外被)に区別される。

ウイルスは強い神経親和性を持ち、その感染と伝播は狂犬病ウイルスと同様にG蛋白質に対する中和抗体で抑制される。

表1. リッサウイルス属(狂犬病ウイルスを含む)

遺伝子型	ウイルス名	
	和 名	英 名 (略 名)
1	狂犬病ウイルス	Rabies virus (RABV)
2	ラゴスコウモリウイルス	Lagos bat virus (LBV)
3	モコラウイルス	Mokola virus (MOKV)
4	ドゥベンハイグウイルス	Duvenhage virus (DUVV)
5	ヨーロッパコウモリリッサウイルス1	European bat lyssavirus 1 (EBLV-1)
6	ヨーロッパコウモリリッサウイルス2	European bat lyssavirus 2 (EBLV-2)
7	オーストラリアコウモリリッサウイルス	Australian bat lyssavirus (ABLV)
未分類のリッサウイルス		
	アラバンウイルス (1991年)	Aravan virus (ARAV)
	クージャンウイルス (2001年)	Khujand virus (KHUV)
	イルクーツウイルス (2002年)	Irkut virus (IRKV)
	ウェストコーカシアンコウモリウイルス (2002年)	West-Caucasian bat virus (WCBV)

表2. 狂犬病ウイルスを除くリッサウイルスによる感染症

ウイルス (遺伝子型)	年度	発生国	性別 (年齢)	感染源	経過
MOKV (2型)	1968	ナイジェリア	女 (3.5歳)	トガリネズミ (?)	回復
	1971	ナイジェリア	女 (6歳)	トガリネズミ (?)	死亡
DUVV (3型)	1970	南アフリカ	男 (31歳)	コウモリ	死亡
EBLV-1 (5型)	1985	ロシア	女 (11歳)	コウモリ	死亡
EBLV-2 (6型)	1985	フィンランド	男 (30歳)	コウモリ	死亡
	2002	英国	男 (55歳)	コウモリ	死亡
ABLV (7型)	1996	オーストラリア	女 (39歳)	コウモリ	死亡
	1998	オーストラリア	女 (37歳)	コウモリ	死亡
不明	1977	ウクライナ	女 (15歳)	コウモリ	死亡

臨床症状²⁾

リッサウイルス感染症は、臨床症状から狂犬病と区別することは難しい。臨床症状は狂犬病で見られるような発熱、食欲不振、倦怠感、感染(咬傷)を受けた四肢の疼痛や搔痒感、咽頭痛、知覚過敏といった初期症状に続いて、興奮性の亢進、嚥下困難、発声困難、筋痙縮が現れて、恐水症状や精神攪乱などの中枢神経症状が見られるようになる。症例によっては呼吸器系の痙縮、呼吸困難、不安感、おびただしい流涎、知覚錯誤などをともなう。病態は急性かつ進行性であり、痙攣や攻撃的な神経症状はしだいに強く持続性となり、四肢の弛緩、脱力と反射の減弱が増強して最後には昏睡状態となり、呼吸停止とともに死亡する。

ヒトの標準的な潜伏期間は狂犬病と同様に20日から90日であり、咬傷部位や数によって期間は異なると考えられる。オーストラリアで1998年にABLVの感染で死亡した37才の女性では潜伏期が長く、コウモリによる咬傷をうけてから27カ月後に発症している。感染したコウモリにおける潜伏期間は明らかでない。また、リッサウイルスに感染して発症したヒトは、発症後5日から5週間で死亡している(1カ月前後が多い)。モコラウイルスに感染したナイジェリアの少女は、急性の発熱と痙攣を起こした後に短期間で回復している。ラゴスコウモリウイルスによるヒトの感染例はまだ報告がない。

病原診断²⁾

臨床症状からリッサウイルス感染症と狂犬病を鑑別することは不可能である。

検査は狂犬病ウイルスと同様の方法で行なわれる。現在、ウイルスの実験室内検査としては抗原検出と遺伝子検出が可能である。狂犬病の検査に用いられている市販の検査用抗体は、狂犬病ウイルスを含むリッサウイルス遺伝子型1～7の全てに反応する。したがって狂犬病とリッサウイルス感染症の区別は、分離されたウイルスの遺伝子型を決めることにより可能となる。

抗原検出は患者の角膜塗抹標本、頸部皮下毛根部の神経組織、唾液腺などの生検材料で行なわれるが、ホルマリン固定材料でもウイルス抗原の検出は可能である。遺伝子検出は唾液、髄液などの生検材料や、剖検によって得られた脳組織から抽出されたウイルスのRNAを利用して、RT-PCR法によって行なわれる。ウイルスの分離は乳のみマウス、マウス神経芽腫細胞への接種試験によって可能である。近年では、遺伝子型特異的なプライマーを用いてリッサウイルスの遺伝子型別を行なう方法も開発されている。

治療・予防²⁾

患者への対応は基本的に狂犬病のそれに準じる。

発症予防を目的としたリッサウイルス感染症のためのワクチンや免疫グロブリンは、現在のところない。従って、ヨーロッパやオーストラリアでは、感染リスクグループに対する発症予防や感染が疑われた場合に行う曝露後のワクチン接種には、狂犬病ワクチンの使用が推奨されている。

狂犬病ワクチンはABLV感染に対しては発症予防が可能であり、ラゴスコウモリ、ドゥベンヘイグ、EBLV-1およびEBLV-2ウイルスに対しても、部分的な交差反応による予防効果が見られる。モコラウイルスの感染に対しては、現在使用されているワクチンとの交差反応は見られないため、予防効果はないと考えられている。

リッサウイルス感染症のリスクグループは、ウイルス検査にたずさわる専門家や研究者、コウモリの専門家、コウモリを取り扱う研究者、コウモリの展示施設や野生動物保護の関係者など、感染源となる野生動物との接触頻度の多い職種が考えられる。

リッサウイルス感染症は狂犬病同様に、患者に対する特異的治療法が無いため、患者に対する精神的支援が必要である。

感染症法における取り扱い

リッサウイルス感染症は四類感染症に定められており、診断した医師は直ちに最寄りの保健所に届け出る。

【文献】

リッサウイルスの総説

1. Rupprecht CE, Dietzschold B, Koprowski H(ed.): Lyssaviruses. Springer-Verlag Berlin Heidelberg. 1994.
2. Jackson AC, Wunner WH(ed.): Rabies. Academic Press, An Elsevier Science Imprint. San Diego, CA, USA. 2002.

リッサウイルスの疫学

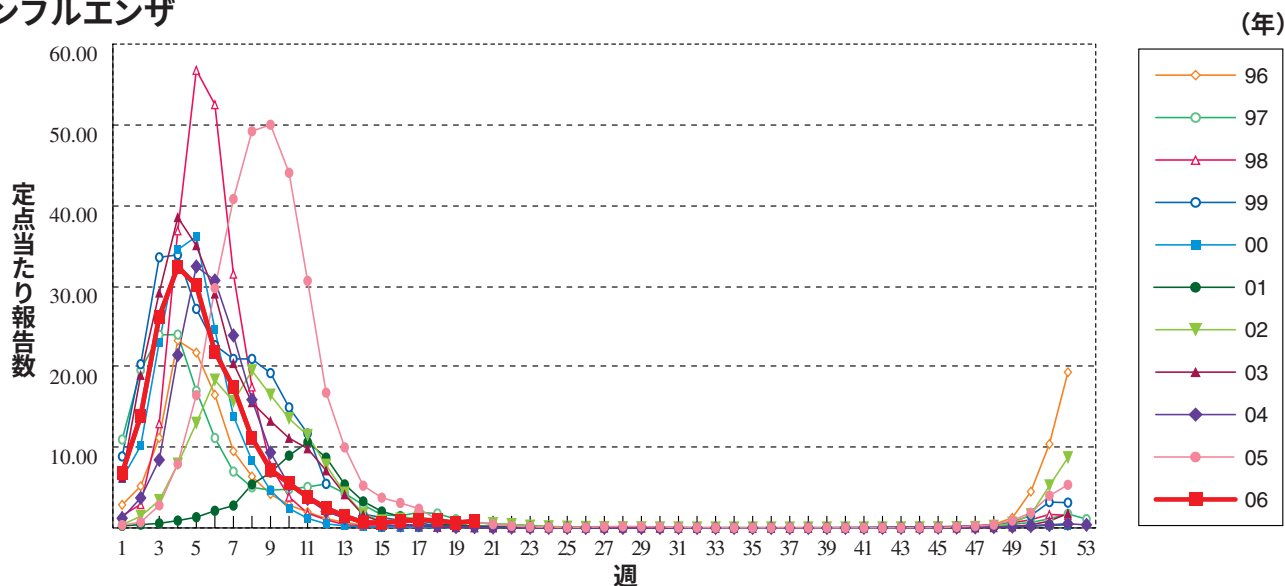
3. Arguin PM, Murray-Lillibridge K, Miranda MEG, Smith JS, Calaor AB, Rupprecht CE: Serologic evidence of Lyssavirus infections among bats, the Philippines. EID 2002 8(3):258-262.
4. Fooks AR, Brookes SM, Johnson N, McElhinney LM, Hutson, AM: European bat lyssaviruses: an emerging zoonosis. Epidemiol Infect 2003 131(3):1029-39.
5. Kuzmin IV, Orciari LA, Arai YT, Smith JS, Hanlon CA, Kameoka Y, Rupprecht CE: Bat lyssaviruses (Aravan and Khujand) from Central Asia : phylogenetic relationships according to N, P and G gene sequences. Virus Res 2003 97(2):65-79
6. Kuzmin IV, Hughes GJ, Botvinkin AD, Orciari LA, Rupprecht CE: Phylogenetic relationships of Irkut and West Caucasian bat viruses within the Lyssavirus genus and suggested quantitative criteria based on the N gene sequence for lyssavirus genotype definition. Virus Res 2005 111(1):28-43.
7. Lumlertdacha B, Boongird K, Wanghongsa S, Wacharapluesadee S, Chanhom L, Khawplod P, Hemachudha T, Kuzmin I, Rupprecht CE: Survey for bat Lyssaviruses, Thailand. EID 2005 11(2):2328-236.

(国立感染症研究所獣医科学部 井上 智)

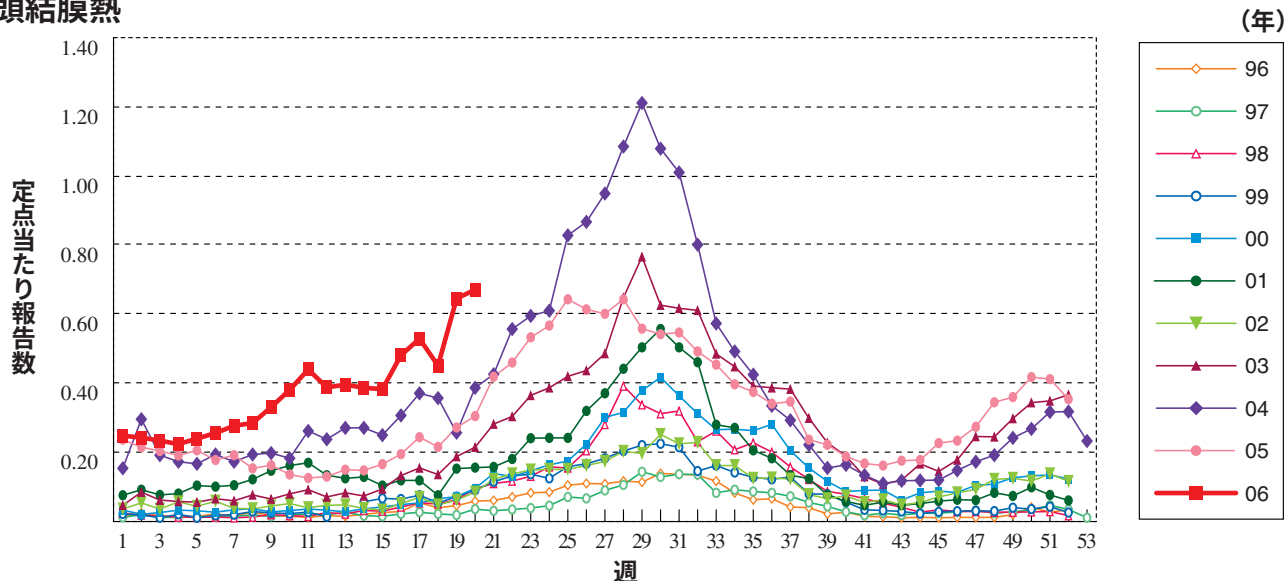


グラフ総覧(20週)

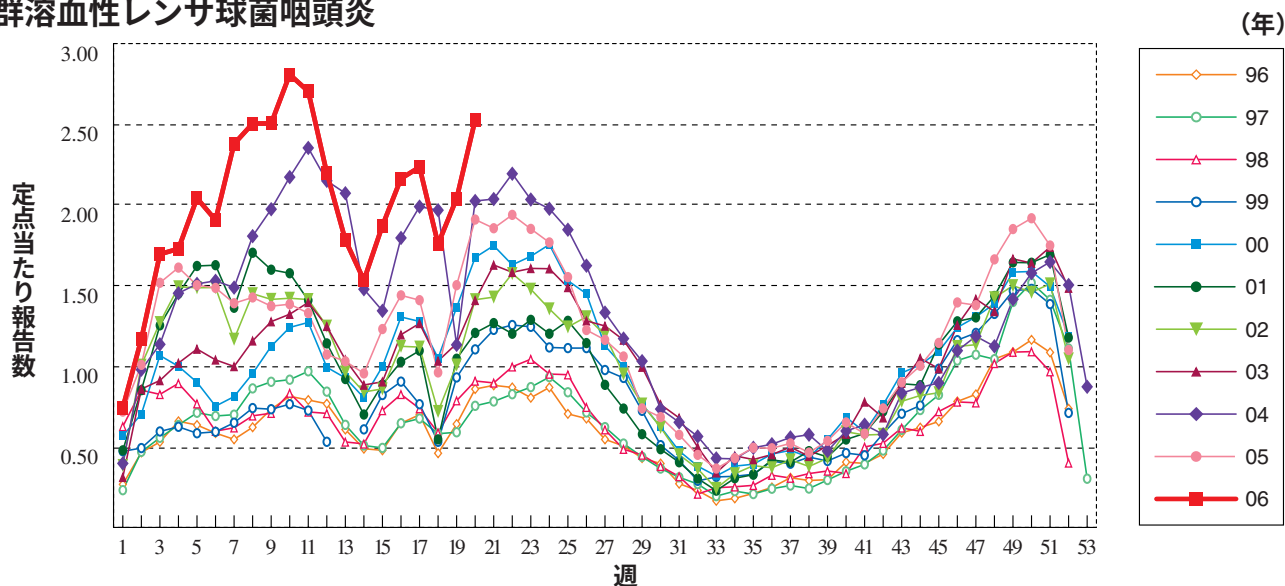
インフルエンザ



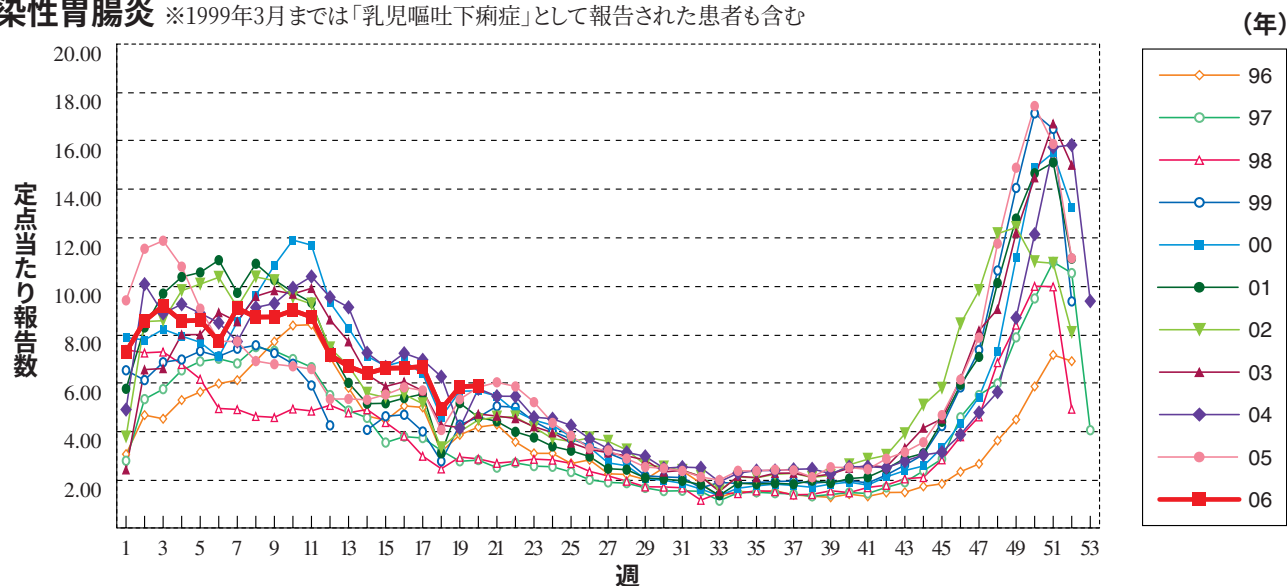
咽頭結膜熱



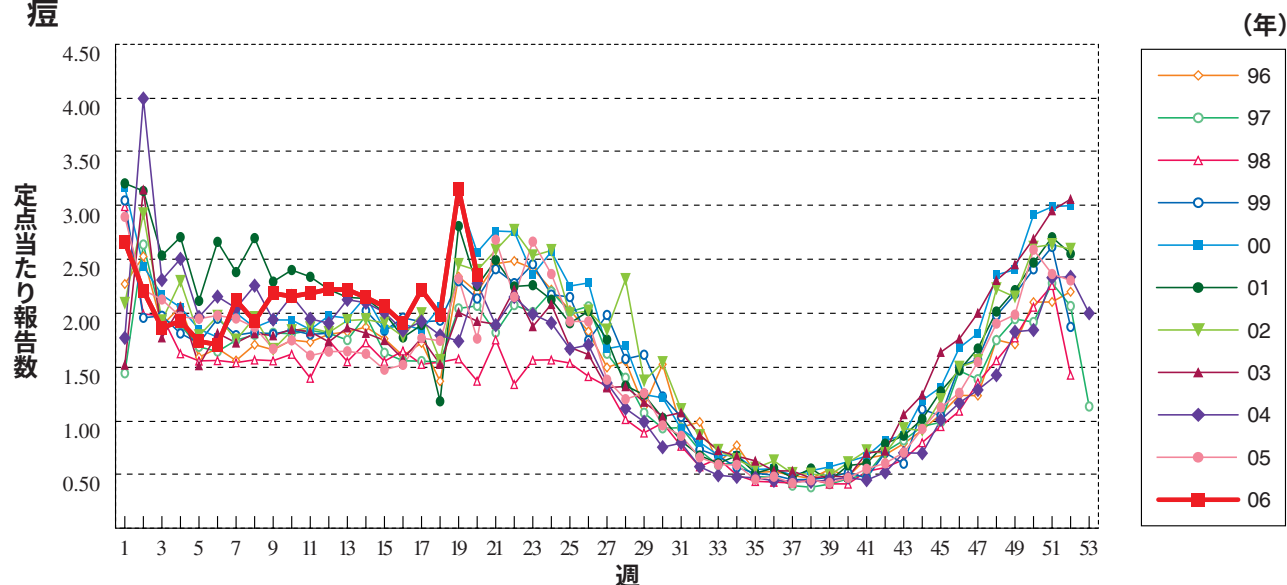
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



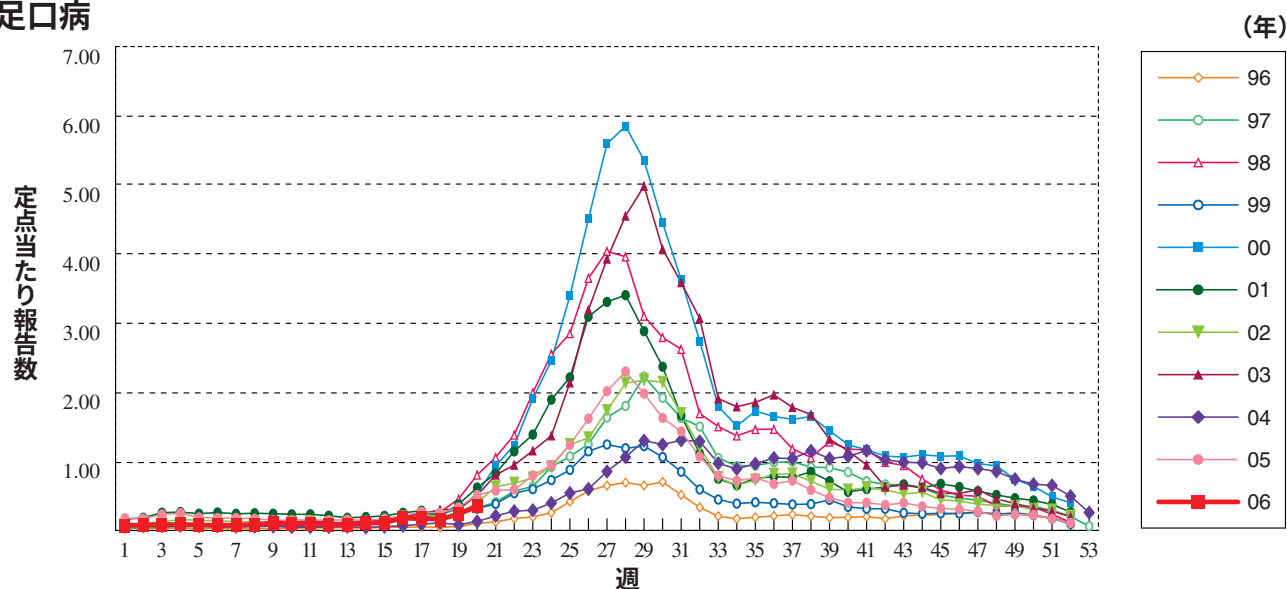
感染性胃腸炎 ※1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



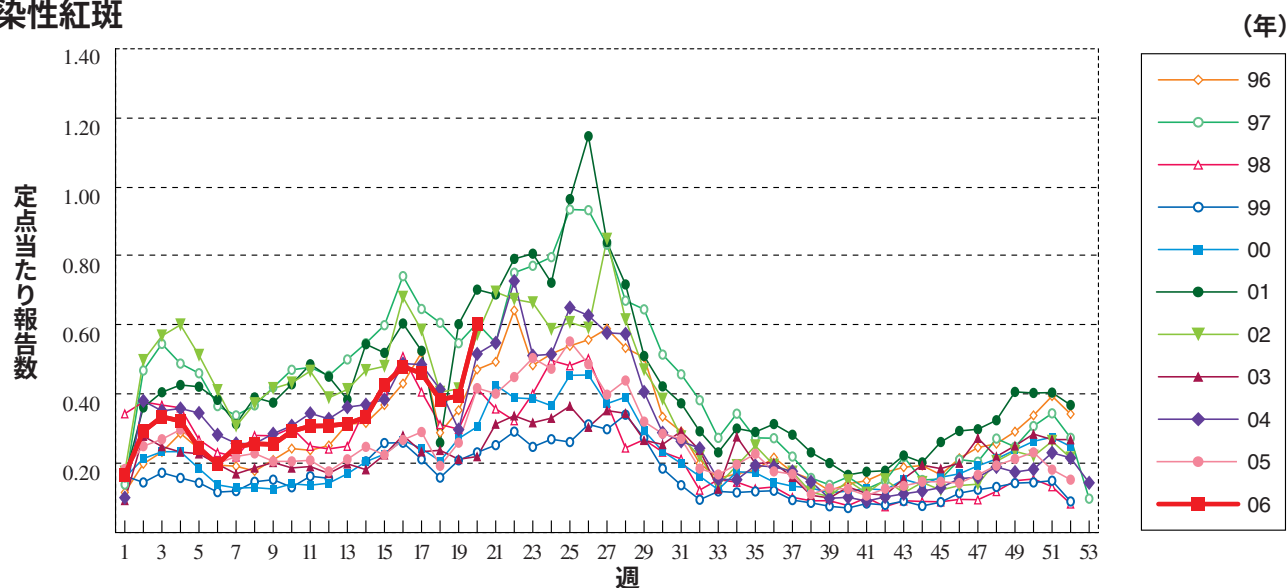
水痘



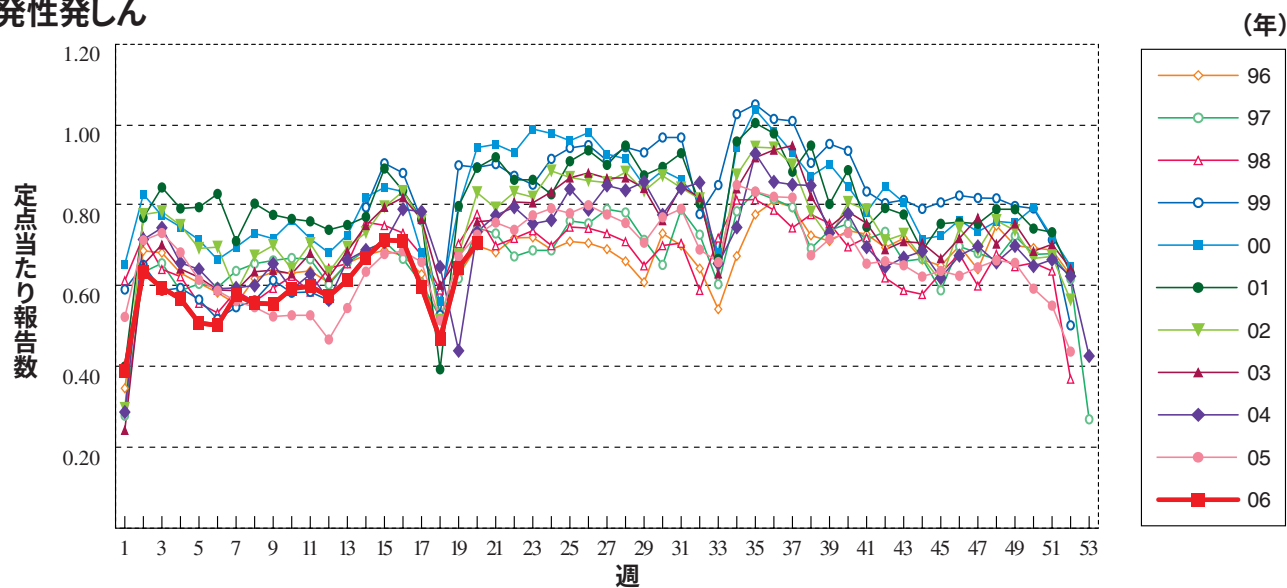
手足口病



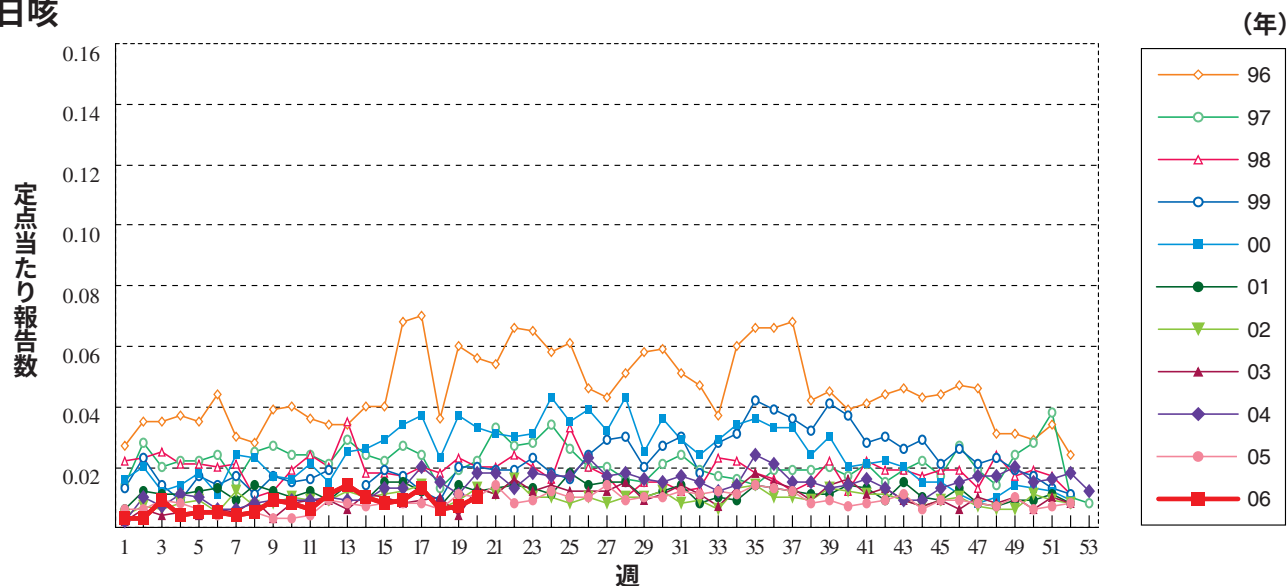
伝染性紅斑



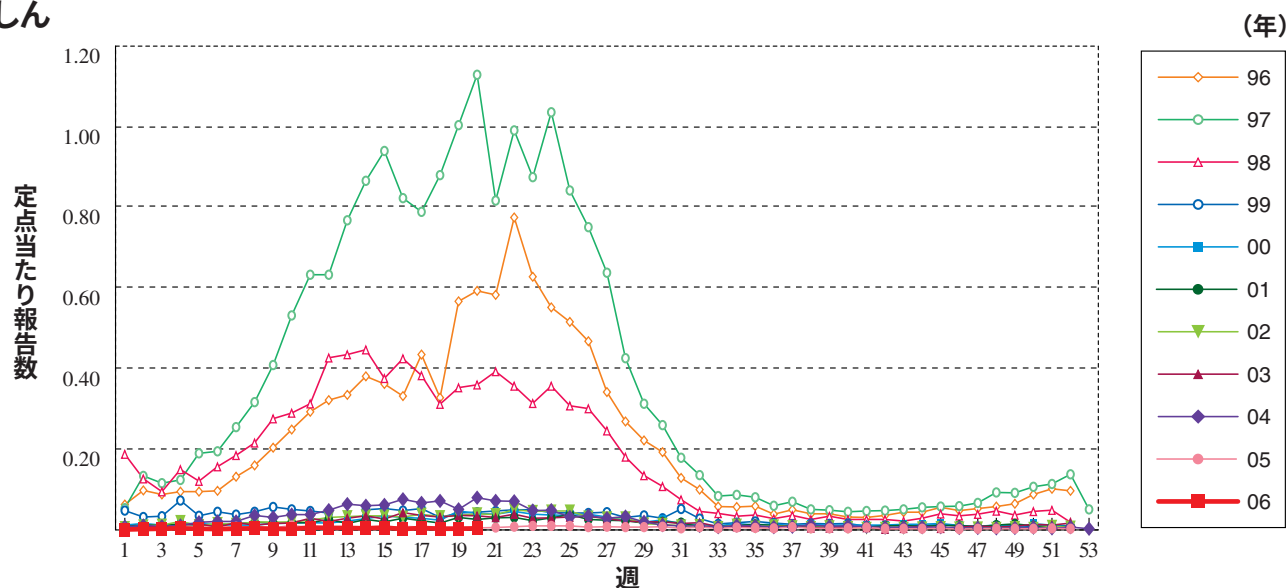
突発性発しん



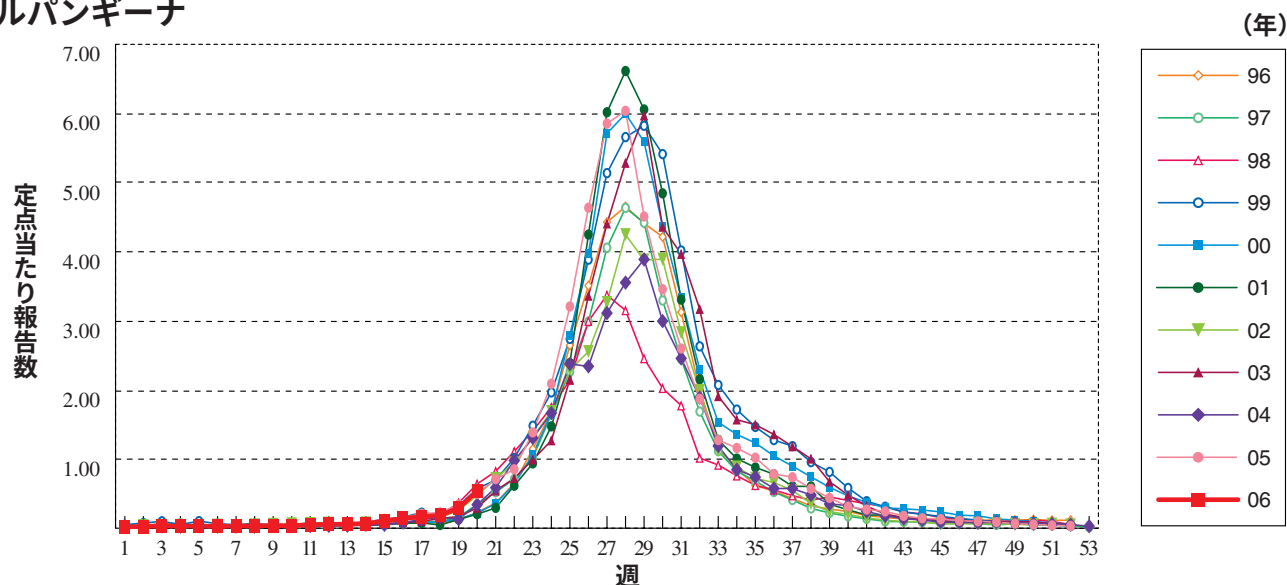
百日咳



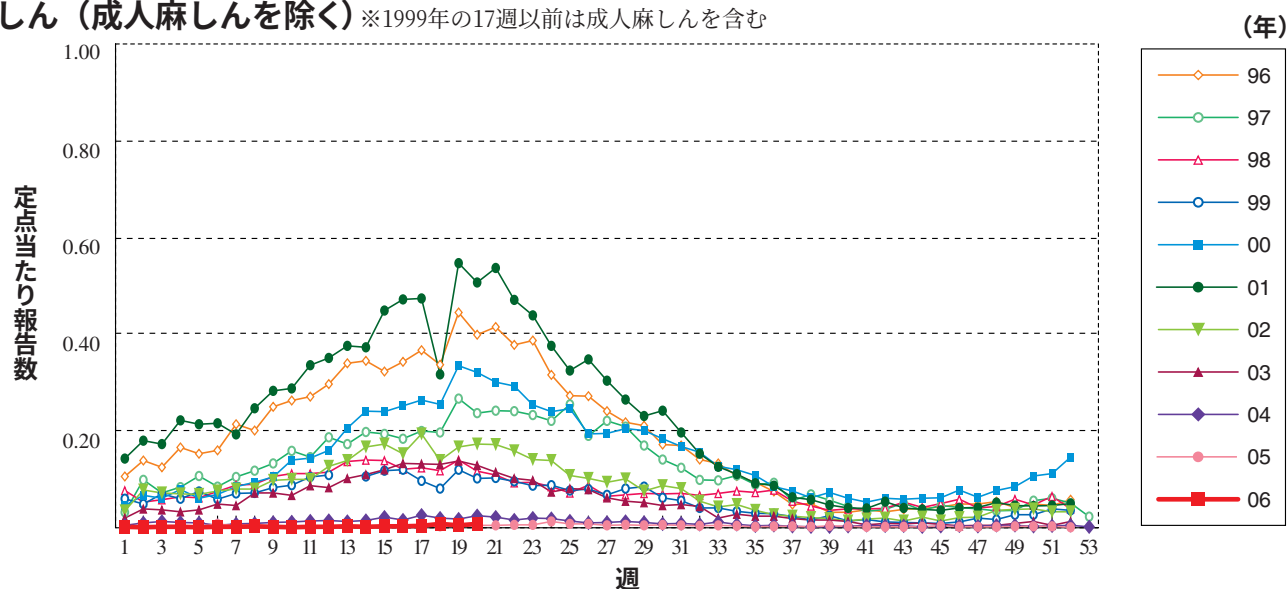
風しん



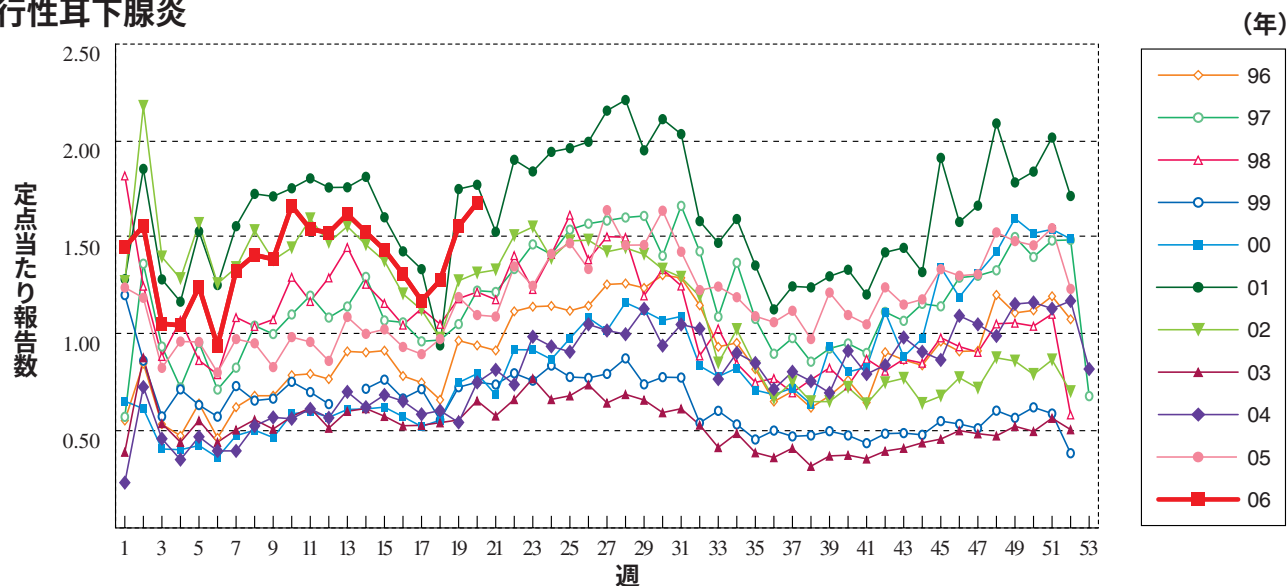
ヘルパンギーナ



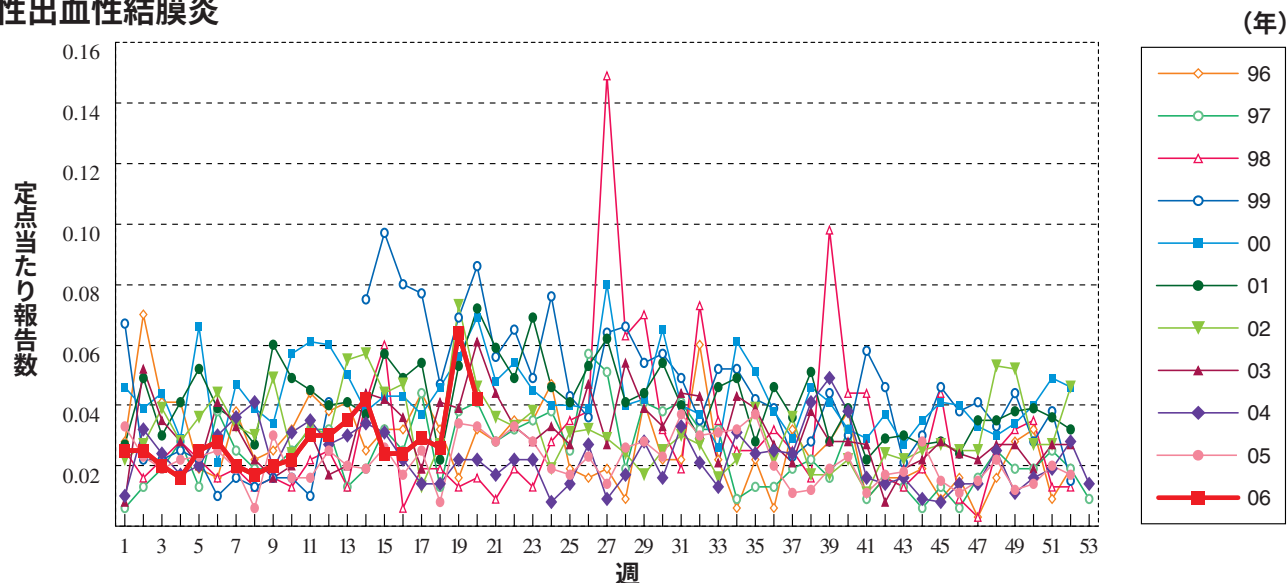
麻しん (成人麻しんを除く) ※1999年の17週以前は成人麻しんを含む



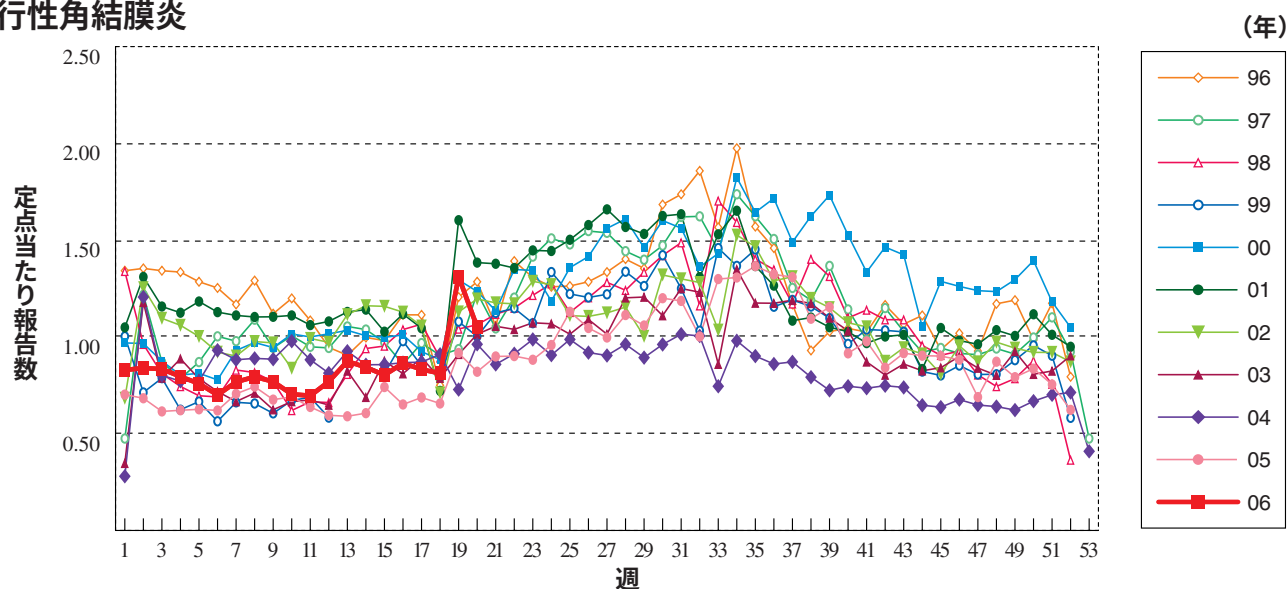
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

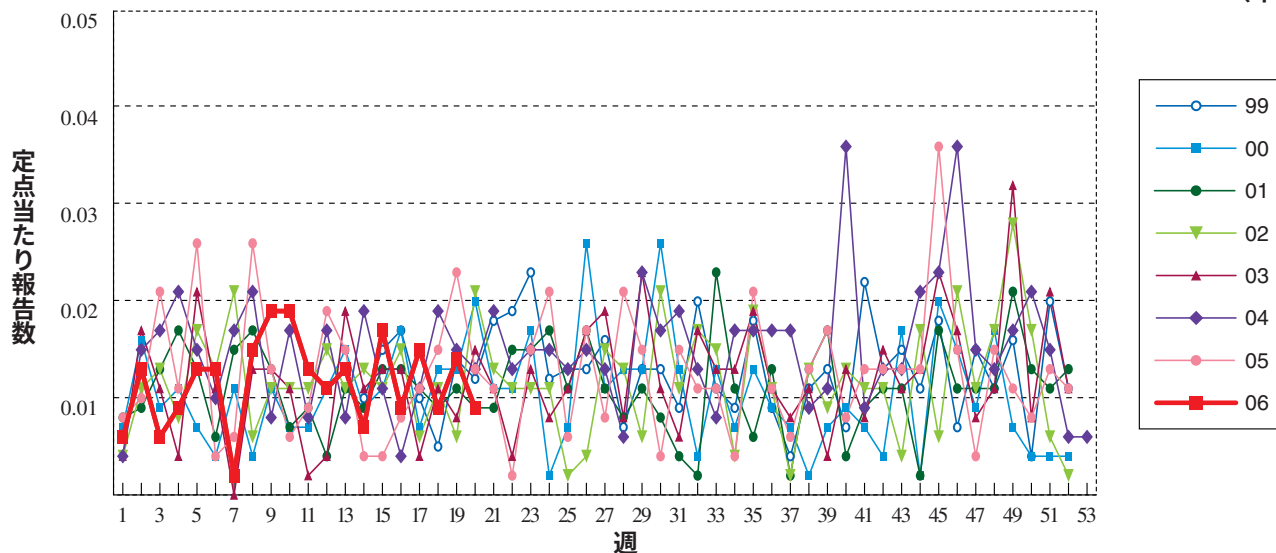


流行性角結膜炎



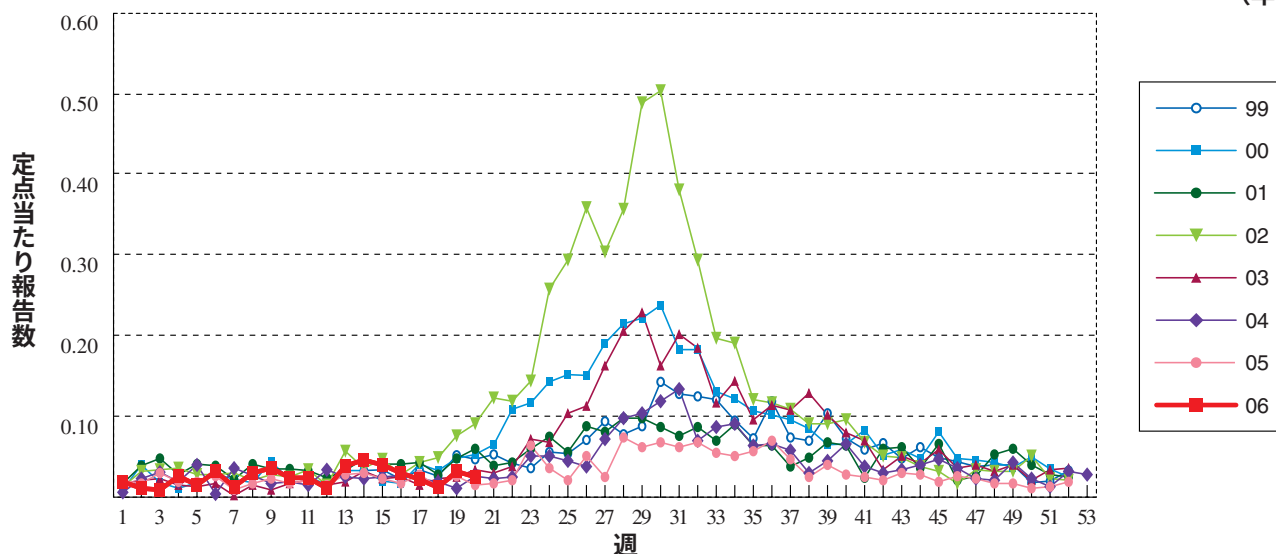
細菌性髄膜炎

(年)



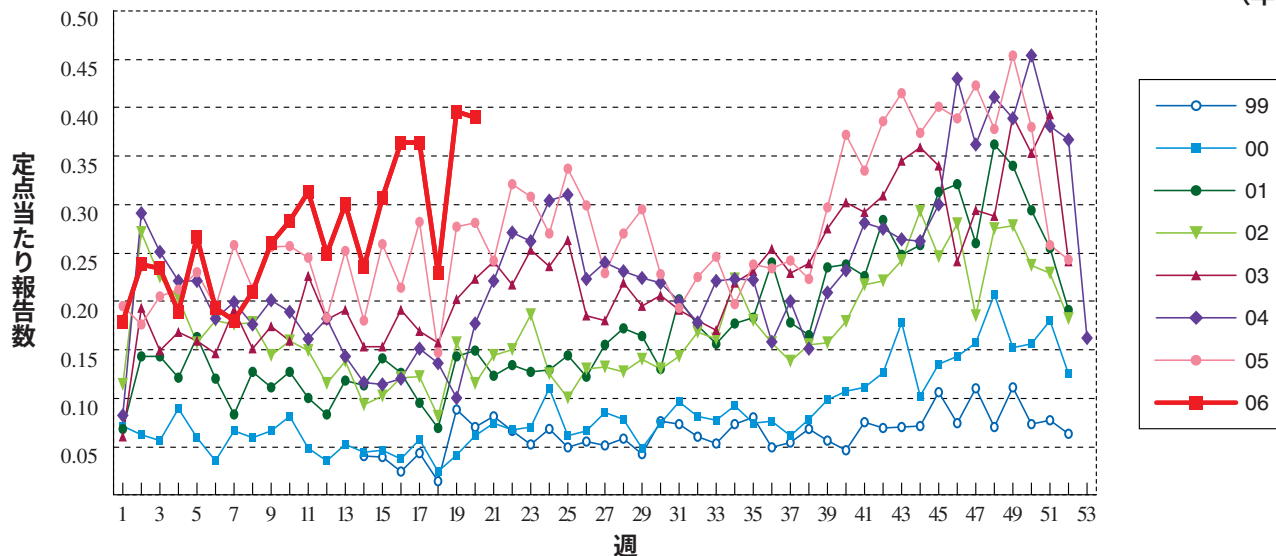
無菌性髄膜炎

(年)



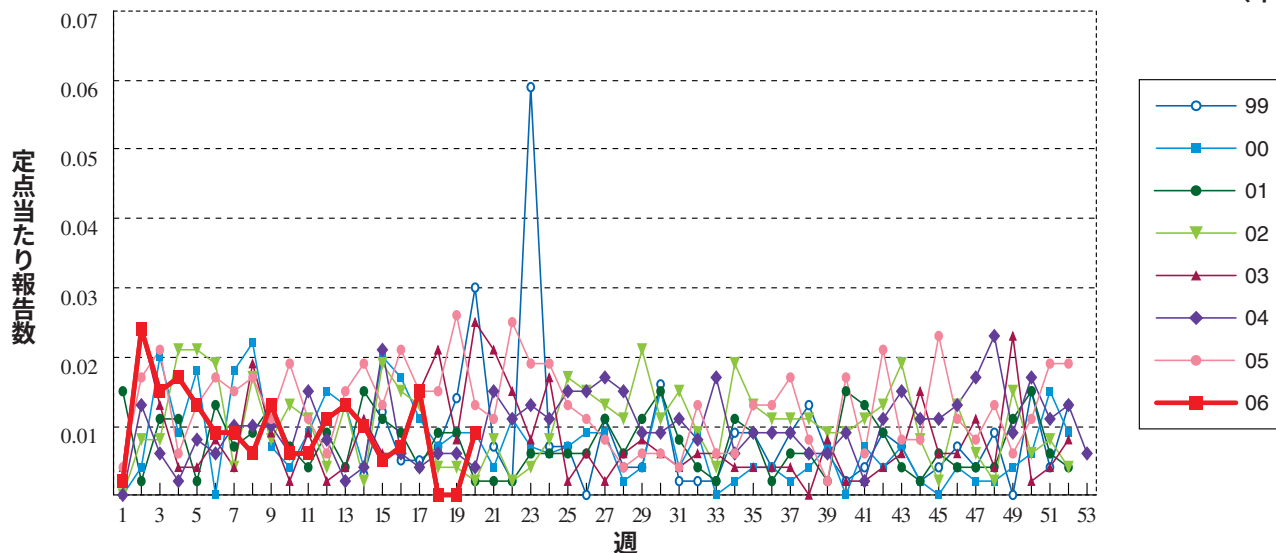
マイコプラズマ肺炎

(年)



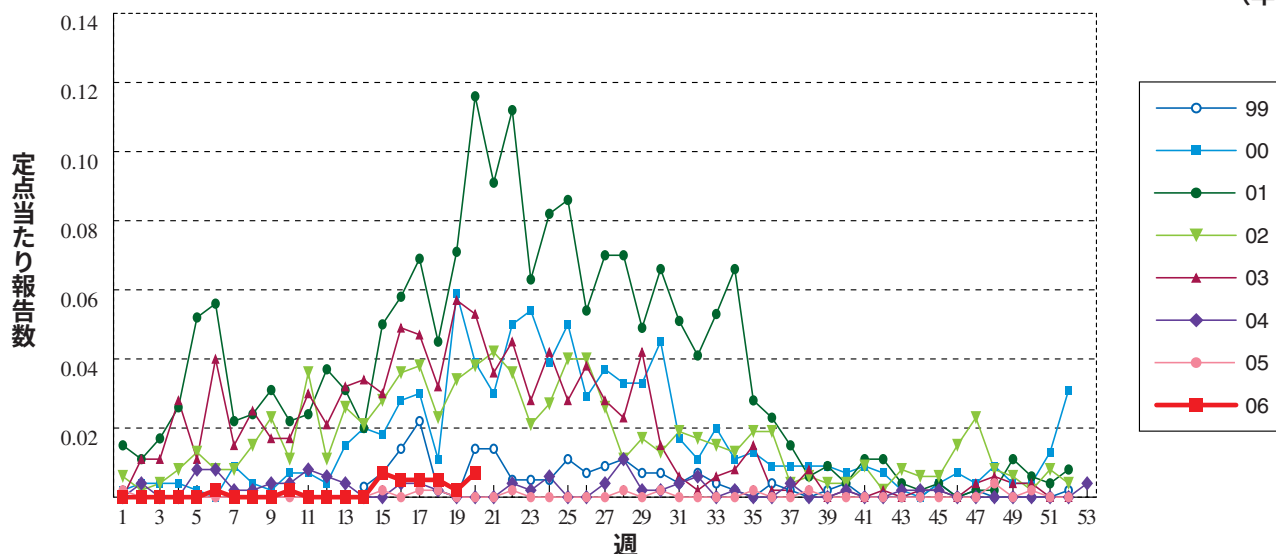
クラミジア肺炎（オウム病を除く）

(年)



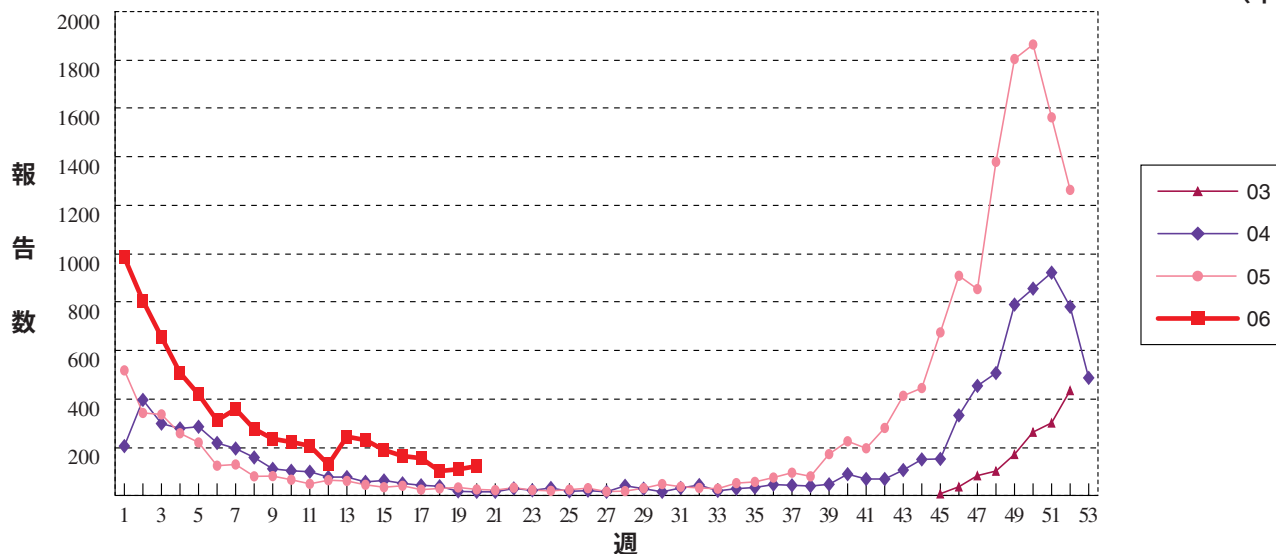
成人麻しん

(年)



RSウイルス感染症 ※定点当たり報告数ではなく、報告数を示しています。

(年)

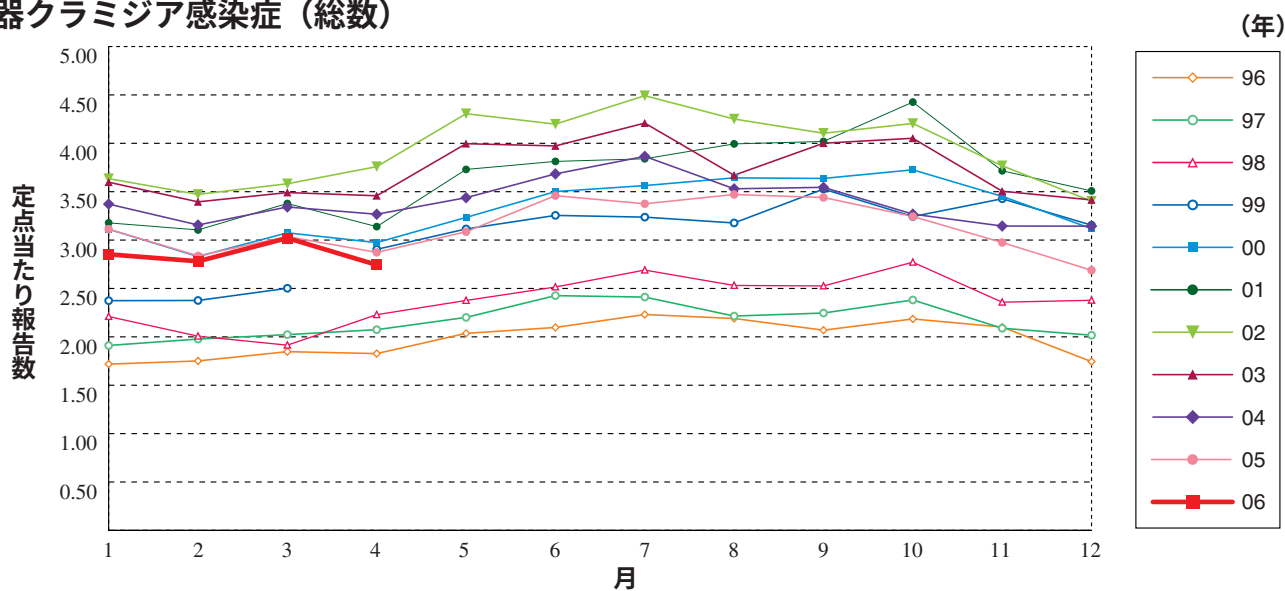




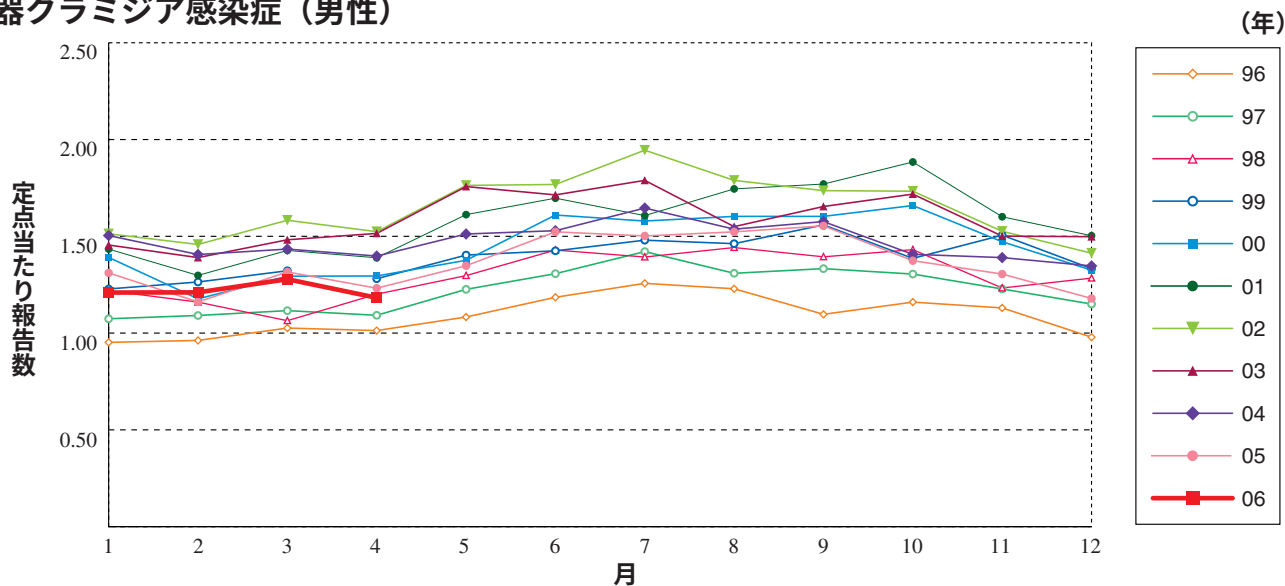
グラフ総覧(4月)

注) 1999年4月以降は定点設定が変更されております。

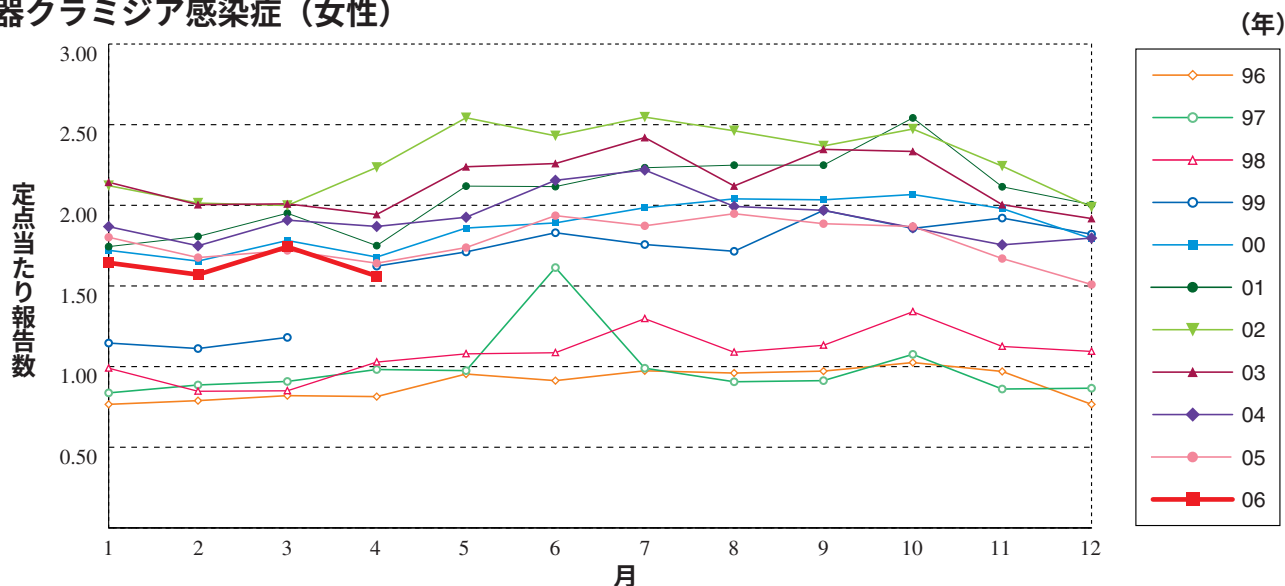
性器クラミジア感染症 (総数)



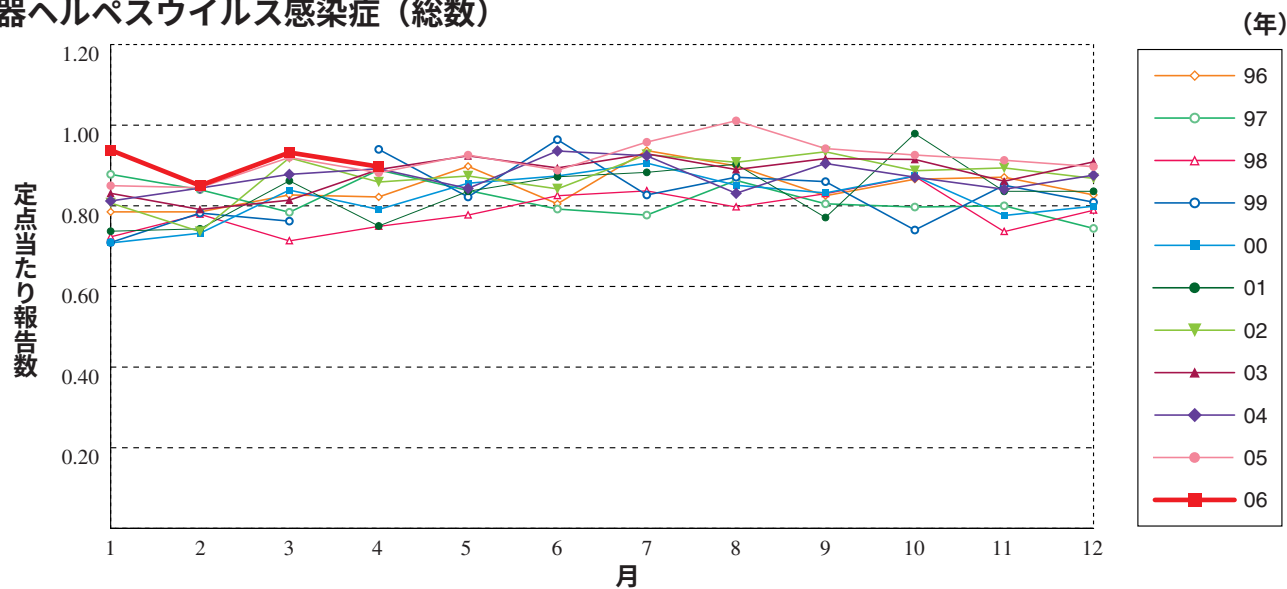
性器クラミジア感染症 (男性)



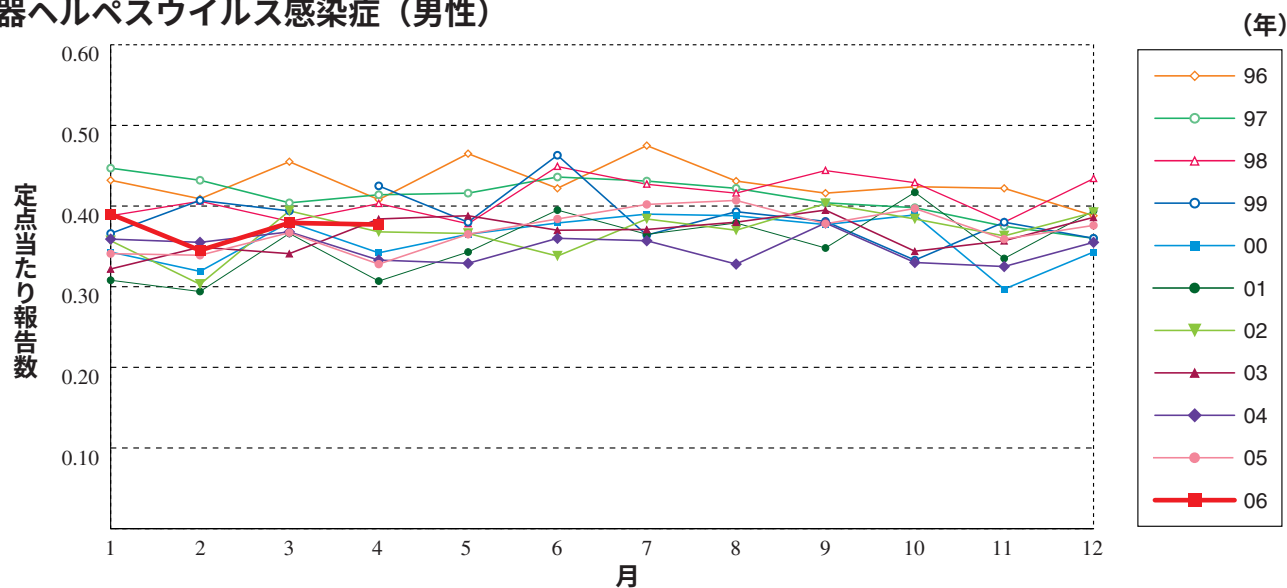
性器クラミジア感染症 (女性)



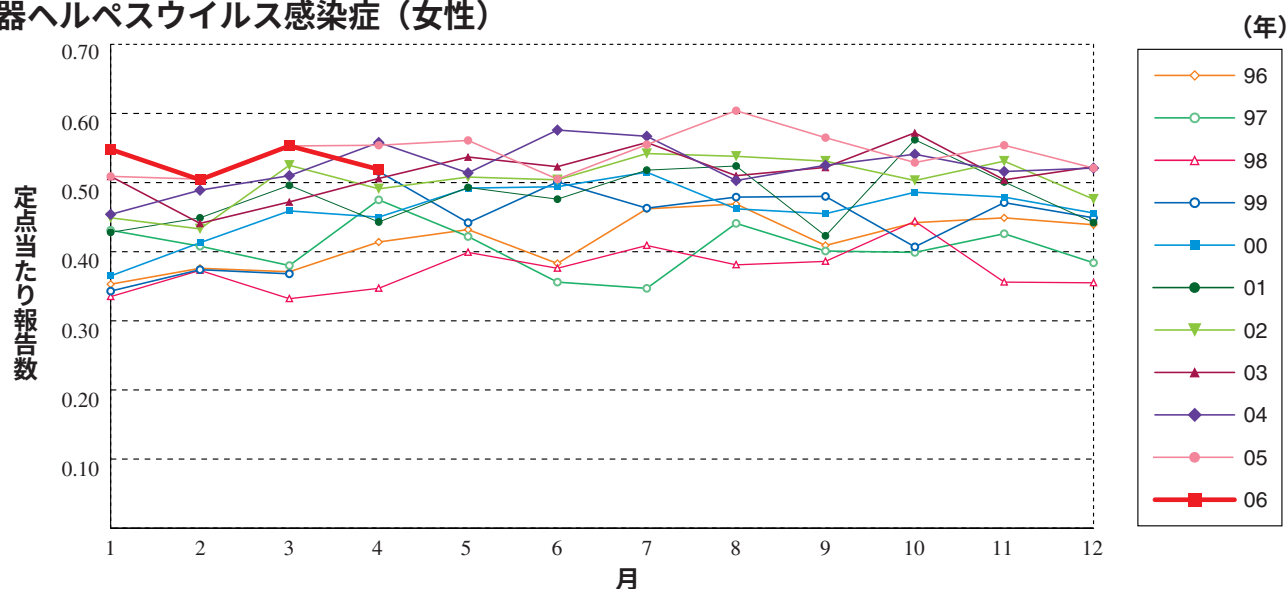
性器ヘルペスウイルス感染症（総数）



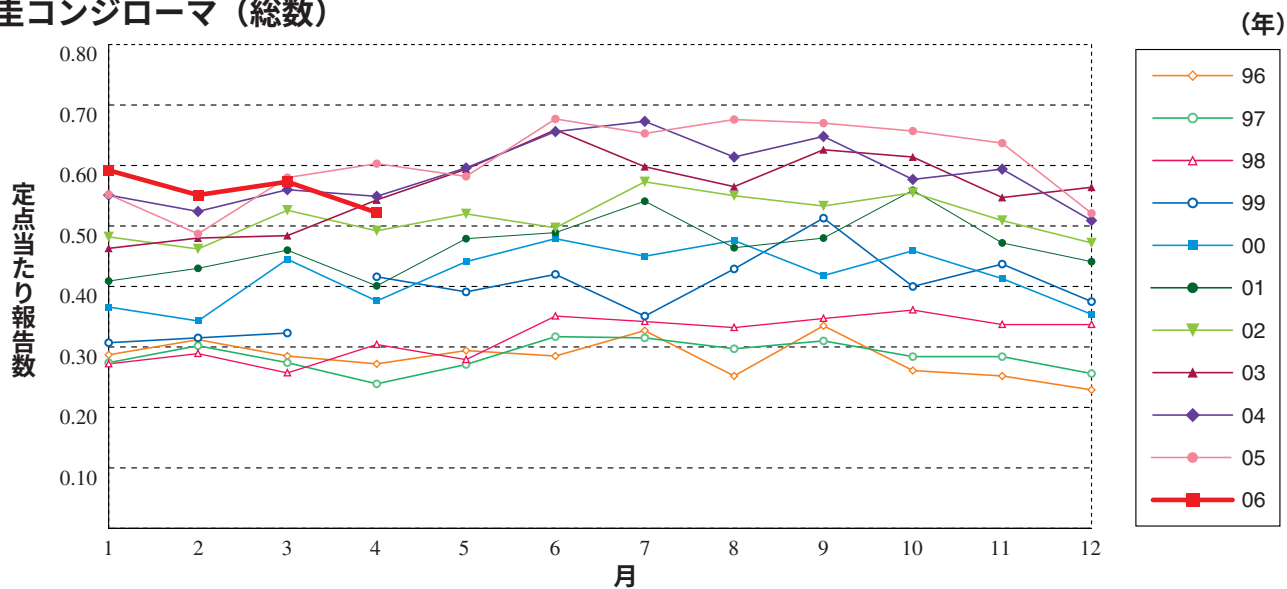
性器ヘルペスウイルス感染症（男性）



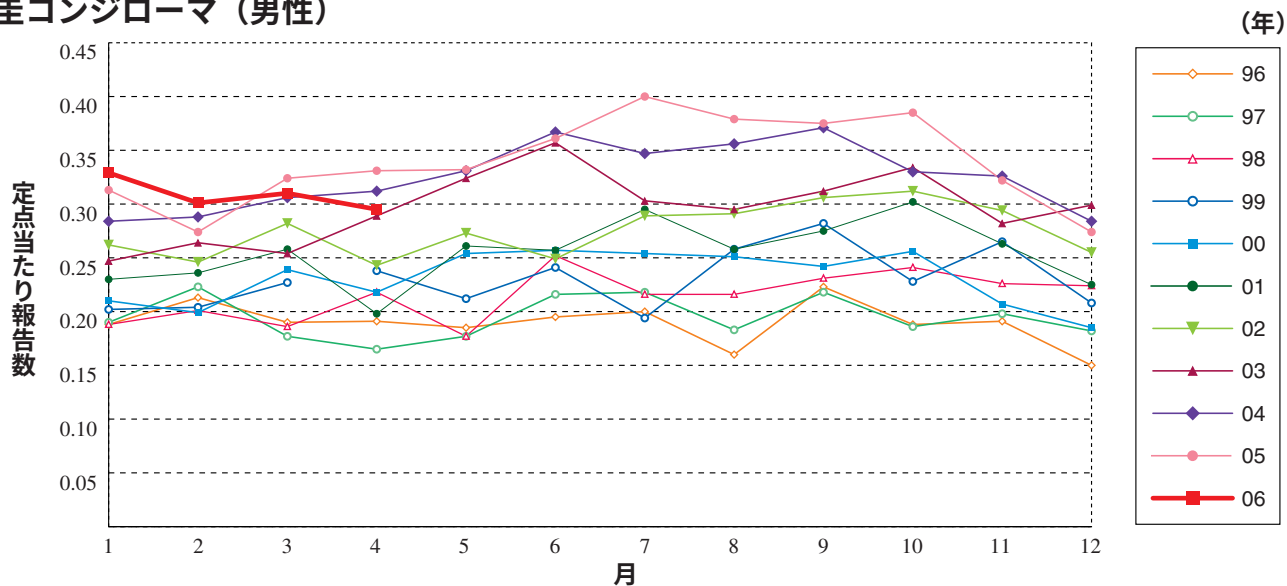
性器ヘルペスウイルス感染症（女性）



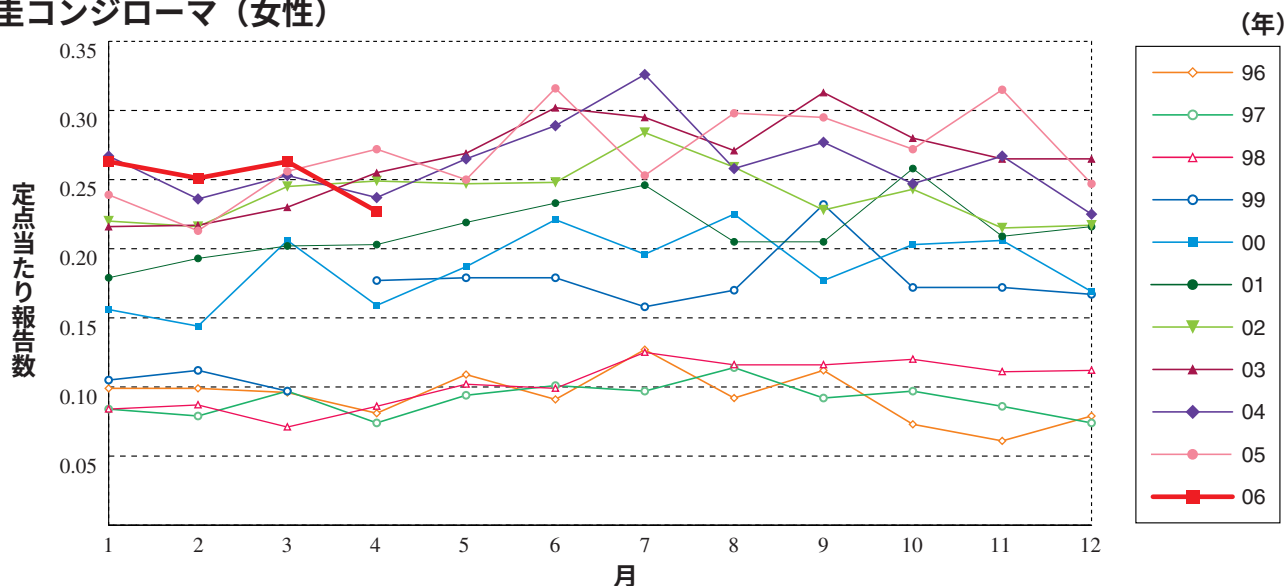
尖圭コンジローマ (総数)



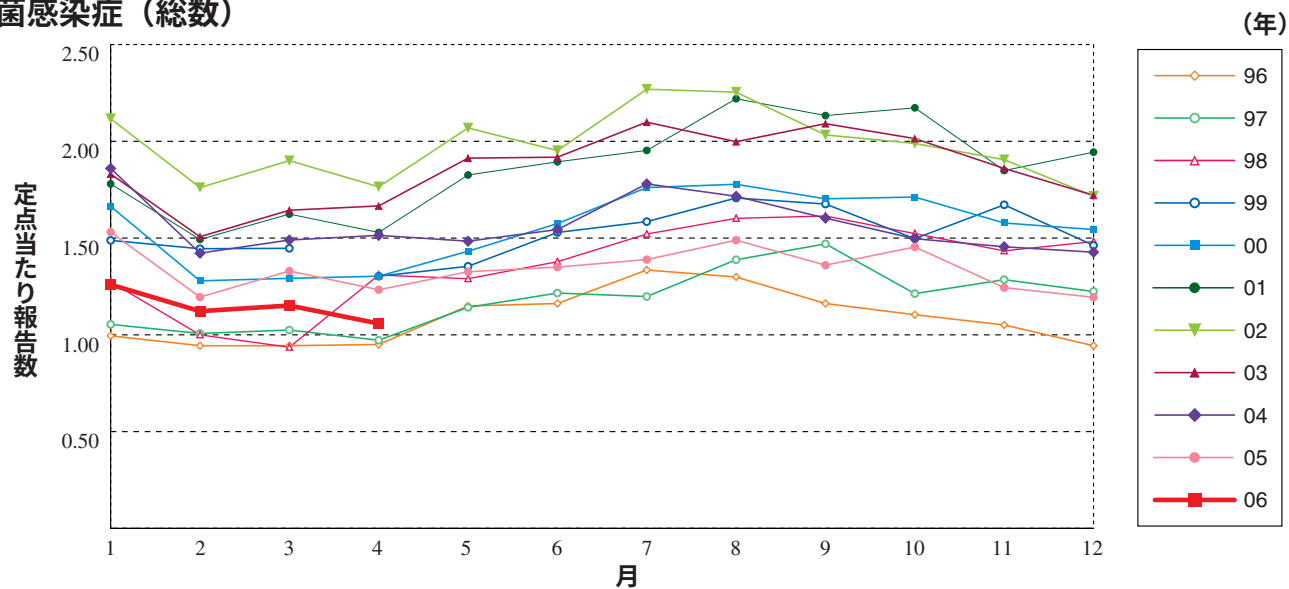
尖圭コンジローマ (男性)



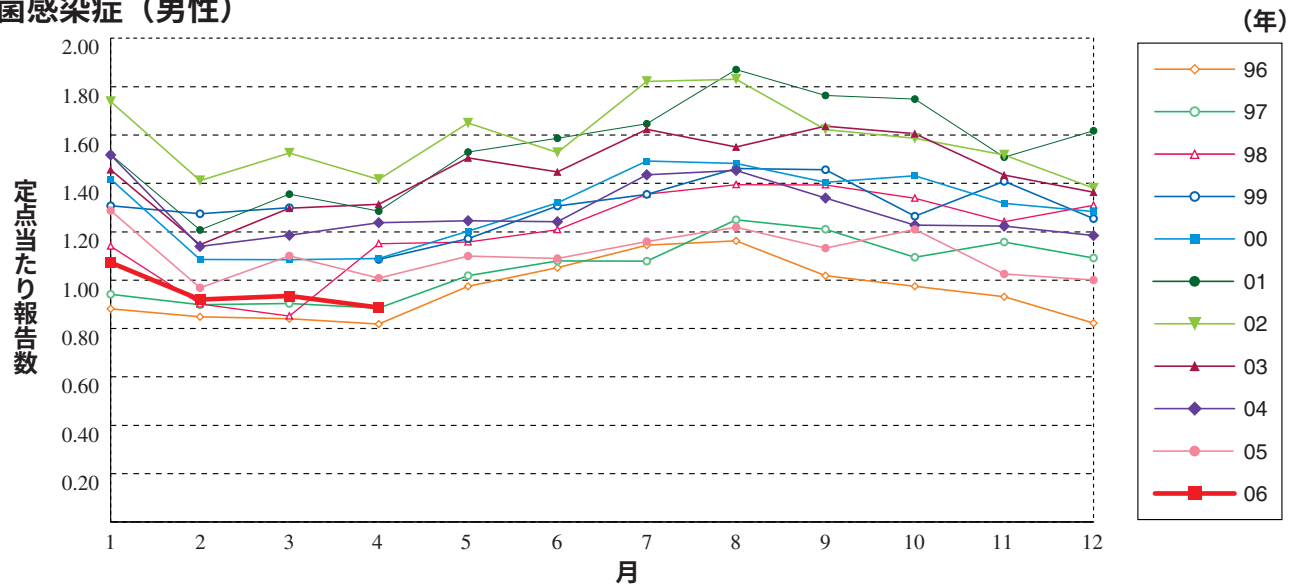
尖圭コンジローマ (女性)



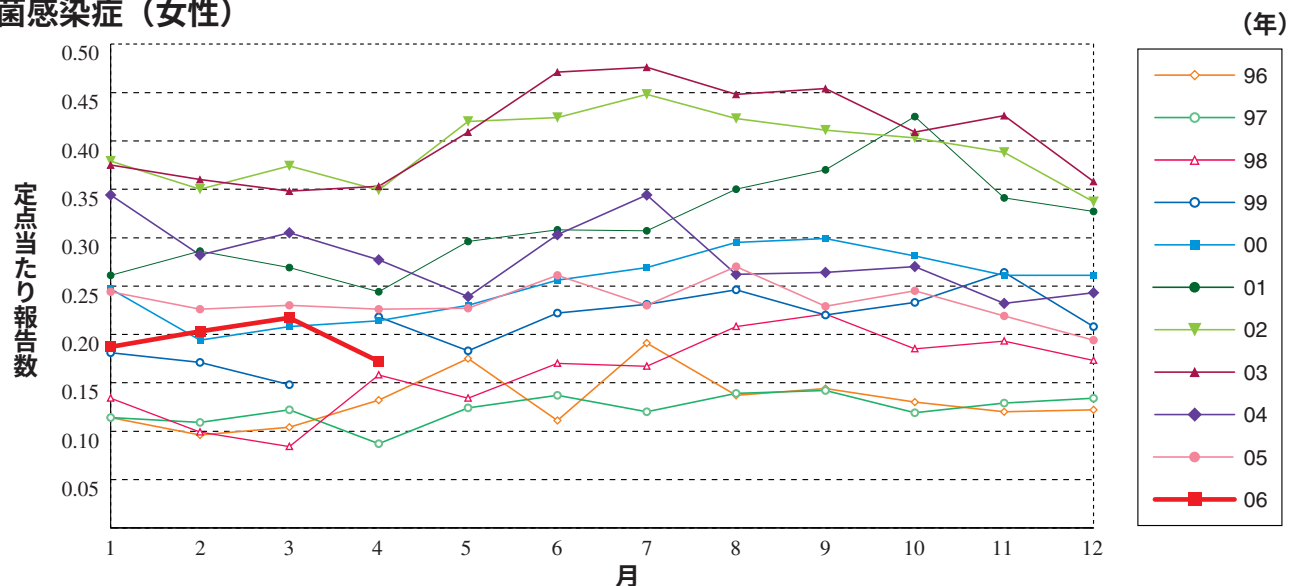
淋菌感染症 (総数)



淋菌感染症 (男性)

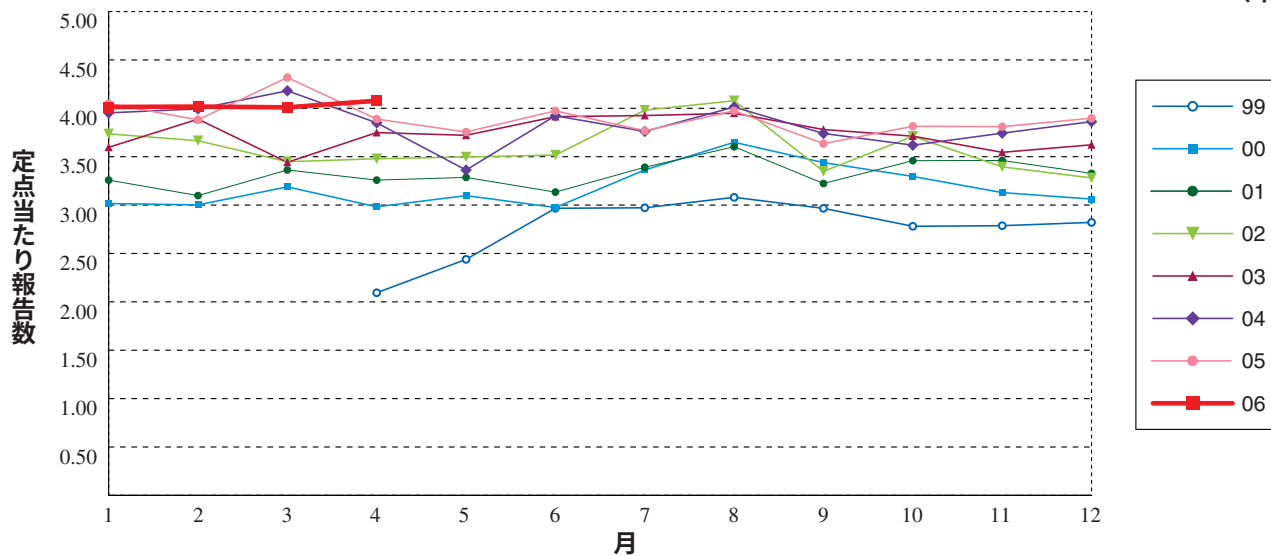


淋菌感染症 (女性)



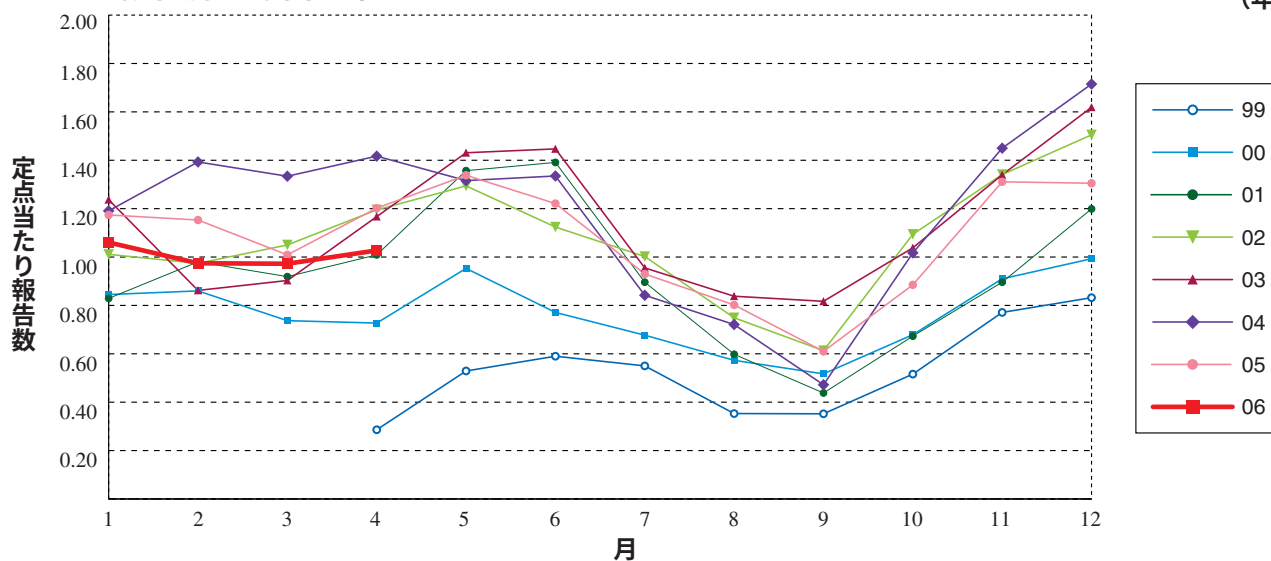
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

(年)



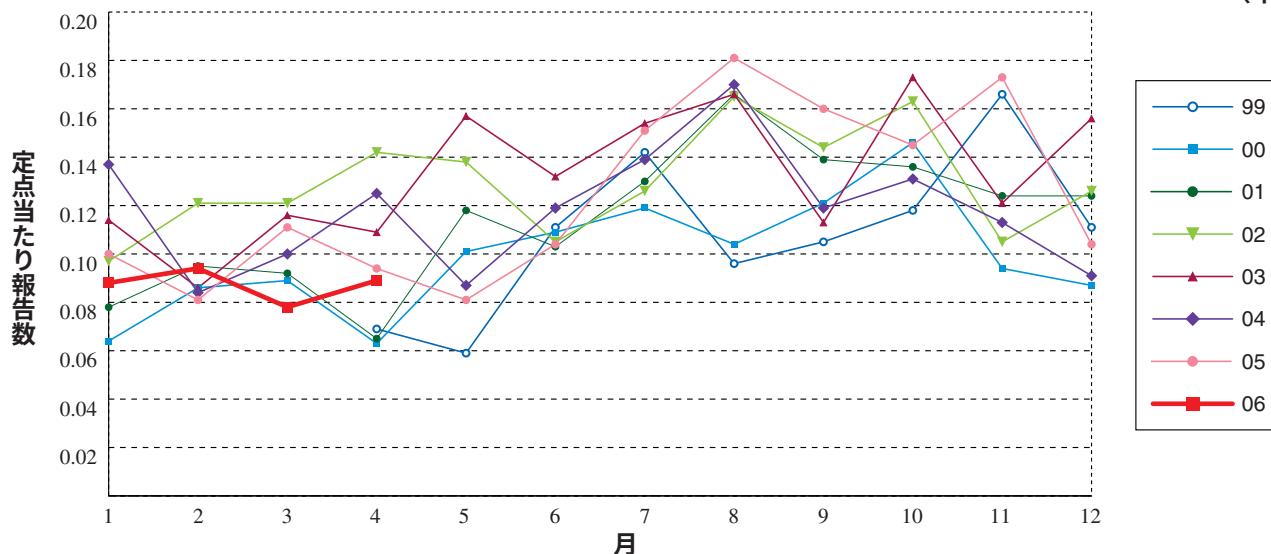
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

(年)



薬剤耐性緑膿菌感染症

(年)





4月のデータ

(注) 5月17日集計分

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別 (総数)

2006年4月

	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色 ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症		薬剤耐性 緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	2603	2.74	851	0.90	495	0.52	1004	1.06	1831	4.08	461	1.03	40	0.09
北海道	197	4.69	45	1.07	17	0.40	34	0.81	52	2.36	7	0.32	-	-
青森県	22	1.69	5	0.38	9	0.69	8	0.62	7	1.17	-	-	-	-
岩手県	27	2.08	17	1.31	8	0.62	28	2.15	89	4.94	4	0.22	4	0.22
宮城県	44	2.32	22	1.16	7	0.37	23	1.21	36	3.00	2	0.17	2	0.17
秋田県	31	2.21	9	0.64	8	0.57	7	0.50	32	4.00	5	0.63	-	-
山形県	18	1.80	2	0.20	1	0.10	5	0.50	31	3.10	8	0.80	-	-
福島県	55	2.39	14	0.61	9	0.39	29	1.26	30	4.29	1	0.14	3	0.43
茨城県	113	5.14	26	1.18	9	0.41	16	0.73	25	4.17	-	-	-	-
栃木県	34	2.13	18	1.13	18	1.13	25	1.56	58	8.29	2	0.29	-	-
群馬県	98	3.77	14	0.54	14	0.54	28	1.08	36	4.50	14	1.75	-	-
埼玉県	154	2.85	45	0.83	21	0.39	35	0.65	25	2.78	10	1.11	1	0.11
千葉県	69	2.03	27	0.79	12	0.35	20	0.59	50	5.56	69	7.67	3	0.33
東京都	175	4.27	70	1.71	55	1.34	73	1.78	119	4.76	45	1.80	2	0.08
神奈川県	129	2.30	33	0.59	20	0.36	46	0.82	25	3.13	15	1.88	1	0.13
新潟県	18	1.13	12	0.75	4	0.25	24	1.50	76	5.85	14	1.08	1	0.08
富山県	16	1.60	7	0.70	2	0.20	4	0.40	30	6.00	53	10.60	-	-
石川県	20	2.00	11	1.10	2	0.20	14	1.40	17	3.40	4	0.80	-	-
福井県	13	2.60	1	0.20	-	-	4	0.80	25	4.17	12	2.00	-	-
山梨県	24	2.40	5	0.50	-	-	5	0.50	18	1.80	6	0.60	3	0.30
長野県	38	2.38	9	0.56	4	0.25	14	0.88	39	3.55	4	0.36	-	-
岐阜県	17	1.13	9	0.60	7	0.47	21	1.40	10	2.00	-	-	-	-
静岡県	68	2.27	16	0.53	11	0.37	22	0.73	58	5.80	9	0.90	3	0.30
愛知県	134	2.23	33	0.55	35	0.58	82	1.37	66	5.08	3	0.23	-	-
三重県	28	1.87	5	0.33	1	0.07	6	0.40	33	4.13	1	0.13	-	-
滋賀県	7	0.78	1	0.11	8	0.89	6	0.67	45	6.43	-	-	-	-
京都府	33	1.38	12	0.50	2	0.08	4	0.17	17	2.83	-	-	-	-
大阪府	239	3.85	144	2.32	69	1.11	134	2.16	33	2.54	8	0.62	2	0.15
兵庫県	94	2.09	34	0.76	30	0.67	31	0.69	40	3.64	12	1.09	-	-
奈良県	32	3.56	2	0.22	3	0.33	12	1.33	36	6.00	6	1.00	2	0.33
和歌山県	7	0.88	8	1.00	2	0.25	3	0.38	40	3.64	5	0.45	-	-
鳥取県	17	3.40	2	0.40	1	0.20	-	-	17	3.40	2	0.40	-	-
島根県	11	1.83	1	0.17	1	0.17	5	0.83	24	3.00	10	1.25	-	-
岡山県	64	2.78	13	0.57	15	0.65	18	0.78	12	2.40	5	1.00	2	0.40
広島県	53	2.30	15	0.65	17	0.74	11	0.48	111	5.29	32	1.52	4	0.19
山口県	33	3.30	14	1.40	3	0.30	10	1.00	73	8.11	16	1.78	2	0.22
徳島県	13	2.17	5	0.83	8	1.33	6	1.00	16	2.67	-	-	1	0.17
香川県	16	1.07	9	0.60	10	0.67	8	0.53	29	5.80	2	0.40	1	0.20
愛媛県	10	0.91	6	0.55	3	0.27	6	0.55	21	3.50	4	0.67	-	-
高知県	3	0.50	-	-	-	-	-	-	41	5.86	11	1.57	1	0.14
福岡県	222	5.84	59	1.55	20	0.53	95	2.50	48	3.20	13	0.87	-	-
佐賀県	18	2.57	5	0.71	1	0.14	7	1.00	31	5.17	-	-	-	-
長崎県	19	1.90	10	1.00	2	0.20	6	0.60	12	1.33	3	0.33	-	-
熊本県	48	3.69	11	0.85	11	0.85	25	1.92	69	4.60	4	0.27	2	0.13
大分県	9	0.90	12	1.20	2	0.20	3	0.30	54	4.91	21	1.91	-	-
宮崎県	34	3.09	14	1.27	1	0.09	13	1.18	25	3.57	5	0.71	-	-
鹿児島県	39	2.44	13	0.81	7	0.44	22	1.38	25	2.08	1	0.08	-	-
沖縄県	40	3.33	6	0.50	5	0.42	6	0.50	25	3.57	13	1.86	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(男)

2006年4月

	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色 ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症		薬剤耐性 緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	1122	1.18	358	0.38	280	0.30	841	0.89	1141	2.54	278	0.62	27	0.06
北海道	44	1.05	7	0.17	9	0.21	23	0.55	27	1.23	3	0.14	-	-
青森県	10	0.77	4	0.31	4	0.31	6	0.46	3	0.50	-	-	-	-
岩手県	9	0.69	13	1.00	4	0.31	21	1.62	50	2.78	4	0.22	2	0.11
宮城県	18	0.95	4	0.21	4	0.21	21	1.11	24	2.00	-	-	2	0.17
秋田県	14	1.00	5	0.36	2	0.14	6	0.43	22	2.75	4	0.50	-	-
山形県	9	0.90	-	-	1	0.10	4	0.40	19	1.90	4	0.40	-	-
福島県	22	0.96	3	0.13	1	0.04	26	1.13	19	2.71	1	0.14	2	0.29
茨城県	44	2.00	8	0.36	5	0.23	11	0.50	17	2.83	-	-	-	-
栃木県	21	1.31	16	1.00	14	0.88	24	1.50	38	5.43	2	0.29	-	-
群馬県	44	1.69	4	0.15	6	0.23	24	0.92	22	2.75	7	0.88	-	-
埼玉県	41	0.76	13	0.24	8	0.15	32	0.59	14	1.56	7	0.78	1	0.11
千葉県	14	0.41	10	0.29	7	0.21	19	0.56	35	3.89	45	5.00	2	0.22
東京都	98	2.39	44	1.07	45	1.10	62	1.51	87	3.48	28	1.12	2	0.08
神奈川県	76	1.36	10	0.18	8	0.14	43	0.77	16	2.00	8	1.00	-	-
新潟県	11	0.69	7	0.44	1	0.06	22	1.38	43	3.31	6	0.46	-	-
富山県	9	0.90	4	0.40	-	-	2	0.20	17	3.40	30	6.00	-	-
石川県	12	1.20	8	0.80	2	0.20	14	1.40	10	2.00	3	0.60	-	-
福井県	10	2.00	1	0.20	-	-	4	0.80	15	2.50	5	0.83	-	-
山梨県	5	0.50	1	0.10	-	-	2	0.20	15	1.50	3	0.30	3	0.30
長野県	18	1.13	6	0.38	3	0.19	13	0.81	23	2.09	2	0.18	-	-
岐阜県	7	0.47	4	0.27	5	0.33	18	1.20	7	1.40	-	-	-	-
静岡県	32	1.07	2	0.07	6	0.20	18	0.60	39	3.90	7	0.70	1	0.10
愛知県	93	1.55	24	0.40	27	0.45	79	1.32	47	3.62	2	0.15	-	-
三重県	14	0.93	4	0.27	1	0.07	4	0.27	18	2.25	1	0.13	-	-
滋賀県	5	0.56	-	-	3	0.33	5	0.56	27	3.86	-	-	-	-
京都府	5	0.21	2	0.08	-	-	4	0.17	12	2.00	-	-	-	-
大阪府	98	1.58	68	1.10	37	0.60	95	1.53	25	1.92	4	0.31	2	0.15
兵庫県	38	0.84	23	0.51	23	0.51	31	0.69	31	2.82	10	0.91	-	-
奈良県	15	1.67	1	0.11	2	0.22	12	1.33	19	3.17	3	0.50	2	0.33
和歌山県	1	0.13	-	-	2	0.25	3	0.38	29	2.64	3	0.27	-	-
鳥取県	7	1.40	1	0.20	-	-	-	-	10	2.00	1	0.20	-	-
島根県	6	1.00	-	-	1	0.17	5	0.83	16	2.00	5	0.63	-	-
岡山県	20	0.87	4	0.17	10	0.43	12	0.52	8	1.60	3	0.60	1	0.20
広島県	14	0.61	4	0.17	3	0.13	8	0.35	64	3.05	16	0.76	4	0.19
山口県	14	1.40	2	0.20	1	0.10	7	0.70	45	5.00	11	1.22	2	0.22
徳島県	11	1.83	4	0.67	8	1.33	6	1.00	11	1.83	-	-	-	-
香川県	6	0.40	4	0.27	7	0.47	7	0.47	10	2.00	-	-	-	-
愛媛県	5	0.45	1	0.09	1	0.09	4	0.36	17	2.83	3	0.50	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	15	2.14	4	0.57	-	-
福岡県	123	3.24	24	0.63	9	0.24	80	2.11	27	1.80	9	0.60	-	-
佐賀県	15	2.14	-	-	-	-	7	1.00	22	3.67	-	-	-	-
長崎県	9	0.90	1	0.10	1	0.10	6	0.60	8	0.89	2	0.22	-	-
熊本県	9	0.69	1	0.08	2	0.15	17	1.31	39	2.60	3	0.20	1	0.07
大分県	3	0.30	3	0.30	2	0.20	3	0.30	32	2.91	13	1.18	-	-
宮崎県	16	1.45	4	0.36	-	-	11	1.00	16	2.29	4	0.57	-	-
鹿児島県	19	1.19	8	0.50	5	0.31	16	1.00	15	1.25	1	0.08	-	-
沖縄県	8	0.67	1	0.08	-	-	4	0.33	16	2.29	11	1.57	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(女)

2006年4月

	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色 ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症		薬剤耐性 緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	1481	1.56	493	0.52	215	0.23	163	0.17	690	1.54	183	0.41	13	0.03
北海道	153	3.64	38	0.90	8	0.19	11	0.26	25	1.14	4	0.18	-	-
青森県	12	0.92	1	0.08	5	0.38	2	0.15	4	0.67	-	-	-	-
岩手県	18	1.38	4	0.31	4	0.31	7	0.54	39	2.17	-	-	2	0.11
宮城県	26	1.37	18	0.95	3	0.16	2	0.11	12	1.00	2	0.17	-	-
秋田県	17	1.21	4	0.29	6	0.43	1	0.07	10	1.25	1	0.13	-	-
山形県	9	0.90	2	0.20	-	-	1	0.10	12	1.20	4	0.40	-	-
福島県	33	1.43	11	0.48	8	0.35	3	0.13	11	1.57	-	-	1	0.14
茨城県	69	3.14	18	0.82	4	0.18	5	0.23	8	1.33	-	-	-	-
栃木県	13	0.81	2	0.13	4	0.25	1	0.06	20	2.86	-	-	-	-
群馬県	54	2.08	10	0.38	8	0.31	4	0.15	14	1.75	7	0.88	-	-
埼玉県	113	2.09	32	0.59	13	0.24	3	0.06	11	1.22	3	0.33	-	-
千葉県	55	1.62	17	0.50	5	0.15	1	0.03	15	1.67	24	2.67	1	0.11
東京都	77	1.88	26	0.63	10	0.24	11	0.27	32	1.28	17	0.68	-	-
神奈川県	53	0.95	23	0.41	12	0.21	3	0.05	9	1.13	7	0.88	1	0.13
新潟県	7	0.44	5	0.31	3	0.19	2	0.13	33	2.54	8	0.62	1	0.08
富山県	7	0.70	3	0.30	2	0.20	2	0.20	13	2.60	23	4.60	-	-
石川県	8	0.80	3	0.30	-	-	-	-	7	1.40	1	0.20	-	-
福井県	3	0.60	-	-	-	-	-	-	10	1.67	7	1.17	-	-
山梨県	19	1.90	4	0.40	-	-	3	0.30	3	0.30	3	0.30	-	-
長野県	20	1.25	3	0.19	1	0.06	1	0.06	16	1.45	2	0.18	-	-
岐阜県	10	0.67	5	0.33	2	0.13	3	0.20	3	0.60	-	-	-	-
静岡県	36	1.20	14	0.47	5	0.17	4	0.13	19	1.90	2	0.20	2	0.20
愛知県	41	0.68	9	0.15	8	0.13	3	0.05	19	1.46	1	0.08	-	-
三重県	14	0.93	1	0.07	-	-	2	0.13	15	1.88	-	-	-	-
滋賀県	2	0.22	1	0.11	5	0.56	1	0.11	18	2.57	-	-	-	-
京都府	28	1.17	10	0.42	2	0.08	-	-	5	0.83	-	-	-	-
大阪府	141	2.27	76	1.23	32	0.52	39	0.63	8	0.62	4	0.31	-	-
兵庫県	56	1.24	11	0.24	7	0.16	-	-	9	0.82	2	0.18	-	-
奈良県	17	1.89	1	0.11	1	0.11	-	-	17	2.83	3	0.50	-	-
和歌山県	6	0.75	8	1.00	-	-	-	-	11	1.00	2	0.18	-	-
鳥取県	10	2.00	1	0.20	1	0.20	-	-	7	1.40	1	0.20	-	-
島根県	5	0.83	1	0.17	-	-	-	-	8	1.00	5	0.63	-	-
岡山県	44	1.91	9	0.39	5	0.22	6	0.26	4	0.80	2	0.40	1	0.20
広島県	39	1.70	11	0.48	14	0.61	3	0.13	47	2.24	16	0.76	-	-
山口県	19	1.90	12	1.20	2	0.20	3	0.30	28	3.11	5	0.56	-	-
徳島県	2	0.33	1	0.17	-	-	-	-	5	0.83	-	-	1	0.17
香川県	10	0.67	5	0.33	3	0.20	1	0.07	19	3.80	2	0.40	1	0.20
愛媛県	5	0.45	5	0.45	2	0.18	2	0.18	4	0.67	1	0.17	-	-
高知県	3	0.50	-	-	-	-	-	-	26	3.71	7	1.00	1	0.14
福岡県	99	2.61	35	0.92	11	0.29	15	0.39	21	1.40	4	0.27	-	-
佐賀県	3	0.43	5	0.71	1	0.14	-	-	9	1.50	-	-	-	-
長崎県	10	1.00	9	0.90	1	0.10	-	-	4	0.44	1	0.11	-	-
熊本県	39	3.00	10	0.77	9	0.69	8	0.62	30	2.00	1	0.07	1	0.07
大分県	6	0.60	9	0.90	-	-	-	-	22	2.00	8	0.73	-	-
宮崎県	18	1.64	10	0.91	1	0.09	2	0.18	9	1.29	1	0.14	-	-
鹿児島県	20	1.25	5	0.31	2	0.13	6	0.38	10	0.83	-	-	-	-
沖縄県	32	2.67	5	0.42	5	0.42	2	0.17	9	1.29	2	0.29	-	-

注) 5月23日集計分

新登録患者数・都道府県別

2006年4月

	結 核	
	報告数	
総 数	1941	
北海道	44	
青森県	24	
岩手県	19	
宮城県	13	
秋田県	12	
山形県	12	
福島県	15	
茨城県	43	
栃木県	13	
群馬県	16	
埼玉県	93	
千葉県	89	
東京都	223	
神奈川県	140	
新潟県	34	
富山県	15	
石川県	22	
福井県	12	
山梨県	15	
長野県	15	
岐阜県	34	
静岡県	41	
愛知県	106	
三重県	30	
滋賀県	20	
京都府	57	
大阪府	248	
兵庫県	107	
奈良県	29	
和歌山県	26	
鳥取県	7	
島根県	9	
岡山県	18	
広島県	19	
山口県	23	
徳島県	13	
香川県	13	
愛媛県	23	
高知県	10	
福岡県	100	
佐賀県	12	
長崎県	29	
熊本県	3	
大分県	21	
宮崎県	22	
鹿児島県	34	
沖縄県	18	



20週のデータ

注) 表中の報告数は5月25日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。
2006年4月からの報告システムの変更に伴い、疾病の並び順を一部変更しました。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

2006年20週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		重症急性呼吸器症候群*		痘 そう		ペ ス ト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		コレラ	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2006年20週

	細菌性赤痢		ジフテリア		腸チフス		パラチフス		腸管出血性 大腸菌感染症		E型肝炎		ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)		A型肝炎		エキノкокクス症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	5	170	-	-	-	35	-	12	53	318	1	30	-	-	5	165	-	9
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	7	-	-	-	8	-	9
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	1	-	-	-	-	-	-	1	4	-	2	-	-	-	2	-	-
秋田県	-	2	-	-	-	-	-	-	6	17	-	-	-	-	-	1	-	-
山形県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	1	1	-	-
福島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	1	-	-	-	2	-	-
栃木県	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	1	2	-	-	-	1	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	6	-	-	-	1	-	-	4	17	-	-	-	-	-	6	-	-
千葉県	-	34	-	-	-	4	-	1	3	7	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	28	-	-	-	12	-	9	8	31	-	-	-	-	-	19	-	-
神奈川県	1	7	-	-	-	5	-	-	-	22	-	5	-	-	-	8	-	-
新潟県	-	7	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	-	-
富山県	1	2	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	1	2	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	13	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	3	-	-	-	1	-	1	1	1	-	2	-	-	-	2	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	5	10	-	-	-	-	-	6	-	-
静岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	1	3	-	-
愛知県	1	9	-	-	-	2	-	1	5	24	-	3	-	-	-	13	-	-
三重県	-	2	-	-	-	-	-	-	3	5	-	-	-	-	-	1	-	-
滋賀県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-
京都府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	6	-	-
大阪府	1	36	-	-	-	5	-	-	3	25	-	-	-	-	-	24	-	-
兵庫県	-	11	-	-	-	-	-	-	2	12	-	1	-	-	-	13	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	-	-	-	-	-	12	-	-
広島県	-	3	-	-	-	-	-	-	1	10	-	1	-	-	-	7	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	4	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
愛媛県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	3	-	-
高知県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
福岡県	1	6	-	-	-	-	-	-	1	13	-	1	-	-	1	5	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	-	4	-	-	-	1	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	4	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	8	-	-	-	-	-	1	-	-
鹿児島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2006年20週

	黄 熱		オウム病		回 帰 熱		Q 熱		狂 犬 病		高病原性鳥 インフルエンザ		コクシジ オイデス症		サル 痘		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	1	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2006年20週

	炭 疽		つつが虫病		デング熱		ニパウイルス 感染症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス 肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	9	50	-	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
北海道	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	3	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2006年20週

	発しんチフス		ボツリヌス症		マラリア		野 兎 病		ライム病		リッサウイルス 感染症		レジオネラ症		レプトスピラ症		アメーバ赤痢	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	2	16	-	-	-	-	-	-	6	122	-	-	14	252
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	1	7
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3
秋田県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
栃木県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	1	7
千葉県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	10
東京都	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-	-	-	1	17	-	-	6	68
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	16
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	2	4
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	4
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	9
愛知県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	15	-	-	1	19
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	4
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2
京都府	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	34
兵庫県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	1	17
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1
鳥取県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	6
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	2
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	2
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	3
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
長崎県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*E型肝炎およびA型肝炎を除く。

**ウエストナイル脳炎および日本脳炎を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2006年20週

	ウイルス性肝炎*		急性脳炎**		クリプト スポリジウム症		クロイツフェルト ・ヤコブ病		劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性 免疫不全症候群		ジアルジア症		髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風しん 症候群	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	2	84	1	83	1	7	5	69	2	50	12	413	2	30	-	7	-	-
北海道	-	4	-	2	-	-	-	5	-	4	-	13	-	1	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-
福島県	-	1	-	2	-	-	-	1	-	1	-	7	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	2	-	5	-	-	-	1	-	1	-	14	1	1	-	-	-	-
栃木県	-	1	-	5	-	-	-	1	-	-	1	12	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	1	-	-	-	3	1	3	-	6	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	1	-	3	-	-	-	3	-	1	2	12	-	-	-	1	-	-
千葉県	-	2	-	10	-	-	-	2	-	4	-	18	-	-	-	-	-	-
東京都	-	15	-	4	1	5	1	9	-	5	5	145	1	11	-	1	-	-
神奈川県	-	4	-	2	-	1	-	6	-	3	-	19	-	2	-	2	-	-
新潟県	-	-	-	2	-	-	1	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
富山県	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	1	-	2	-	-	-	4	-	-	-	3	-	5	-	-	-	-
長野県	-	3	-	-	-	-	-	1	-	1	-	7	-	-	-	1	-	-
岐阜県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	3	-	1	-	-	1	3	1	3	-	5	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	4	-	3	-	-	1	2	-	6	-	30	-	2	-	1	-	-
三重県	-	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-
京都府	-	2	-	-	-	-	-	3	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	7	-	5	-	1	-	4	-	2	-	41	-	4	-	-	-	-
兵庫県	-	9	-	4	-	-	-	1	-	3	2	16	-	1	-	-	-	-
奈良県	2	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	3	-	2	-	-	-	2	-	1	-	3	-	1	-	-	-	-
広島県	-	2	1	5	-	-	-	4	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-
山口県	-	1	-	1	-	-	-	3	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	2	-	6	-	-	-	-	-	-	1	5	-	1	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2006年20週

	梅 毒		破 傷 風		バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症		バンコマイシン耐性 腸球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	10	214	1	24	-	1	1	28
北海道	-	3	-	-	-	-	-	-
青森県	1	2	-	-	-	-	-	1
岩手県	-	2	-	-	-	-	-	-
宮城県	1	6	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	3	-	-	-	-	-	-
山形県	1	1	-	-	-	-	-	-
福島県	-	1	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	2	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	4	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	2	-	1	-	-	-	-
埼玉県	-	2	-	-	-	-	-	1
千葉県	-	6	-	3	-	-	1	1
東京都	2	34	-	2	-	1	-	3
神奈川県	-	6	-	2	-	-	-	5
新潟県	-	3	-	1	-	-	-	1
富山県	-	1	-	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	2	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	1	2	-	-	-	-
長野県	-	3	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	3
静岡県	-	4	-	-	-	-	-	-
愛知県	1	21	-	1	-	-	-	-
三重県	-	1	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	2	-	-	-	-	-	-
京都府	-	1	-	1	-	-	-	1
大阪府	1	13	-	1	-	-	-	3
兵庫県	-	8	-	-	-	-	-	1
奈良県	-	1	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	1	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	1	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1
岡山県	-	3	-	1	-	-	-	1
広島県	1	4	-	1	-	-	-	-
山口県	1	8	-	1	-	-	-	-
徳島県	-	2	-	-	-	-	-	-
香川県	-	4	-	-	-	-	-	-
愛媛県	1	1	-	-	-	-	-	-
高知県	-	10	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	14	-	-	-	-	-	1
佐賀県	-	2	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	5	-	1	-	-	-	-
熊本県	-	12	-	2	-	-	-	1
大分県	-	2	-	-	-	-	-	2
宮崎県	-	2	-	3	-	-	-	-
鹿児島県	-	8	-	1	-	-	-	-
沖縄県	-	1	-	-	-	-	-	-

*高病原性鳥インフルエンザを除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2006年20週

	インフルエンザ*		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水 痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百 日 咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	3830	0.87	2020	0.67	7604	2.53	17687	5.88	7093	2.36	1052	0.35	1815	0.60	2127	0.71	31	0.01
北海道	791	3.52	54	0.38	608	4.25	526	3.68	256	1.79	5	0.03	30	0.21	88	0.62	-	-
青森県	164	2.52	5	0.12	60	1.43	109	2.60	63	1.50	6	0.14	57	1.36	17	0.40	-	-
岩手県	128	2.03	3	0.08	49	1.26	198	5.08	51	1.31	8	0.21	12	0.31	9	0.23	-	-
宮城県	92	0.94	17	0.28	205	3.36	424	6.95	148	2.43	16	0.26	45	0.74	35	0.57	-	-
秋田県	123	2.24	9	0.26	102	2.91	215	6.14	58	1.66	-	-	22	0.63	12	0.34	-	-
山形県	11	0.23	10	0.33	99	3.30	203	6.77	113	3.77	3	0.10	26	0.87	23	0.77	-	-
福島県	81	1.01	19	0.40	101	2.10	336	7.00	126	2.63	3	0.06	69	1.44	46	0.96	-	-
茨城県	3	0.05	28	0.38	273	3.74	211	2.89	151	2.07	8	0.11	76	1.04	40	0.55	1	0.01
栃木県	-	-	29	0.63	65	1.41	102	2.22	52	1.13	11	0.24	17	0.37	39	0.85	5	0.11
群馬県	22	0.22	31	0.50	163	2.63	443	7.15	132	2.13	6	0.10	14	0.23	45	0.73	-	-
埼玉県	7	0.03	112	0.70	563	3.50	1215	7.55	375	2.33	25	0.16	188	1.17	141	0.88	-	-
千葉県	26	0.13	43	0.34	382	3.01	623	4.91	269	2.12	9	0.07	111	0.87	129	1.02	4	0.03
東京都	19	0.11	114	0.81	350	2.50	692	4.94	180	1.29	35	0.25	92	0.66	99	0.71	-	-
神奈川県	64	0.22	172	0.87	548	2.77	1223	6.18	413	2.09	23	0.12	158	0.80	158	0.80	4	0.02
新潟県	39	0.41	36	0.58	333	5.37	523	8.44	233	3.76	41	0.66	22	0.35	31	0.50	-	-
富山県	9	0.19	9	0.31	126	4.34	255	8.79	77	2.66	5	0.17	11	0.38	12	0.41	-	-
石川県	14	0.29	15	0.52	94	3.24	234	8.07	68	2.34	9	0.31	4	0.14	16	0.55	-	-
福井県	8	0.25	38	1.73	67	3.05	287	13.05	51	2.32	12	0.55	5	0.23	17	0.77	-	-
山梨県	-	-	2	0.09	60	2.61	87	3.78	42	1.83	-	-	23	1.00	10	0.43	-	-
長野県	3	0.03	35	0.64	167	3.04	342	6.22	199	3.62	7	0.13	24	0.44	29	0.53	-	-
岐阜県	35	0.43	67	1.26	63	1.19	138	2.60	99	1.87	105	1.98	30	0.57	25	0.47	-	-
静岡県	1	0.01	23	0.27	211	2.45	594	6.91	243	2.83	59	0.69	88	1.02	63	0.73	1	0.01
愛知県	51	0.27	103	0.57	376	2.07	862	4.74	483	2.65	226	1.24	105	0.58	113	0.62	1	0.01
三重県	92	1.26	46	1.02	149	3.31	422	9.38	122	2.71	63	1.40	25	0.56	45	1.00	-	-
滋賀県	35	0.69	35	1.09	47	1.47	137	4.28	53	1.66	12	0.38	10	0.31	17	0.53	-	-
京都府	11	0.10	45	0.61	159	2.15	533	7.20	126	1.70	18	0.24	48	0.65	26	0.35	-	-
大阪府	32	0.16	126	0.69	386	2.11	1108	6.05	473	2.58	39	0.21	39	0.21	125	0.68	3	0.02
兵庫県	325	1.72	136	1.08	247	1.96	850	6.75	388	3.08	42	0.33	49	0.39	92	0.73	1	0.01
奈良県	39	0.93	26	0.74	59	1.69	205	5.86	70	2.00	4	0.11	3	0.09	17	0.49	1	0.03
和歌山県	18	0.36	29	0.94	55	1.77	173	5.58	84	2.71	14	0.45	22	0.71	22	0.71	-	-
鳥取県	52	2.36	7	0.37	69	3.63	123	6.47	43	2.26	4	0.21	31	1.63	13	0.68	-	-
島根県	15	0.44	27	1.17	25	1.09	141	6.13	45	1.96	1	0.04	35	1.52	19	0.83	-	-
岡山県	153	1.89	30	0.56	69	1.28	316	5.85	98	1.81	30	0.56	6	0.11	22	0.41	1	0.02
広島県	163	1.42	33	0.46	173	2.40	488	6.78	169	2.35	4	0.06	34	0.47	47	0.65	1	0.01
山口県	6	0.09	22	0.45	106	2.16	407	8.31	81	1.65	4	0.08	36	0.73	51	1.04	-	-
徳島県	36	0.97	5	0.23	21	0.95	88	4.00	44	2.00	18	0.82	3	0.14	11	0.50	1	0.05
香川県	92	1.80	43	1.34	55	1.72	153	4.78	72	2.25	48	1.50	21	0.66	16	0.50	-	-
愛媛県	177	2.90	26	0.70	89	2.41	226	6.11	114	3.08	28	0.76	9	0.24	36	0.97	-	-
高知県	-	-	8	0.26	20	0.65	86	2.77	118	3.81	12	0.39	6	0.19	13	0.42	3	0.10
福岡県	320	1.62	150	1.25	338	2.82	875	7.29	368	3.07	22	0.18	80	0.67	120	1.00	4	0.03
佐賀県	13	0.33	15	0.65	43	1.87	65	2.83	79	3.43	3	0.13	20	0.87	31	1.35	-	-
長崎県	100	1.43	26	0.59	48	1.09	153	3.48	84	1.91	12	0.27	19	0.43	30	0.68	-	-
熊本県	86	1.08	21	0.44	54	1.13	296	6.17	127	2.65	19	0.40	35	0.73	51	1.06	-	-
大分県	47	0.81	31	0.86	93	2.58	355	9.86	84	2.33	16	0.44	9	0.25	34	0.94	-	-
宮崎県	30	0.50	28	0.76	143	3.86	348	9.41	134	3.62	5	0.14	28	0.76	44	1.19	-	-
鹿児島県	85	0.91	98	1.75	70	1.25	226	4.04	128	2.29	11	0.20	16	0.29	29	0.52	-	-
沖縄県	212	3.66	33	0.97	21	0.62	71	2.09	107	3.15	1	0.03	2	0.06	19	0.56	-	-

*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2006年20週

	風しん		ヘルパンギーナ		麻しん (成人麻しんを除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ 肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	12	0.00	1613	0.54	23	0.01	5054	1.68	26	0.04	657	1.05	4	0.01	11	0.03	171	0.39
北海道	-	-	7	0.05	-	-	283	1.98	5	0.17	7	0.24	-	-	-	-	1	0.05
青森県	-	-	12	0.29	-	-	50	1.19	-	-	8	0.73	-	-	-	-	1	0.17
岩手県	-	-	16	0.41	-	-	48	1.23	-	-	13	1.08	-	-	2	0.11	15	0.79
宮城県	-	-	5	0.08	-	-	120	1.97	2	0.17	1	0.08	-	-	-	-	5	0.42
秋田県	-	-	26	0.74	-	-	17	0.49	-	-	3	0.43	-	-	-	-	5	0.63
山形県	-	-	1	0.03	-	-	46	1.53	-	-	3	0.38	-	-	-	-	3	0.30
福島県	-	-	4	0.08	-	-	127	2.65	-	-	24	2.00	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	8	0.11	2	0.03	163	2.23	-	-	28	2.15	-	-	-	-	5	0.83
栃木県	-	-	10	0.22	-	-	79	1.72	-	-	37	3.08	-	-	-	-	5	0.71
群馬県	-	-	94	1.52	-	-	116	1.87	-	-	27	1.93	-	-	-	-	9	1.13
埼玉県	-	-	149	0.93	3	0.02	269	1.67	2	0.05	36	0.90	-	-	-	-	22	2.44
千葉県	-	-	48	0.38	5	0.04	130	1.02	3	0.09	24	0.73	-	-	-	-	6	0.67
東京都	2	0.01	120	0.86	-	-	98	0.70	-	-	12	0.86	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	87	0.44	1	0.01	265	1.34	1	0.03	71	1.87	2	0.29	-	-	2	0.29
新潟県	-	-	39	0.63	-	-	229	3.69	-	-	8	0.80	-	-	-	-	3	0.23
富山県	-	-	16	0.55	-	-	47	1.62	1	0.14	2	0.29	-	-	-	-	-	-
石川県	1	0.03	21	0.72	-	-	43	1.48	-	-	2	0.29	-	-	-	-	11	2.20
福井県	-	-	5	0.23	-	-	6	0.27	-	-	4	1.33	-	-	-	-	2	0.33
山梨県	-	-	7	0.30	-	-	69	3.00	-	-	6	0.75	-	-	-	-	2	0.20
長野県	-	-	8	0.15	-	-	223	4.05	-	-	19	1.73	-	-	-	-	1	0.09
岐阜県	-	-	8	0.15	3	0.06	30	0.57	-	-	8	0.80	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	24	0.28	-	-	246	2.86	3	0.15	15	0.75	-	-	1	0.10	2	0.20
愛知県	-	-	56	0.31	-	-	183	1.01	-	-	22	0.63	-	-	-	-	9	0.69
三重県	-	-	23	0.51	-	-	109	2.42	-	-	2	0.17	-	-	-	-	-	-
滋賀県	1	0.03	10	0.31	-	-	10	0.31	-	-	2	0.29	-	-	-	-	-	-
京都府	1	0.01	32	0.43	-	-	67	0.91	-	-	17	1.06	-	-	-	-	2	0.33
大阪府	3	0.02	112	0.61	2	0.01	281	1.54	-	-	11	0.28	-	-	-	-	15	1.50
兵庫県	1	0.01	35	0.28	-	-	205	1.63	2	0.06	32	0.91	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	10	0.29	-	-	26	0.74	-	-	7	0.78	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	45	1.45	-	-	2	0.50	-	-	-	-	3	0.27
鳥取県	-	-	48	2.53	-	-	64	3.37	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.40
島根県	-	-	4	0.17	-	-	33	1.43	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	2	0.04	24	0.44	-	-	78	1.44	-	-	6	0.50	-	-	-	-	1	0.20
広島県	-	-	10	0.14	3	0.04	86	1.19	-	-	34	1.79	-	-	3	0.14	5	0.24
山口県	-	-	87	1.78	-	-	131	2.67	-	-	11	1.22	-	-	-	-	1	0.11
徳島県	-	-	20	0.91	1	0.05	46	2.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	12	0.38	-	-	50	1.56	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	77	2.08	-	-	58	1.57	-	-	31	3.88	1	0.17	-	-	6	1.00
高知県	-	-	26	0.84	-	-	30	0.97	-	-	3	1.00	-	-	-	-	2	0.29
福岡県	-	-	58	0.48	-	-	157	1.31	2	0.08	24	0.92	-	-	1	0.07	2	0.13
佐賀県	-	-	35	1.52	-	-	30	1.30	-	-	2	0.50	-	-	-	-	4	0.67
長崎県	1	0.02	15	0.34	-	-	61	1.39	4	0.50	16	2.00	1	0.10	-	-	7	0.70
熊本県	-	-	81	1.69	-	-	53	1.10	-	-	18	2.00	-	-	-	-	3	0.20
大分県	-	-	38	1.06	1	0.03	61	1.69	-	-	4	0.80	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	43	1.16	-	-	95	2.57	1	0.25	24	6.00	-	-	2	0.29	-	-
鹿児島県	-	-	29	0.52	2	0.04	330	5.89	-	-	12	1.71	-	-	2	0.17	8	0.67
沖縄県	-	-	13	0.38	-	-	61	1.79	-	-	18	1.80	-	-	-	-	1	0.14

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2006年20週

	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻しん		RSウイルス 感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	
総 数	4	0.01	3	0.01	121
北海道	-	-	-	-	5
青森県	-	-	-	-	4
岩手県	-	-	-	-	1
宮城県	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	8
山形県	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	4
茨城県	-	-	-	-	2
栃木県	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-
埼玉県	1	0.11	-	-	-
千葉県	-	-	3	0.33	-
東京都	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	5
新潟県	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-
石川県	1	0.20	-	-	2
福井県	-	-	-	-	4
山梨県	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	3
愛知県	-	-	-	-	1
三重県	-	-	-	-	4
滋賀県	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	18
兵庫県	-	-	-	-	8
奈良県	-	-	-	-	2
和歌山県	1	0.09	-	-	1
鳥取県	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	1
広島県	-	-	-	-	1
山口県	-	-	-	-	6
徳島県	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	3
愛媛県	-	-	-	-	1
高知県	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	21
佐賀県	-	-	-	-	1
長崎県	-	-	-	-	3
熊本県	-	-	-	-	2
大分県	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	1
鹿児島県	1	0.08	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	5

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2006年20週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		バスト		重症急性呼吸器症候群(SARS)						細菌性赤痢		ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	サル		サル		プレーリードッグ		イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		犬	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	17	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	11	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

感染症週報 第8巻 第20号 平成18年6月2日発行
発行：国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課

厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局：国立感染症研究所感染症情報センター

〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1

T E L : 03-5285-1111

F A X : 03-5285-1129

U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

＜国立感染症研究所 感染症情報センター＞

<http://www.mhlw.go.jp/>

＜厚生労働省＞

<http://www.forth.go.jp/>

＜旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)＞

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。